京城日報

徵兵令發布五十年記念

本月二十八日は明治五年十一月二十八日我國に於て始めて徵兵令を發布されて以來滿五十年に相當する。五十年の歲月は敢て長しといふ能はざるも其間我國が幾多の戰亂に遭ひ、國難に會し而も其都度國威を宣揚し國光を顯彰せし所以のものは、國民固有の精神に因ると雖も一は此徵兵令に因つて生じた制度の革新、兵士の訓練、士氣の涵養に基くものと云はねばならぬ。

徵兵令發布の詔に

朕惟ルニ古昔郡縣ノ制全國ノ壯丁ヲ募リ軍團ヲ設ケ以テ國家ヲ保護ス、固ヨリ兵農ノ分ナシ、中世以降兵權武門ニ歸シ兵農始テ分レ遂ニ封建ノ治ヲ成ス、戊辰ノ一新ハ實ニ千有餘年來ノ一大變革ナリ此際ニ當リ海陸ノ兵制モ亦時ニ從ヒ宜シキヲ制セザルベカラズ、今本邦古昔ノ制ニ基キ海外各國ノ式ヲ斟酌シ、全國募兵ノ法ヲ設ケ、國家保護ノ基ヲ樹テント欲ス、汝百官有司厚ク朕ガ意ヲ體シ普ク之ヲ全國ニ告諭セヨ

とある。當時維新の一新、幾多の動搖を豫想したるに拘らず、徵兵令の發布せられたが就中徵兵令の發布は防禦國の上に於て又我國民精神振作の上に於て最も緊要なるもので、先帝の御雄圖の程も偲ばれ聖代の御盛德を讚仰し奉らざるを得ぬ次第である。

惟ふに我國は肇國以來海內を擧つて皆兵主義で、一朝有事の際は擧國一致、外敵に當り、兵農の別はなかつたのである。されば其形式外樣に於ては相違があるけれども、事實に於ては徵兵令は古來より行はれて居たといつても過言ではあるまい。既に孝德天皇の御宇に支那との交通頻繁となり、文物典章は勿論、軍制の如きも彼國に摸倣し當時兵部省は八省の一に位し、募兵の方法は一國內の二十歲以上六十歲以下の壯丁を集め、之を三つに分けて其一を取り兵役に服せしめた事は史實の證するところである、中世以降兵權武門に歸し兵農始めて別れたが併し一朝有事の際は國民の精神は一致團結し農商工であつても國家の危急存亡に際しては無關心であるやうなことは絕對に無かつたのである。

顧つて之を外國の例に徵すると獨逸は軍國主義なるを以て徵兵令の發布も他の歐洲列國に比して非常に早く英國は最近歐洲大戰に鑑み漸く其必要を認めて之を發布し、佛米兩國は傭兵制度であるが平素にして國民の間に軍事的訓練が盛んに行はれ從つて一朝有事の際は國民皆兵の實を擧げ得るのである、其他の國家も其國々の事情に依つて夫れ相當の制度を採用して居るが併し募兵の制度は其精神に於て徵兵制度に如くものはない、歐米各國も他日緊急の場合には之を摸倣する時機が到來するであらう而して獨り我國のみは建國以來擧國皆兵主義に則り引續き明治五年の徵兵令發布に依つて其改革を計り、爾來幾多の戰役を重ねて國威國光を發揚し以て今日に至つたのである此の事は實に吾國が他に比類なき點として世界に誇るに足るのである。

華府會議以來各國とも軍備の縮小を見、世界を擧げて平和の聲高調されつゝあるが歐洲の一角に尙ほまだ戰雲が低迷いて事實に於て今のところ平和の歡樂境は何時到來すべしとも測られぬ、而も歐米各國に於ては今現に軍事教育が盛んに行はれつゝあるのである、戰爭の慘禍避くべからざるは元より言ふ迄もなきところであるが治に居つて亂を忘れざるは我國民の常に念頭に置かざるべからざる所である。されば我國民は平素軍事的精神を涵養し一朝國家有事の際には益々義勇公に奉ずるの精神を發揮しなくてはならぬ、本日の徵兵令發布五十年記念日は正に國民精神の振作に就て國民が回顧反省を要する好時期である。

獨人の饑餓を救ふべく 米國政府で考究

【華盛頓二十五日發電】探聞する所に依れば米國政府當局は此の多數の獨逸人の饑餓を救ふ爲め獨逸に食糧品の供給を爲すべく其方法を考究中である大統領クーリッヂ氏も此の問題に付必要に應じ適當の手段を執るの用意があると

新潜水艦エックス號

【英國チャタム二十六日發電】當地造船所にて建造中の潜水艦エックス一號は來年一月進水の筈なるが此潜水艦は水面上の速力三十三節ガノット半の砲六門を備へ排水量三千五百噸である

露支國境は增兵する

【哈爾賓二十六日發電】近來露國赤黨の陰謀甚だしく夫れが爲め吉黑國境の治安亂れ防過に苦心してゐる、保安總司令は之れを非常に恐れ、朱總司令は張、吳二司令等と防過に就き協議の結果東路全線現在の六旅の防備兵を八旅に增加して哈爾賓に國防辦事處なるものを設け從來の鎭防司令部は廢止する筈である

日本側の形勢不利 米との支那無電建設爭ひ

【北京廿六日發電】北京政府が三井無電工事が五ケ年遲延したのを口實に米國に許可を內諾したので日本側は強硬に反對運動中であるが米國の勢力に叶はず形勢危險である結局は北京と上海とで無電の競爭となるだらうが商業地たる上海では依然三井が不利に陷るであらう

盧永祥氏巡閱使不就任表明

【奉天二十七日發電】曩に中央政府から浙江福建二省の巡閱使に任命された盧永祥氏は二十六日張作霖氏に自分は如何なる場合に於ても浙建巡閱使に就任はせぬと云ふ電報を寄せた、

後藤復興院總裁 修正案に贊成 政府も重荷を漸く卸す

【東京電報】後藤復興院總裁は二十六日の委員會修正案に大分憤慨した樣に傳へられたが實は然らず其席上に於て幹事長として本案作成に盡力せられた閣外委員諸君の勞を感謝する自分は此の成案に對して充分尊敬の心を以て考慮するつもりであると大體に於て協定案に贊成の意をもらしたのであるが妥協の見込がついた政府としては重荷を卸した感がある

臨時閣議 修正案の報告

【東京電報】二十七日午前十一時から首相官邸に臨時閣議を開き後藤內相から前日開會せる復興院會特別委員會修正案の經過を報告した後政府の態度を決定し尙午後の衆議院總會對策其他內外重要政務を審議正午散會した

帝都の防空設備 陸軍省の主張

【東京電報】陸軍省は曩に帝都復興に就き東京府に對し防空設備の緊急なる事を再度獻策したが今日の處財源がないとの理由で認定せられなかつた而して陸軍としては防空計畫設備は歐米でも夫々完成して居る今回殊に航空機の進步が都市に及ぼす影響の非常なるに鑑み今回我帝都の都市計畫の實行を千載一遇の好機として第一期計畫の防空設備が出來ぬとしても第二期、第三期防空計畫を實現するの必要のある旨を更に建議する筈である航空機の都市に及ぼす影響に就き陸軍當局の說明に依ると現に所要にあるエス六十號は爆彈二百個を優に搭載飛行する事が出來其飛行繼續時間は八時間であるから八時間の中に二百ヶ所に發火させる事が出來る假に種々の故障で不發があるとしても百五十ヶ所に火災が起る譯である然るに過般の震災に依る火災は二十八ヶ所であつて尙ほ且つ東京の過半は全滅したのであるから思ひ半に過ぐるものがあるであらう現今米國では華盛頓から紐育迄二千八百五十哩の繼續飛行をした記錄があるのであるから航空機に依る災害は恐るべきものがあるから新都市は戰爭が絕無でない限り航空設備は國防上より見て最大急務であると

檢事長會議(第二日)

【東京電報】控訴院長檢事長會議第一日は二十七日午前九時卅分司法大臣官邸會議室に於て開會牧野東京控訴院長以下十四名出席本省

滿洲輸出三割減

【奉天電報】震災以來滿洲輸出品は平均從來の三分一に減じた之を昨年同期に比すれば三割の減となる[illegible]

郵船盟休實行

【大阪電報】郵船會社船員盟休事件は[illegible]復活することは至難であらう[illegible]あるが陳地各支店では未だ過激的行動を採るまでには至らぬ併し今やら不穩の銀行きを示してゐる今度も急變するであらう

乃木將軍事蹟講演 京城府團では乃木將軍事蹟講演者黒雄彥氏の入城を機とし廿七日午後六時から南大門小學校講堂にて府職員公職[illegible]

朦朧宗教に解散を命ずる

京都府警察部高等課では[illegible]月に[illegible]り府下に於ける[illegible]宗教の調査に從事してゐたが此程漸く調査完了したが[illegible]一部朦朧宗教に對して解散を命ず[illegible]

[illegible]郵便支部にては六日午後三時より道廳[illegible]室に於て役員會を開催左の諸件を協議した(光州) 一支部月報を發行する件 二事務[illegible]

公設市場値段(廿七日)

一 支那白米	上	百匁
一 甘藷	並	同
一 同		同
一 うど	上	二〇〇
一 同	並	二〇〇
一 柿	上	〇五〇
一 同	並	〇四〇

當日は[illegible]より鈴木總督、小山大泉院長以下各高等官列席西平沼法務局長病氣の爲欠席に就き山內次官訓示を代讀し午後一時より協議會を開き四時散會五時より官邸法相の晚餐會に臨席した

清津府民大會

【清津特電】築港工事繼續遂行決議 清津築港工事中止の聲は益々濃厚となつたが府民は一齊に蹶起し二十六日午後七時より清津座に府民大會を開き出席者約六百名に達した、席上四元商議員を座長に推し築港工事繼續遂行を期する爲め實行委員十二名を選び決議文を發表し同時に熱烈なる請願電報を總督、總監並に各部局長宛發送したが近く實行委員に依り上京委員を選定して上府せしむる筈である

徵兵令發布五十周年記念に際して 朝鮮軍參謀長 赤井少將談

明治五年十一月二十八日徵兵令が發布せられて本年は丁度滿五十年を經過した譯である。維新當時世は內外多端の際に我徵兵令の發布は明治大帝の大御英斷に出でたもので先帝の御雄圖此上もない事である。此徵兵令實施の結果帝國は爾後數回の大戰に於て益々

國威を發揚し得たのである諸外國に於ける徵兵令の實施せられたる國は獨逸を以て最初のものとなし他の諸國は此獨逸に倣ひ發布した國が多數あるが我國で此獨逸法にも依らず建國の始めより國民皆兵主義を採つて居り、既に大化新政當時にも國民皆兵に關する成文あり持統天皇の御宇にも此種『一國の丁を四分し其一を點呼せらる』とあり大寶令には更に『一國の正丁を三分し其一を以て壯丁とし六十歲を以て壯丁年限とす』とあり又國司は『每年百姓識身の戎具を簡閱するの規定あり』とこれを見ても日本が

外國に先んじて徵兵令を布かれて居り時には六十歲までも兵役に服する令さへ制定されてあつたのである明治五年十一月發布の徵兵令には其當時除外例として二三の兵役免除が行はれ總領奮子は兵役の義務を免れたが其後漸次改訂され現在に於ては日本全國の壯丁は不具廢疾者を除く外悉く兵役に服すべき義務を有し國防は全國民の負擔となつたのである斯くの如く國防が全國民の負擔となりたる事は重大なる意義を有して壯丁の氣力體力が充實し國難に際して義勇公に奉じてこそ

帝國の前途は洋々たるものがあるのである、これに反して國民が國防を忽せにし文弱に流れたる國家は衰亡する事は過去の歷史が證明する所である、尙徵兵令は戰時に限らず國家の非常時に際して兵役にある者が同胞の救濟に盡すと云ふ事は徵兵制度の賜に外ならないのである、尙外國に見る如き傭兵制度は國家が金を以て軍備を整へて居るので其心より湧き出ずる國家觀念と異り其處に何物かの意志に依つて完全に國威を發揚する事能はぬものがあり從つて特種の國家が此制度を採用して居るが英國の如く

體育の盛んな國民は何時でも國家有事の秋に全國民が國防に應じ得る氣概を保有して居た爲め徵兵令の必要を認めなかつたが歐洲大戰以後徵兵令の必要を切に感じ直に徵兵制度をしくに至り米國に於ては傭兵制度であるが米國の學校市民は至る所軍事的訓練に行はれつゝあり一朝有事に際しては數百萬の軍隊は立ちどころに得られるのである、世界は歐洲大戰を經て反動的に帝國主義が擡頭し

各民族各國家は各其安全を計る爲め萬全の方法を講じて居り彼の勞農露國に於てすら擴大なる軍備を擴張してゐるなど思ひ半に過ぐるものがある、我國民は此徵兵令に依り既に兵役に服した者と未だ壯丁に達しない者を問はず益々氣力體力を練磨し文弱に流れ浮華に陷る事なく國家に事あるに臨んでは陛下の爲め國家の爲め犧牲的精神を發揮し以て全世界に比類なき國體を有する日本帝國を永遠に光輝あらしめ度いと希ふものである

京城商議逐鹿戰 俄然混戰狀態となる 思ひ掛けない方面から突如 意外の人物が乘り出す模樣

京城商議戰は一般に左傾の傾向を示し票見ずして案外平穩裡に終結を告ぐるものゝ如く觀測されてゐたが圖らずも意外の方面から意外の人物が出る模樣で今や一、二級共に混戰狀態と化してしまつたこの選擧に候補者が何人であるか未だ疑問に附せられてゐるが尙この外に一二名突如横合から飛び出す樣な形勢もあるので最初から無競爭を以て目された內地人側一級戰は五十四票に對し十四五名の自薦他薦の候補者が入り亂れて切崩しと爭奪戰に熱中する狀態で今の處銀行俱樂部から推された釘本藤次郎、實業銀行(野田明敏)朝鮮郵船會社(恩田銅吉)の三氏の外は形勢混沌たるものがあり果して何人が中原の鹿を射止むるか豫測を許さぬ狀態となつた最も苦戰狀態に陷れたのは社より出馬の高橋章之助氏である 一級鮮人側は例によつて朝鮮商業銀行(趙鎭泰)漢城銀行(韓相龍)の二名で鮮人側票數五票の處一票は內地人側に讓り全く無競爭の狀態なるが內地人側は今朝富野繁市氏の立候補となりて愈確實に一名の超過となつた然して銀行俱樂部の十五票は結束固くして三名に五票宛を分配し部外の侵入を許さないにも拘らず其の候補者中には龍山工作會社朝鮮信託等の票までも收めしものあり銀行側は頗る優勢であるが之に反して一般候補者は得票に困難し目下緣故を辿つて票數獲得に努力して居る、土木協會十六票は荒井會長の意嚮を伺つて決するらしく同協會の公認候補は渡邊定一郎、陳內茂吉、寺尾猛三郎の三氏で何れも四票を割當てた殘り十四五票を關係者及緣故者に分配する風である然るに一般候補者中には二票以上の得票困難なるものあり目下手を換へ品を換へ銀行俱樂部及土木協會と交涉中であるが大體に於て大草、堀內組の三氏に對し或は招聘を有權者中目下東上中の志岐、名波は決せる模樣で土木協會員の一票を讓するやも知れざる狀態であるを今確定せる一級候補者の名を擧ぐれば

渡邊定一郎 陳內茂吉 寺尾猛三郎 戶島祐次郎 辻本嘉三郎 增田三穗 高橋章之助 釘本藤次郎 恩田銅吉 野田明敏 篠崎半助 佐野彥藏 古城龜之助 富野繁市

二級候補は依然其他に比較々しく[illegible]約成立した模樣である尙目下生命保險は黃金町三丁目及び保險關係者より公認候補として立候補したる模樣である最初は多少立ち後れの氣味があつたが同社の代表横田鐵三郎氏の人格の擁護なると參謀の突進的奮鬥とに依つて目下の狀態に至つた際田安之進氏も同じく事務所を設けて運動に着手し右兩者は互に地盤の侵入をなさぬことに約束ある角地集會所に於いて活躍の氣勢を示し名は各町に參事を設けて一致協同の大運動を開始すべく事務所を三之を援助し更に相談役大和以下五郎氏參謀長として外十一名の參謀が難陣で愈々選擧會を開き[illegible]立候補を揭げ最も猛烈なる運動を續けて居る龍山工作會社は候補者に伊田川常次郎氏を推し[illegible]は黃金町三、四丁目及び永樂町方面を確實に占領し、總督府他の數職を許さぬのみならず、今や本町一二丁目及び旭町方面に向つて盛んに餘力を傾注し只管鑽食に努めて居る[illegible]近く近藤謙助氏は林章吉氏と共に南大門外公認候補として名乘りを揚げたが參謀には小寺氏等の手腕家あり城にも十三年除身の新人にて同氏は最も氏の得意とする所で商會議所には是非とも氏の如き人の一人は必要とされて居るので西小門、義州通りに根强き經濟思想を有する者もあり亦氏の人格を識つて居る關係で巧妙なる運動を相俟つて必らず當選は確實であらうと云はれて居るが斯くの如き新人も亦會議所には是非必要であらう。

首相より却つて種々な希望 朝鮮に對しては十分な諒解の下に 市民大會陳情委員 釘本、古城兩氏交々語る

【釜山支局特電】過般京城に於ける市民大會の決議を齎して內閣に對する陳情委員として東上せる釘本藤次郎・古城管堂兩氏は二十七日朝著釜九時北行したが車中にて語る『十三年度總督府豫算も當局の非常なる努力に依り二千八百萬圓の補給を受ける迄に至つた事は此際吾々としても非常な滿足であると同時に當局の苦衷に對し實に感謝に堪へない處である、東上委員として首相を始め內閣々僚にも親しく陳情したが何れも朝鮮に對しては特別な了解の下に多大な考慮を拂はれて居たのは事實で首相は歷史ある朝鮮を他の新領土と同一視するが如きことなきは勿論特に齋藤總督の如き偉大なる手腕に依賴し政府としても出來得る丈の努力を惜まぬ積りであるから在住者も常に總督府を信賴し其施設を援けて朝鮮統治に有終の美を收むる事に努められたいと却て幾多の希望などを述べられた位で非常なる熱誠を示された事に對しては深き感謝を禁じ得なかつた』

在鄉軍人東京市十五分會より感謝狀

帝都遭通の大災害に對し高官の深甚なる御同情御斡旋が洽く貴管下の同情救援となつて發生せしことを感激す茲に感謝の誠意を捧げ併せて貴管下一般に傳達せられんことを冀ふ

帝國在鄉軍人會東京市內十五區分會聯合會 代表者 和田香五郎

朝鮮總督男爵 齋藤實殿

咸興炭は品質が佳い 通川炭は五十噸を使用する豫定 京鐵局經理課長 富田重平氏語る

京鐵道局經理課長富田重平氏は四日の日程で北鮮方面の炭坑を視察し廿六日朝歸任したが用件は來十三年度より朝鮮線に使用する石炭を鮮內の產業開發のため咸北諸炭坑より供給せしむるため通川炭坑及咸興炭坑の作業狀況視察並に來春より京城府內に發電し來る金剛山電氣の發電裝置工事情況を視察にあつたのであるが氏は咸北炭の使用に就て語る

朝鮮線では從來機關車用石炭は其質、火力に於いて無煙炭に比すべき良炭がないので、これを主要石炭としてこれに平壤炭年額約十萬噸を混合し四十萬噸內外を使用し來つてゐるが當局としては成る可く鮮內より產出する石炭を使用し朝鮮の產業を助長せしめ度いと云ふ立場から十三年度に於いて通川炭五千噸(經營者府內高山氏)咸興炭三千噸(經營者鈴木商店)を採用する事となつてゐるが通川炭は其炭質不良で目下採掘も爲しつゝある狀態で當局の同炭使用に依つて販路擴張の一助となれば幸ひであり又咸興炭坑は炭質は良好で已に現在一萬噸を使用して居り十三年度には更に二萬噸を增加し三萬噸とした譯で勿論無煙炭共撫順炭に混交して使用するのである當局は咸北の開發に就ては咸北の外咸興地の林木とりわけ鐵道枕木の供給を受くる事として本年邊より漸く出初めたが

此の咸北產の枕木は決して北海道方面より移入するものと質に於て遜色は無いので咸鏡線の工事一部中止に依つて一部此種產業に打擊は免れないが而し大したことはないと思ふ地の利より謂つても同地方官私鐵道の開通と共に非常に有利となり兩者の間に利益する所が多いのである。

歲末金融 鮮內平穩か

鮮內に於ける歲末金融に就ては昨年の如き一時的に困難の爲め多少破綻者を出すだらうとの觀測もあるが最近米穀及び大豆の移出增加と共に資金の移動を見るに至り地方の取引界も可成り景氣付いて來た、現在の處では地方の回收は幾分圓滑を缺いでゐるが米價擡頭と共に農村の收入增加し之に伴ふ購買力の增加を期待されてあるので本月末は前月に比し回收順調に向ふであらう殊に金融業者の警戒は相當嚴重であるが地場銀行の方針は緊實方面を出來得る限り援助し取引の圓滑を圖るにあるとの事だから破綻及閉店者を出す事があつても極めて少數であつて取引界に影響を來す虞が無く特に歲末金融は無事經過と見るが至當であるとの觀測が多い

浦鹽間鐵道開通期

【浦鹽二十六日發電】浦鹽莫斯科間の直通列車は歐洲戰で中止されてゐたが今回露支間に協約成り細則の協定中であるから明年一月より開始されるに至るであらうと

奉天稅關設置

【奉天二十七日發電】奉天に稅關を設ける事は久しき以前よりせられてゐたが明春奉天驛附近に日支稅關を設置する筈で張氏は稅務司桑德克に種々調査方を命じてゐるが既に豫算二萬圓を計上してゐる

砂糖相場慘落

【大阪電報】當地砂糖は爪哇轉賣相場の暴騰に添はず新糖出廻りを懸念して頗る神經的に波亂を來してゐるが二十七日は爪哇ものザラ十二、一月渡二十一ピコル十三仙一二月渡二十一ピコル二十五仙と五十仙の暴落を報じた爲め內地分蜜現物二十八圓五十錢と一圓三十錢慘落した

大阪コール (大阪電報)

月末資金に對する地方の需要が入込み二十七日大阪の短資市場はコール二厘方の昂騰を告げて二錢二厘、月越二錢三、五厘となり無條件も二錢三、五厘に上進した併し月末の金融市場は至極平穩に月越を見るべくコールも二錢五、六厘止りかと見られてゐる

和歐文電報通數

十月中京城府內各郵便局所取扱に係る和歐文電報通數は發信六萬四千三百五十一通着信六萬四千五百六通中繼信三十五萬三千四十六通なるが之れは前年同月と比較すれば發信一分二厘の增加を示し著信六分七厘中繼一割三分九厘の減少であると

外國郵便物扱數

京城郵便局に於て十月一日より二十八日まで四週間に取扱ひたる郵便物の到著數は總計二萬壹千百八十二通にして內亞米利加合衆國よりの壹萬二千五百三通を最多し佛蘭西の三千八百八十一通及び英吉利三千二百八通之に次ぎ白耳義よりの八十二通が最少である

ヨシアシ

◇後藤復興院總裁は憤慨して辭表を提出したが首相の宥めで思ひ止まる、首相も普大抵の苦勞じやない。

◇政府の復興案は衆議會特別委員會でロッピドク修正された、この氣流では臨時議會は快晴では無からう。

◇財務局長天民博士歡壇の女流新人尾形香那代女史(三)と結婚花嫁を出し、。

◇年賀郵便特別取扱ひ廢止に伴ふ對策として賀狀三十萬枚を全鮮に配布することゝなつた、どのみちかゝる手數だ。

◇東拓本年の改良種籾配布は一萬二千餘石だ精々蒔くことだ、蒔かぬ種は生えぬと云ふから。

◇本日一大正十二年十一月二十八日ー恰も徵兵令發布滿五十周年だ、深く記念すべき日だ。

暴風警報

廿七日午後三時半觀測所發

風强かるべし 低氣壓は黃海中部にあつて七百六十二粍を示し東に進行しつゝあるから北西の風が強い

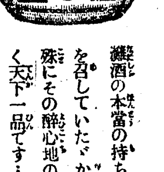
保險金受領

京城府旭町二丁目六八番地
日本簡易火災保險株式會社
鮮滿支部

右保險會社と保險契約中火災に罹り確實に保險金受領候間此段廣告候也

岡崎町二ヶ所	加德幸次郎
櫻井町	菅野万次郎
同	篠塚爲吉
同	柿木喜一
本町三丁目	小林イノ
同	茂木已作
本町二丁目	森田平太郎
同鐵工所	高田强三
同 二ヶ所	長谷川篠治
同	安田仙松

優越 味も 香りも 色も

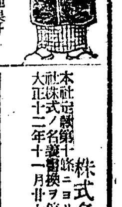


灘酒の本當の持ち味は『澤之鶴』を召していたゞかねば分りません……殊にその醉心地の爽かさに至つては全く天下一品です……

良いので名高い さはのつる

京城長谷川町 佐藤牧商店

男女事務服特價提供



製品堅牢著心地良好 持品朱子 三圓九十錢 上品朱子 二圓八十錢 和洋兼用 二圓九十錢 鶯茶綾 洋服事用 婦人用 の三種 ▲寸法は大中の二種 ▲市內は見計持參 市外は御註文次第 ▲不向の節は御取替又は御返金 京城本町一ノ五十一番地 吉野製作所 振替京城四六六〇 電本局一二二六

小便近き人は一二錢の手添で申込あれ責任良藥を送らす 京都市出町通丸太町南 富本宅

株式名義書換停止公告
本社定款第十一條ニヨリ來ル十二月一日ヨリ定時株主總會終了ノ日迄當社株式ノ名義書換ヲ停止ス
大正十二年十一月廿七日
京城信託株式會社

共樂園は時代の要求に應ずべく節約を信條として廉賣實行の魁
京城府黃金町一丁目五五番地
茶 眞正宇治 製茶販賣元 共樂園
電話本局三一〇六番 振替京城五四三五番

外科・內科 皮膚花柳病科 エッキス光線及電氣科 (完備入院室)(普通及隔離室)
京城府旭町一丁目四 島崎病院 院長 島崎龍一
電話 病院本局三六一七 院長本局三九三

關東震災地木材界概況
—營業廠調査—

營業廠にては關東震災地木材界の概況を當局に回答を求め調査中であつたが此程完成した其の內容は大體左の如くである（新義州）

一、臨時震災救護事務局取扱木材狀況

臨時震災救護事務局に於ては最初罹災民の應急避難所とすべきバラツク（一戶當り附屬建物共三坪）十二萬戶の建築材料を蒐集するの計畫を樹て本邦主要木材の生產地たる秋田、靑森兩縣下及木材集散の大市場たる大阪、兵庫、愛知並に關東の各府縣及隣接各縣に職員を派遣し直に小屋掛に使用し得らるべき板類、小角類、小丸太、杭等の調達に全力を傾注し各府縣に東京、秋田、靑森の各大林區署の熱烈なる應援の下に、奔走し各地方の木材業者亦奮然として之れに應じ秋田、靑森兩縣下の營業者の如きは震災前の時價を以て一齊に提供する事に結束し其他の府縣に於ても震災前の時價に比し僅少の步増しを加算して之れに應じ豫期以上の好結果を得たる趣きなり右木用材の調達概況を府縣別に擧ぐれば

大阪府	五八、〇〇〇石
愛知縣	三〇、〇〇〇
靑森縣	一五、三〇〇
兵庫縣	一〇、〇〇〇
靜岡縣	六〇、〇〇〇
北海道	九、〇〇〇
栃木縣	三七、〇〇〇
秋田縣	五四、六五〇
群馬縣	四、〇〇〇
富山縣	五〇〇
長野縣	一五〇
千葉縣	二〇〇
東京大林區署	五、〇〇〇
計	二八三、八〇〇石

而して前記調達木材は鐵道の開通せる東北地方の各縣は鐵道を利用し海運に依る各府縣に在りては海軍隊輸送の助力に依り或は徵發の方法に依りて極力急速輸送を期し十月二十日前に於て既に全部の輸送を終れりと謂ふ

前記調達木材の配給は之を東京市及神奈川縣郡市に對し其全燒戶數の割合に應じて分配する事とし輸送の關係上神奈川縣へは兵庫地方其他海運に依るものゝ內より配給し東京府へは主として關東及東北方面より陸送せしめ東京府陸揚埠頭に海運に依るものを配給する事とせり

然るに一般救護事務の進捗に依り各種罹災地を通じ官設罹災民避難所急設バラツクは最初の豫定たる十二萬戶を二萬三千二百餘戶に減ずる事とし之に依りて生じたる餘材は自力に依り其燒跡に假小屋を建設する者の需用に對し實費供給の策を樹て府縣市に於て定めたる資格標準の下に之に要する用材は各材種を適當に組合せ實費を以て賣却し可及的多數罹災者に普及せしむる方法を採り十月末日頃を以て殆ど全部の處分を完結せし實況にあり而して臨時震災救護事務局に於ける救護事務一段落を告げ目下殘務其他の整理に從事しつゝあり

二、大藏省臨時營繕局取扱に係る中央諸官衙假事務所建築用材の狀況

大藏省臨時營繕局に於いて內務、大藏、文部、遞信、鐵道、農商務各省の假事務所建築用材を山林局を通じて各大林區署及各府縣に交渉し其他の燒失諸官衙の假事務所建築用材の調達を終り目下着々建築中にして同局用材の調辨は既に一段落を告げたる趣きなり

府縣名	製材	足場丸太及小丸太	計
靑森	一二、九三〇	一、三三三	一四、二六三
巖手		一、〇四〇	一、〇四〇
秋田	三九、四三三		三九、四三三
宮城		九八七	九八七
福島		一、六〇〇	一、六〇〇
茨木		一、〇三〇	一、〇三〇
東京		七三四	七三四
靜岡	一七、五五〇	七、三三八	二四、八八八
大阪	三一、四三六		三一、四三六
高知	二、四〇〇		二、四〇〇
熊本	二、二〇〇		二、二〇〇
計	一〇六、六九九	一四、七六三	一二〇、四六二

（續く）

關東州の三審制
明年度豫算に計上さる

【大連】十三年度關東廳豫算は本年度と大差なく千五百萬圓內外なることと就中同豫算に司法制度三審制度及び警察官増員に關する増額計上の事は何れも東京の報ずる所であるが關東州に於ける司法制度が愈々三審制度に改正されるといふことは人權尊重の意味に於て地方民の幸福此上もない事である右は曾て當大連に於いて開催せられた日本辯護士協會の決議及び當大連辯護士會竝又關東州政研究會等に於ても屢々論究されて建議されて來た問題で彼の阿片事件以來尤も斯界の注意を喚起したものであつた右に就て某辯護士は語る今回實施せられんとする三審制度の概要は警察の例に則り地方法院は其儘とし高等法院は之を覆審部と上告部とに二分するのであるが之を內地の例に依ると地方法院は地方裁判所覆審部は控訴院、上告部は大審院と云ふ形式になるので覆審部は主として事實の審理を爲し上告部は法律上の解釋を主とするものであるが併し來年度からは當地にも新刑事訴訟法が施行される事となつて居るから其點には內容は多少變更さるべきも上告部に於ても亦事實の審問を行ふ事となるであらう、要するに今迄の二審制では高等法院の判決の不服でも被告は服從の外途がなかつたが三審制度が施行されるとなると內地同樣上訴する事が出來るから被告の爲に非常に利便となる譯である

慶南道評議會

【晉州】慶南道評議員會は十二月十五日より八日間道會議室にて開催する事に決定した

仁川府協議會

【仁川】仁川府協議會は來る二十九日午後四時から府廳上會議室に開會初顏合せの後十二年度府衛生費追加更正の件につき協議する筈であると

大田學組會議

【大田】大田學校組合では二十六日午後四時より組合會員を招集し前渡邊管理者に對する慰勞金三百圓を贈呈する事に決議した其他の提案たる高等女學校費更正豫算は不日當局より說明を得たる上で決定する事とし同六時過ぎ散會した

釜山各業組合 協議

【釜山】警察の監督範圍內にある各種營業組合の規約制定の內容に對し過般道廳より示達せらるゝ處があつたが訓示條項中には新規營業者の組合加入强制及び出願に際し組合を經由せる從來の規定を絕對に認めざるが如き條項あり組合として相當考慮を要すべき點あるを以つて關係組合廿四組合代表者三十二名は二十六日午後一時から商工俱樂部に會合種々協議を重ねた結果四名の代表者を選び更に意見の交換を爲す事となつたが組合員中には今回の訓示事項は營業者の死活問題として之を脅威するものであるとの意向を有して居るものもある模樣で多少問題となるにはあらざるかと觀測されて居る

大開城の建設は
市民の融和と協同一致に在る
他都市を凌駕するのは容易
新任開城署長 鈴木貢氏は語る

【開城】新任鈴木開城署長は目下腸窒扶斯の爲め主治醫より絕對安靜を强られて居るので毎日車で署に往復しつゝ執務して居る夫で未だ一般に着任の挨拶も失禮して居るが左の如く語る

私は夙に松都として世界的に名高い開城を愛好する一人であります私は嘗て一二回友人を訪ねて當地へ參り名所舊蹟の觀賞を試みたことがありますが元より風來の一旅客として單に開城の瀟洒なる輪廓を腦裡に納めたるに過ぎませんでした、今や公人として將又私人として目のあたり山河の靈氣に觸れ由緖の名蹟を展べたるが如き風光に接するの身となりたるは誠に歡喜に堪へざる所であります、惟ふに開城の地は畿甸に近く京義線に位置し要都として遊覽の人士を恍惚たらしむるの資質あるのみならず人參の名產地として特に財政の上に寄與する處蓋し尠少ならざることゝ想像致します市民にして益々渾然として融和し開城發展の爲に協同一致奮勵努力せらるゝに於ては何事も容易に成功し忽ちにして他の都市を凌駕すべき大開城を建設することは決して難事にあらざることゝ信じます私は今後一個の市民としても此方面には一臂の微力を傾倒したいと思つて居りますが何れの土地でも傳統的風俗もあれば慣習もあります通り殊に我開城の如き古き歷史を有する都邑に於ては篤と研究を要する事柄が多いことであらうと思ひますから十分忌憚なく皆樣の御高教を承はり又御後援を仰ぎ文化政策の大方針に則り徐々に理想の境に進みたいと思ひます私が開城へ轉任すると云ふことが發表せらるゝと同時に先輩及び僚友各位より祝詞を寄せられ且懇に明教を垂れられたるは大いに感謝する處であります殊に鮮人側知名の士や外國宣教師の方より歡迎の辭を述べられたるは私に取りて一層責任の觀念を深からしめました、私は國家の公僕として何人に對しても威府態度を設けず胸襟を開き赤誠を披瀝して社會公衆に接觸したいと思ひます今更申す迄もなく社會事相は益々複雜となり色々の問題が起りますが要するに民衆相互間の意思疏通が各種問題解決の基調である理解が必要であると信じますから私は市民各位と共に此の觀念の徹底を圖りたいと考へて居ります

在滿八縣鮮人分布狀況

【東縣】安東、鳳城、岫巖、莊河、寬甸、輯安、臨江、長白八縣に於ける在住鮮人の分布狀況を見るに交通の便否と耕地の選擇が要件となつて居る山間の谿谷に散在し平地に居住するものは頗る稀であるが自然の勢であるが多くは山谷の深い所に住し谿谷の地を開墾して相從つて移住する狀況である。又移住者は商業に從事する者は少なく未開の地を開墾し各自となす傾向があり漸次山奧に移住する鮮人の總數は七萬五千六百八十九人で各

慶山へ遠乘記
大邱支局 靜山生

十一月二十五日の日曜日昨夜來の暴風は凪いだが寒威急に料峭を加へて水溜面には約一分位の氷が張つてゐる、今日大邱教育會乘馬部の面々十有三騎は大邱の次の驛慶山まで往復約七里の遠乘を試みる事となつた、午前九時の出發だと云ふのに揃ふ筈がない午前九時五十分出發馳せ參ずるものは僅かに九騎に過ぎぬ。

大邱から慶山に到る道路は現在の線では神項線を通り河陽驛の手前より分岐して慶山に到る線が本道路となつてゐるが其距離は約五里、他の一線は大邱府外飛行場の前を經て無名峠を越して慶山に到る一線がある是は將來四間幅の一等道路になる筈であるけれども現在では迂餘曲折の等外道路と謂はんより寧ろ人工を加へない里道に外ならぬ而して其距離は約三里往復七里となる譯である。

我遠乘隊は前者を取らず後者の道を取る鳳山町を外れて師範學校農業校の前を通り福城洞を經て泛里附近に出づれば道が甚だ宜しくない、おまけに今日は大邱の市日のことゝて附近の部落から市に行く人や牛や驢が長く續くので荷を負ふた騎の行進の妨げらるゝ事一方ではなかつた

大邱市外約一里位の處に於て少憩して四邊の風景を眺むる秋既に逝いて冬ざされの荒涼たる風物三五の村家、立林枯木の寒鴉稍頭に殘るポプラの實葉寥は寸餘にして未だ散らずと雖も正しく冬の立つが如し、駄句あり

泥醉買ひに行く子や冬の枯野哉

生憎地圖を携帶せぬが故に假りに無名峠と稱する、大邱府と慶山郡との境界で分水嶺をなし、此れで峠からずと雖も石多く坂路急峻路を踏めば蹄鐵として火を吐く、騎行甚だ難儀なれども一行克く御し能く騎り一人も曳き馬する樣な者はなかつた。

此の無名峠を降れば慶山郡孤山面に入る、等しく等外道路ではあるけれども改修を加へてあるので騎行に甚だ佳し殆ど二里餘にして慶山驛前の所謂慶山公園に到著正午を過ぐる事二十分である、郡守李面長內地人の有志各位の懇篤なる歡迎を受けて本願寺に晝食となる、麥酒一打と鱲若干の寄贈あり、發起するものありて阿彌陀籤を引く。

慶山公園には最近に遷宮鎭座ましませし大神宮祀あり、規模大ならずと雖も千年の老樹鬱蒼、祀畔を繞つて崇嚴の念自から湧然として起るものあり。

足揃ふ駒に人參褒る落葉かな

午後二時半歸路に就く、風は稍々として吹く、我が乘る騎は風よりも疾く元來し道を熟知の如く、午後四時五十分無事歸著す

郡農會設置 協議

【兼二浦】黃州郡に於ては來年度より郡農會を設置の爲め去る二十四日郡廳に於て管內各面長及地主を集め協議會を開催したが天候不良であつた爲め地主側の出席者は少數であつたが各面長及地主等連署して郡農會設立許可願を總督府に提出する事とし內容は從來の地主會が實際に於て不徹底のものであるので之を廢して地主及小作人を包含する郡農會を設置し將來の改良發展に資せんとするにある尙近く總督府に於ても農會令を發布の運びになつてゐるので總ては其れに合致する樣に取計らつてある由兼二浦よりは面長病氣の爲め田代氏代つて出席した

出穀輸送順調

【淸津】本年の間島方面の出穀可能量は大豆三十萬袋、白豆二十萬袋、小豆三萬袋、粟十四五萬袋の見込みであるが、今年は天圖鐵道の開通あるを以て一日の搬出可能量が二百噸であるから豆粕の滯貨量三百五十噸に對し、上三峯では滯貨する憂ひは無からう、又出穀の盛季に入ると龍井からオランカイ越えの牛馬車輸送も一日百噸に上り得るを以て淸會線鐵道の一日三百輛と相俟ち今期の出穀狀況は頗る順調だと淸津穀物組合長の藤井氏は語つて居る

國境の森林地帶を視察して
僅か十日の旅だが流石は國境
種々な出來事が澤山ある
營林廠長 野手耐氏は語る

營林廠では多期に管內森林の新伐集材をなして夏期これを筏に組み夫れを鴨綠江に流下する、其の新伐集材及び林道施設狀況視察のため野手營林廠長は靑木書記を隨へて江界地方に出張し此の程歸任した氏は左の如く語る（新義州）

今回の出張は僅十日間で然も奧地には行かず間近から江界邑別河里茂榮洞邊の作業を視察したに過ぎぬ然しながら新伐集材作業や林道施設狀況は十分に視察することが出來た、此の作業場は十一月初めから全くの冬で相當の防寒設備をせねば居られない寒さが段々と身に迫つて來る、此の寒い人里離れた山中で一同はシャツ一枚で活動してゐる樣は恰も山男の感がある全く湯に這入る事すら出來ず只管作業に努めてゐる丁度私が出張に先立つて問題となつて居た間洞の森林は約三十萬尺締の立木を集材し得る場所で之が新伐方法に就いての措置も親しく現場を檢分した結果これは年伐材とするが順當であると思はれた、斯うして間近な便利な場所に立派な立木を發見し之れに着手する事は作業上からも經濟上からも非常に好都合である今回の視察施行で著しく感じた事は安滿道路が立派に出來上つた事である、但し聊か遺憾に思ふのは橋梁が思はしくない、モ少し堅固なものにして欲しかつた、又同地方民がドロの木で造る鉢類（食器水入等）が頗る巧妙である事だ、モ少し道ではこれを獎勵したら相當の成績を擧げ得られると思ふ、次ぎに熙川郡の國有林盜伐に郡守や山林主事の骨折で事件が意外に大袈裟のもので被害六千餘圓もあつた事には一驚を喫した更に別河里茂榮洞附近の本廠監視人和田常吉君の留守宅を不逞漢が襲撃して妻君を脅迫し現金及び銃器の奪取を企てた時に夫人は男も及ばぬ堂々たる態度に出で不逞漢を走らした事は如何に國境に活躍する大和撫子が勇敢であるかを一般に知らせ其日常の不安と恐怖と悲壯に盛なる同情を求めたい次第である要するに獨り警官に限らず營林廠の人は何れも男女を問はず勇ましいものである此の外これといつてお話する事もないが沿道別河里附近の沿岸で鴨綠江を跨りに掛け我物顏に勇飛してゐた大鷲を見事に射留めて持歸つた自慢話と徒々のまゝに浮んだ次の樣な戯作とがある許りだ

岡谷水潺々　空山行人希
出鄕三百里　白雲空徂徠

全州農校
製產品々評會

【全州】全州公立農業學校では十三、四、五の三日間生徒の製產品評會を開催したが之が審査授與式を二十四日午前十一時から擧行したが式後生徒の製品試食會を催した飯は各種の米で各自喫み又甘藷飴甘藷燒酎羊羹南瓜羊羹等で頗る興味ある試食會であつた因に多木粂次郎氏は同校に金千圓を寄附した

完山狩獵大會

【全州】全州完山獵友會では既報の二十五日の日曜日を期し狩獵大會を催したが參加者二十餘名は午前五時半加城寫眞館前に集合し定刻に出發したので當日は早朝から附近の山野は砲聲殷々と響き各自得意の技倆を發揮し締め切時間の午後五時までには集合所に相次いで歸著した獲物は雉一羽數十羽で鴨が主で歸著順に採點し同七時から平野や旅館で矢開きをした席上高木會長の挨拶あり其他夫々に異格談表あり天狗連の成功談や失敗談の自慢に夜の更けるも知らず非常な盛會であつた入賞者左の通り

等級	得點	持點	差點	氏名
一	二一五	一二五	九〇	松村信雄
二	一五〇	一二五	二五	高木營人
二	一七五	一五〇	二五	鈴木晁五
三	四五	二五	二〇	飛田千吉
四	八〇	七五	五	宮澤喜兵衛
五	二	二五	〇	宮崎林藏

面議僞姓問題報告

【大田】大田面協議員成松宇多吉氏の僞姓問題に就ては郡に於ても直に道廳に報告し目下審議中にありたるを以て有權者よりの異議の申立ては之れを見合せ道知事の指揮を待つて居る

仁取監查役重任

任期滿了中の仁川米豆取引所監查役左記三氏は十六日附總督より重任の件認可があつた（仁川）

▲原勝一▲丁致國▲天日常次郎

仁川局移轉は十六日

【仁川】仁川局の新局舍移轉は既報來月十一日行はるゝ豫定であつたが暖房其他設備の都合上十六日と決定した新館では局內に於ける時計の總ての統一をなすことに決定したと同時に正確とその統一を圖る爲電氣時計を特設し急設電話も本年度內に架設を了し開通の運びに到るべく同局では目下加入者番號を調査中

仁川俱樂部例會

仁川俱樂部會では三十日午後六時より公會堂に於て例會を開き其の席上で大正十一年度事務及會計報告並に評議員の改選を行ふ（仁川）

優勝旗獲得披露

【大田】大田警察署では二十三日朝鮮警察協會公州支部の主催に係る劍道優勝旗爭奪戰に於て第一回の榮冠を得たので二十七日午後一時より武德館で出場劍士の懇親を兼ね之れが披露の宴を催し官民有志を招待したるが盛會であつた

地方集會

▲驅逐隊長招宴【旅順】兒玉關東長官は二十四日午後五時半より柳澤司令以下七名の驅逐隊長を官邸に招待し防備交替の爲め送別宴を開催した（旅順）

▲ほへと新築披露【淸州】淸州で美姬の粒揃ひと料理の滋味とを特長とせるほへと樓は材料全部を內地から輸入して百餘坪に近い宴席を新築中であつたが漸く落成したので官民約二百名を招待二十五、六兩日披露の盛宴を張つた

地方人事

▲高柳保太郎中將（滿鐵囑託）廿五日午後十時急行で北滿視察の途に就く來月五日頃歸連の筈（大連）

▲遠藤達氏（滿鐵經理部長）滿鐵來年度豫算を提げ二十五日午後十時發列車にて上京（大連）

▲岡實博士　滿州經濟調査の爲め二十六日來安即日五龍背へ同廿七日南行（安東縣）

▲佐伯顯氏（總督府事務官）滿鐵劍道大會臨席の爲め來安中の處廿五日京城へ（安東縣）

▲平島敏夫氏（滿鐵秘書役）滿鮮劍道大會へ臨席の爲め來安中の處廿五日大連へ（安東縣）

▲內藤確介氏（材木公司理事長）東上中の處二十六日歸安（安東縣）

▲向井寅吉氏（京城師範學校體操囑託講師）慶山、迎日、慶州三郡へ二十六日より出張（大邱）

▲金朱鉉氏（慶北道視學）學事視察の爲め慶山外二郡へ二十六日出張（大邱）

▲飛舖釜山府理事官　大正十三年度豫算編成に關する打合其他の用務を帶び二十五日道廳に出頭二十八日歸任（釜山）

▲岸上繁次郎氏（福岡縣衛生技師）朝鮮總督府技師、兼大邱慈惠醫院醫官、慶尙北道衛生課長に任命不日著任の豫定（大邱）

▲迫間房太郎氏（釜山實業家）歸省中の處廿六日夕歸釜（釜山）

○新幕驛	
驛長	山口岩吉
助役	大川政重
同	中山勇
	川坂忠雄
	白明云
	上原剛太郎
	桑原秀太郎
	松井久五郎
○瑞興驛	
驛長	佐藤太一
助役	古郷將之吉
○興水驛	
驛長	德山鐵龍
助役	飯塚秀夫
○淸溪驛	
驛長	原田採一
助役	佐々木喜右衛門
○馬洞驛	
驛長	三瓶倉之助
助役	德永政
○沙里院驛	
驛長	中奧宮吉
助役	阿部基彥
	山田通治
	沖秀一
	高林光夫
	太田榮
○沈村驛	
驛長	佐藤勇三郎
助役	村上秀治
○黃州驛	
驛長	桑原秀一郎
助役	伊藤一郎
同	吉岡宗雄
同	靑山事治
	渡邊寅治
	右田政淸
○兼二浦驛	
驛長	砂金榮之助
○黑橋驛	
驛長	瓜園勝瞭
助役	能底岩雄
○中和驛	
驛長	岡崎松男
助役	德崎靜
○力浦驛	
驛長	渡邊國治
助役	田名網楷松
○平壤驛	
驛長	春山淸彌
構內助役兼事務助役	土井靜夫
同	峯興助
同	淺尾秀治
同	味村熊之助
同	鍋島耀
構內助役	寺島順六
貨物主任	喜多村行見
貨物助役	木原貞人
	藤田吉二
	上田二郎
	赤松正
	中山金作
	原實
	江川己德
	庭木傳助
	代田格太郎
	若松諧次
	安藤工
	大和勇男
	內田定次
	尹是炳
事務助役	原田照巖
	服部倫
	吉田保男
	龜口豐
	佐藤兵部
	帖佐克嘉
	森山芳男
	牛村菊榮
	奧山芳子
	前原春吉
	鰯原旻
	金光熙
事務助役	庄島傳一
	松浦修一
	江崎喜久漸
	牧野幸一郎
	大西淸
	阿部順吉
	三木正則
	伊東榮男
	前田一郎
	坂本作一
	宮田嘉技
	松尾勇
	三科厚
	緒用石
	今倉泰
	西澤甚公德
	牧野進
	關鶴太
	島中甚四郎
	山之內武熊
	塚崎繁太
	矢木敬平
	馬淵階造
	永吉壽忠
	片桐長太郎
	坪井政三
	岩尾岡治
	宍倉彌門
	松崎宗太郎
	渡邊鐵治
	出淵龜義
○大同江信號所	
助役	片桐瑞左衛門
同	野崎四郎
○船橋里驛	
驛長	金島晉吉
助役	今倉熙
	奧村覺卿
○美林驛	
驛長	梁田安次郎
○寺洞驛	
驛長	下村米吉
○勝湖里驛	
驛長	栗秋萬作
○大平驛	
驛長	李致弘
助役	中村芳太郎
○岐陽驛	
驛長	渡邊竹治郎
助役	網島今朝藏
○眞池洞驛	
驛長	原口直一
○鎭南浦驛	
驛長	中呂吉
助役	大家昌二
同	建藤賀悅
	山木萬司
	向鐵友吉
	檜垣源
	松島左手雄
	河端伊作
	金永煥
	近藤毓一
	吉池富治
	馬淵捨吉
○西浦驛	
驛長	能野五郎
助役	猪戶喜太郎
○順安驛	
驛長	安田榮
助役	神作治郎
○漁波驛	
驛長	河內山容藏
助役	貝谷貞藏
○肅川驛	
驛長	中山三吾
助役	高橋健兒
○萬城驛	
驛長	河野淸二
助役	木川由春
○新安州驛	
驛長	白根祐敏
助役	末廣小右衛門
助役兼貨物方	井上佐大助
	佐野永太郎
	野村蔚五郎
	荒巻英彥
○孟中里驛	
驛長	皆川淸助
助役	小野積
○嶺美驛	
驛長	風間正萬
助役	深澤光吉
○雲田驛	
驛長	天野直八
助役	片野源太郎
○古邑驛	
驛長	竹村寬三

折込線

同	星久彌
同	大塚光
同	遠藤武夫
同	中村芳雄
同	都築恒二
同	牧野政一
同	上原德五郎
同	平山善作
同	北崎永夫
同	田中忠松
同	鍋井淺雄
同	長崎長久
同	多田松太郎
同	杉本武城
同	谷川滋郎
同	篠崎文雄
同	德永土太郎
同	成瀨靜男
同	篠原芳彥
同	谷口末五郎
同	前山一郎
同	八重哲雄
同	湯淺繁
同	靑木秀雄
同	絲山衞郎
同	渡部弘
同	八島善雄
同	長谷川幹治
同	趙泰鎬
同	李智善
同	鄭昌均
同	梁在健
同	鈴木忠五郎
仁川在勤（兼）	野口義太郎
同（兼）	村田德太郎
同（兼）	宮崎留太郎
同（兼）	島田惠三
福溪在勤	鵜川長三郎
	加藤仁三郎
	猪狩源治
	小西惣助
	坂重作
	下郡菊太郎
	小田恒二
	朝長文一
	立石善三郎
	熊原德治
	山本春一
	大久保忠俊
	佐々木質次
	武若鋪太郎
	毛利監二
京城驛構內食堂支配人	大高常之介
	井龜荒助
	松井昭二郎
料理長	岩淵時三
食堂車支配人（兼）京城在勤	大高常之介
	宮坂藤四郎
	秋吉一郎
	森岡淳郎
	滿生藤一郎
	糸井源次
	加戶吉次
	松井昭二郎
	小貝留男
	村井熊登
	鎌田勇
	荒澤文治郎
	木原萬治郎
	御厨幸衞
	堀雄二
	山田豐一
料理長（兼）	岩淵時三
仁川機關區區長	齋木鹿次郎
庶務助役	秋田輝一
	惠澤尙文
運轉助役兼監督助役	佐座源太郎
	大石勇吉
	神戶末吉
同	鍾ヶ江淺次郎
同	柴田小門
同	中村政一
同	松井森一
同	石野武
同	山脇元信
同	關神一郎
同	山崎操
同	磯部佳次
同	奧屋新一
	石福興
	板東茂
	廣池幸次郎
	上園榮畝
	尹昌烈
	松本勝之
	濱喜六
	任壽年
同	朴仁玉
	岩間三千三
	大塩彌猪勝
	高島鶴次郎
工作助役心得同	志村鈴吉
龍山機關區	
區長	大村宗春
庶務主任	小野健太郎
庶務助役	松尾虎太郎
同	小平直德
	津田傳次郎
	原田金備
運轉主任	上蘇消太郎
運轉助役兼監督助役	青木周治郎
同	太田尾治吉
同	藤田理平
同	藤又定一
	赤井勝挹
	岡田信平
機關士	武田定吉
同	中村和助
同	福源三郎
同	安西松藏
同	繩本來作
同	伊東久太郎
同	大島竹馬
同	木利憲一
同	齋藤宗吉
同	山川丹治
同	岩城武藏
同	大橋益藏
同	岡正
同	中尾庄作
同	酒井鶴吉
同	高見寅之助
同	村瀨右衞治
同	桐野仲助
同	堀利男
同	中尾恒四郎
同	小松健猪知
同	池戶宗一
同	濱田直議
同	田崎熊吉
同	伊藤進造
同	瀧澤文治
同	吉田新平
同	佐土原隆發
同	濱崎勇吉
同	田中忠
同	舟木時夫
同	南部政職
同	迫敏之
同	堀松市
同	大同宗七
同	松本元三郎
同	島山勝太郎
同	富田照
同	相良鋪吉
	古賀金一
	青木健佶
	瀨戶口保
	小森茲平
	田島忠大
	上田務二
	鈴木三次
	石丸幸一
	長島誠一
	德藤義藝
	出田宗職

詩集「土墻に描く」が發賣禁止された
朝鮮では珍らしいこと
青年詩人内野健兒氏著

朝鮮の寂しい詩壇で唯一つの明星の様な輝かしさと努力とを續けてゐる青年詩人内野健兒氏が「土墻に描く」と銘した詩集を發刊したことは既報の如くである、さうしてその發刊は朝鮮は勿論内地の詩壇からも相等の祝意を表されてゐるもので、朝鮮の詩壇も内野氏の活動を待つて一紀元を作らうとしてゐるのである。處が不幸にも内野氏の此の愛兒は當局忌憚を受けて發賣禁止を命ぜられたのである今や黎明期にある朝鮮の藝術界にとつてはその將來の發起に向つて重大な關係を生ずるので愼重に考者さるべき事件であらねばならぬ。本來内野氏は大田中學の教職として、又氏自身の堅實溫和な思想家として、現代の悪風潮な詩壇の若人としては珍らしい溫健な人であるのである。それが如何なる點で當局の忌憚を受けたか、氏は次の如き意見を發表してゐる。讀者よ正しく靜かに眼を閉げ。

禁止された僕の詩集（一）
内野健兒

A

僕は第一詩集出版の喜びと同時にその發賣禁止の悲しみを味はねばならなかつた。何と不幸な愛兒であつたらうか。あの『朝鮮詩集』『土墻に描く』は暗から暗へ葬り去られて再び日の目を仰ぐことが出來なくなつてしまつたのだ。

誰かかくもみぢめな運命を最初の愛兒の上に豫期しようか。出來るだけの祈願と祝福をこめて世に送らうとした愛兒―然も私は貧しい田舍の無名詩人である。自費出版といふ苦艱をおしきつて能ふ限りの愛をこめ衣裳を着せて貧しい者の最上をつくして門出を祝つてやつた愛兒である。また川路柳虹氏もこの愛兒の爲に親切な序文を下さり、多田毅三氏はこの愛兒の衣裳の爲に一方ならぬ御骨折を賜はつたのだ。そして耕人社友其他のお心厚いめぐみの光りをあびて門出つことの出來た愛兒であつたのだ。

かくの如き愛兒の詩集が突然罪を負はねばならぬ様なつたとは―生みの親の胸の中の寂しさ、悔しさ。運命と想うても諦きない愛惜の情である。

が今は早世を去つた愛兒よ。生みの親として此處に鎭魂の一文を綴つて世人の前に捧げよう。これがお前の生みの親として名もない無名詩人のせめてもの慰めでなければならぬ。

B

朝鮮詩集の中でいけぬのは長篇詩の「土墻に描く」といふ事である。治安妨害といふ罪名を着せられては定めし如何に危險千萬なものであらうかと想はれるであらうけれどもつとあの子のいゝ精神を見ていたゞきたい氣がする。勿論今更其筋の處置を云々したくはない。たゞ治安妨害といふ名目の爲に世人からあの子が全然悪黨者に思はれるのが殘念なのである。

長篇詩は『土墻に描く』は闇の曲、夢の曲、曙の曲の三部から成立し初めに獨序曲を附してゐる。元來我等は自らの作品に就て彼是說明がましい事を述べたくはない。詩は感情の高潮にあるので作者自者さへ說明し得ないものだからである。讀者ができるだけよい直感力によつて眞實味にふれてくれよと願ふの外はないのである故に僕自らも今自作に就て多くを述べたくはない。併し遺憾な事には既にあの作は人々の目に觸れ得ない樣になつてしまつたのだ致し方がない此際に作意の大要をあげて一般世人の誤解を惹起しない樣にしたい。

僕は闇の曲に於て朝鮮人の惱みを歌つた。惱みより起る呪ひを叫んだそれは實に希望のない暗夜の曲だ。

この惱みある人間から生れる現實生活の種々相を歌つたのが夢の曲である。でその中には或は武力に對する反抗がある。或は革命がある。或は破壞がある。實に前の闇の曲から夢の曲のかういふ部分にかけてが忌避に觸れたものと思はれる。併しながら夢の曲の中には平和に憧れる心もある。新政の讚美もある。たゞ反抗、革命、破壞の聲は現實相の一部に過ぎぬのである。低級な現實享樂者の逃避的な頽廢風の言葉もある。

而して作者の意圖は更に進んで曙の曲に於て所謂種々の夢を呼さまして理想の曙光を示すにある。

ああ、たゞ目に見えるもの、耳に聞えるもの、手に觸れるもの、むなしく『時』のかげに消え去る空や海に顏を惱まし心をひらめかす預言者が曙に亡靈の姿をふきけす名探偵とならうより常に新鮮な星や樹木や河のやうにわれらは『相對』を越え『假現』を越え自己のきらきらした眞生命の花をすばらしう『第三世界』に咲かせよう

子女の教養と育む者の愛に就て
東京高師教授 文學博士 下田次郎

妻の愛は移る
婦人は子を産むと夫に對して子が愛の競爭者となるのである。妊娠中から夫れを氣遣つてゐる女もある夫で自分よりもより強く子を可愛がりはせぬかといふ嫉妬もその心に芽ばえて來るものもあるがある

哺乳
動物にある樣に、母には子が第一であつて、夫が愛の主體とならぬとが寧ろ多くはなからうか從つて夫は子が産れると、以前ほど妻に愛せられない、顧みられない、母には子が生活の中心となつて行くものであつて愛するに母の愛はその父よりもなほ本能的があり生理的であり盲目的であつて動物の母の愛に似通つたものである

嚴肅なる父の愛
父の子に對する愛は母の愛とはその趣きを異にして居る肉體的關係は母ほど大ではないから、その愛は母の愛よりも後天的であり又精神的である、そして父の愛は客觀的であり又冷靜であつて決して母の樣に盲目的ではないけれど親の愛といふものは出生後の子に對する勞苦に依つて養はれて行くものであるから父が子の教養に就て生計上の奮鬪や精神上の戰鬪が大であれば父の愛は隨分強いものである。父は子に對する

任務
の分擔方面が母とは異るのであるから從つて子に對する愛の意義が異つて居る父の愛は理智的であつて大局からみて愛する、故にその子に對する喜びも悲しみも深く長である、母の樣に目前の愛に溺しきれなかつたり悲しみに取亂したりする樣なことが尠い

各々特有の愛
自分の愛兒の頭上に林檎を置いて矢を放つウイルヘルム、テルウ、軍人に時計を買つて自分で殺した人の所在を告げた子の不信を怒つて子を銃殺するマテオ、ファルコオチのやうな嚴肅な處置は母には敢行し得ざる行爲である、子に對して父は冷やかで、母は愛に溺れて子を甘やかすことがあるがそれは各々特有の愛であつて決して母の愛を悲難すべきでなく美しき

母性
愛の表現であるから父母は揃つてその特有の愛を以て何れにも偏しない樣に子女を教養し立派なる人間として社會に活動して行く樣に眞に正しき暖かき愛の中に包んで監視を怠らぬ樣にするのが親たる者の責任である（完）

日蓮宗徒が朝鮮見學
參詣會を組織して
日蓮宗の一派である本門佛立講が近來海外に教線の大擴張を企て先づ朝鮮に手を着け先に釜山府草場町に長松寺を建立し續いて昨年末京城府本町五丁目に妙松寺を設けて布教所に當て大に日蓮主義の鼓吹に努めてゐるが幸ひに在住内地人の歸住者多く妙松寺本堂内部の裝飾も全く成つたので明年度五月初旬其開眼式を行ふ由で内地信者の渡鮮觀察を同寺から頻りに勸誘し來るので愈々内地信者有志の團參を決行する事となり今回京都の佛立講本部に朝鮮參詣會を設け汎く會員を募集する事となつた而して其費用は七十圓とし一週間の豫定で釜山と京城の兩地のみ觀察し場合によつては仁川をも見學する計畫だが既に百餘名の申込みあり締め切りの十二月十五日迄には三百名以上に達する模様である（京都特信）

營養の原動となる謎のヴイタミンAは
微量が必要である
ヴイタミンAは他の榮養素と異つて人間の身體には極めて微量あればいゝことを發見しました蛋白質や含水炭素は全體の榮養の十五パーセント位が標準で之が七十パーセント位まで殖えても別に

人體に
變化はありませんがヴイタミンAは標準として全體の榮養の十萬分の一で充分で之に依つて殖えると例へば之を千倍の量にして與へて試驗してみると人間なら逆上せたとでもいふやうな狀態になつて眼が見えなくなります ヴイタミンAの正體は未だ學界の謎ですが之を石炭を焚いて動かす蒸氣機關に例へて見れば普通の榮養素は石炭を焚いて機械を動かし始める

マッチ
がヴイタミンAに當るといふやうに說明してみたいと思ひます即ち新陳代謝の原力でエネルギーがそこから出始めると見たいのです人間の成長健康がそこから發生します隨つて之を實際問題に移して震災後の様子を見ると日本人は米を主食とするから平常でもヴイタミンAは餘り豐富にはならぬが食物の制限を受けてからは特に缺乏を來した方が澤山あると思ひますこの結果乳の出ない母親抵抗力の弱い疲れ易い方

生活力
の減退した方等の後の惡い方抵抗力の弱い小兒等は傳染病に罹り易い肺炎の腹症を發生し胃の發育が惡くなる人間なら夜盲症になるといふ結果になりますから是等の人はこれを直接服用すれば非常に効目があります又積極的にエネルギーを新しく與ふ人はヴイタミンAのある食物を朝な夕なに充分喰べる必要があります試驗の結果によれば大概の菜類にも海苔にもほうれん草にも含まれてゐることになつてゐますが最もいゝのは肝臟

肉類で
中でも牛豚肉鮭肉やバター、ラード、ヘッド等の物質の脂肪分のあるものが一番いゝことを御承知下さい（榮養研究所高橋學士談）

少女の觀たる軍隊
婦人見學團參加し

暖かな情を抱いて 大御國の爲に精勵
平壤高等女學校第四學年生 鴨川彌生

空はつきりしない。然し朝から微風が心地よく觸れて何となく清々しい朝でした。校長先生、野呂先生に從つて私共は兵營に出發しました。歸りの聲へ!! 平素は一種の特權な感じのする男の方ばかりの組織された世界、私共にはそれがどんな所か殊に詳しい内情に至つては殆ど無知でありました。然し知らうとつとめた事も無いではないのでしたが、それだけにいざ見學を許されると云ふ時の好奇心も亦一層擴がつたものでした。私共は色々珍しい勇ましい物を見せて戴きましたが何よりも軍隊の方の熱誠をもつて御歡迎下さつた事が嬉しく感ぜられました。そして次の様な歡迎の辭を私共の爲に下さいました。

『生きて還らずば則ち汝楯に乘つて還れ』と兒を勵ました母を有したるが故にスパルタの小を以て覇を爭はしめたのであります價に兒を育つるは主として母たる人の職とする所であります。古より忠臣孝子其の他偉人といはるゝ人には必ず良妻賢母あつて隱れたる力を盡して居たのであります。今や軍國多事の際に方つて皆樣方が進んで軍隊に御出になり軍隊内の狀況や新しい兵器や戰術其他兵學に關する智識を養ひ以つて他日育兒の參考とせられむとする事は國民國防軍民一致を標語とする今日眞に時代に適合したる御企と存じ我々軍部に在るものとして慶賀に堪へない次第であります寒い折から殺風景な兵營内で武骨な男ばかりの天地で物質上何等の御もてなしも出來ず何かにつけて御不便ではありませうが將卒共に心からの歡迎を致して居る次第であります どうか御遠慮なく（遠慮は軍隊の禁物）何處でも御見學或は御質問下されて何等か見學の目的を少しでも多く達せられむことを切望致します。此の見學が將來毎年行はれその結果皆樣の家庭からよりよき壯丁が軍隊に送られむ時を期待しつゝ茲に心からの歡迎の意を述ぶる次第であります。

大正十二年十一月十九日　步兵第七十七聯隊

ほんとうに私共は或る親しい暖かい情を抱いて我大御國の爲に勵げまれる方々の專心に務められるのを拜見したのでした。見學した中で兵器庫、炊事場、機關銃、之が一番感じが深うございました先づ兵器庫に案内されました即ち兵器一切を納められた所です此處で受けた教訓は習口校長先生にも仰られました樣に整頓と云ふことでございました。幾多の兵器が實に秩序正しく納められてある所を見ましては私共女性として感じないわけにはなりませんでした。

口を少くして實際に 軍隊を見學した私の感想
平壤高等女學校第四學年生 森岡安惠

軍隊見學によつて兵隊の裁縫と言ふものに對しての考へは總て豫想外だつた。不器用な兵が慣れない手先きの仕事をおぼつかなげに針を運んで居る樣をゑがいて女子のみしか到底滿足には出來ない事だと自惚れてゐた。裁縫ミシン仕上げ等が完全に出來てゐる、否私どもよりも遙かに上手である事にはまたく驚かないわけにはいかなかつた又炊事場を拜見した時も其の室の清潔整頓の充分なのに此が幾百の兵隊さんがする所だらうかと疑ひを起さずには居られなかつた。これらの事によつて私は考へた。それはいくら机上の理窟を知つてゐても活動社會では役に立たないと言ふ事を……理想を知つて實現の行はれない無力な者よりも私の心は叫びたかつたでもそれは最早過去なのだ。此の軍隊見學によつて感觸の鈍い私も後は口を少くして實際に行ふと言ふ事に私の最善をつくさう

中學校入學試驗全廢運動起る
準備教育に專念して社會的人物の教養を疎にした
小學教育は帝都復興に付隨して一日もゆるがせにする事は出來ないとて東京市教育會の若林成昭、高田房之輔、野瀬氏等代表委員五名は二十二日永田市長を訪問して小學教育復興に關して五ケ條の建議案を提出し熟議を遂げたが同教育會では從來の中學入學試驗は小學教育の振興を阻碍するものとしてその全廢を期すべく決議し實行委員を舉げ都下中學校當事者に入學試驗全廢の勸誘をなし特殊兒童教育を初めいやしくも小學校教育復興の根本方針を樹立するに必要な参考事項について詳細な調査を專門大家にそれぞれ依賴する事になつた幹事松下末吉氏は語る『今までは社會に出る準備より入學試驗の準備に力を入れ算術、理科、地理と歴史的なことに兒童の知識をとられてしまふので全く社會的人物が出なかつたが今度は震災に際して精神教育を初め科學、體育、社會奉仕等本當に意義ある教育をする時育たらしめたいと思つて此の運動をはじめました來たる二十六日から各部署を手分けして懇談する考へです（東京）

地震のおかげて東京灣海苔の豐作
淺草海苔が安くならう
猿田、大森、砂村、葛西等は海苔の産地であるが是等東京灣の各漁村は最近非常な活氣を呈して來たこれは近年稀に見る

海苔の
豐作だからで年額約五六百萬圓の處が今の分で順調に育てば七八百萬圓は十分受合だといふのである、此豐作の原因は全く地震のお陰で海底を激しく搖つた結果海底に一尺乃至三尺もたまつてゐた浮泥がすつかり洗ひ去られ自然に掃海が出來た譯で海苔の胞子の芽が完全に出るのと東京寄の海底の低下から干潮の差が甚だしくなり從つて海苔の附着が殖えたことに依るのである東京寄りの方面のみでなく

千葉縣
の五井、姉ヶ崎木更津方面も非常に工合よく、この分で行くと今年のお正月はうんと安い海苔が喰べられる事になる東京府の前田水產技師の語る處に依ると『大森の云ひ傳へでは安政の地震後淺草海苔は非常な豐作であつたさうで、先月の下旬東京灣を一週海苔の調査をした時も工合すよくこの分では豐作と思つてますが中々海苔はむづかしいもので今後の

氣候は
多少氣づかはれないでもありません、府としては最近漁業組合長等を招集して、地震は却て海苔の生產には良結果を來すからとて粗朶の植附を獎勵し最近には植付時期の最も遲いもの遲れたもの、移植の狀態等は平常り五六圓にもなつて、その上資本入らずの商賣なんですから海苔作りは止められません』

世界一週の飛行機が
米國から來て北海道着陸か
米國の飛行機が世界一週の爲めアラスカを經て日本にも飛來するとの事は我海軍當局にも米國から照會があつたので我海軍では要塞地帶等を通過されると困るがそうでなければ差支へないと云ふ返事をするそうだ而して其飛行機が何處に着陸するか不明であるが北海道か東北の或る地點に着陸する事であらうと豫想されると

濡れた靴を光らせる法
濡れた靴は幾ら磨いても光らないものだが、靴墨の中に流動パラフインを少し加へれば直に光つて來るし、皮の爲にも大へんよく從つて保ちがよい

京城日報代理部
電話光化門長四〇〇番 六一二番　振替口座京城二〇〇〇番　電話構内一九、二三番
朝鮮總督府遞信局、各道廳、購買組合、朝鮮總督府各課及警察署、銀行、會社　指定店

▲わが代理部は最も安價に最も親切に又最も迅速に通信販賣をいたします
▲如何に遠方の地方でも御注文次第直に小包郵便（品により運送便）で發送いたします
▲御注文に對しては最も堅牢な新流行品を選擇してお求めに應じます
▲送品が萬一お氣に召さぬ時は何回でもお申越に從ひお取替へいたします（送料當部負擔）
▲御注文は前金か代金引換便で宜しう御座いますが物によつては内金を頂戴いたします
▲品物を多數お纏めになるか或は多數で共同購入になれば非常に安價につきます
▲代金引換便は割合に高價になりますので出來る事なら前金拂込の方が御徳用であります
▲其他何んでも皆樣の代理部として御取次致しますから何卒續々御注文を願ひます

日用品　食料品　和洋酒　清凉水　朝鮮特産物　旅行用具　魔法瓶　運動具　文房具　帽子類　洋服及附屬品　呉服類　製靴　ゴム底靴　國際勝寫機
印刷インキ　各種時計　貴金屬　書籍出版　和洋雜貨　毛布膝掛　クラブ化粧品　パイン萬年筆　人蔘洋酒　各種エキス　開城白蔘　本場九谷燒　其他各種

早くて親切

東亞之最捷徑
南滿洲鐵道株式會社京城鐵道局
本社 滿洲大連市東公園町　支社 東京市麴町區有樂町

船車聯絡
當社各主要驛ト鐵道省線、支那各鐵道、山東鐵道及東清鐵道吉長鐵道四洮鐵道ノ主要驛並ニ下ノ關、門司、神戸、大阪、上海等各港トノ相互間ニ於テ旅客聯絡輸送ヲナス
○直通列車　大連、長春間 毎日三回　釜山、奉天間 毎日二回
○東京ヨリ朝鮮經由 釜山迄一日半、京城迄二日、奉天迄三日 北京迄四日、ハルビン迄四日

直營旅館
朝鮮：京城 朝鮮ホテル　平壤 新義州 釜山 停車場ホテル　金剛山 長安寺（避暑ホテル）
滿洲：大連 旅順 奉天 長春 大連市外星ケ浦 ヤマトホテル

大連青島上海間航路
毎週二回　使用船 神戸丸 三〇〇〇噸 速力十九浬　九二三噸 速力十四浬 ［判読不確実］　各船共無線電信アリ

鮮滿案内
鮮滿案内所ヲ東京支社内ニ置キ旅客荷物ノ案内ヲ親切ニシ且直通切符ヲ發賣ス

撫順炭及煙臺炭
滿洲及朝鮮各地並ニ東洋諸港ニ於テ常ニ貯炭ノ準備アリ

其他大連ニ電氣鐵道、瓦斯事業並ニ大連奉天、長春及安東ニ電燈事業ヲ經營シ更ニ鞍山ニ製鐵事業ヲ開始ス

松崎實　尾崎慶次郎　稻葉三代藏　指田信雄　川上繁　上原三郎　上田好美　山崎重次郎　荒川貞好　青木武雄　植田寅夫　片桐勝　松本倫生　七里政文　大和新五郎　小池一治　菊川龜太郎　北代猛　實島稀春　中村利雄　二村貞見　吉澤顧次　北浦岩雄　長谷川政治　廣田鐵之助　吉持一夫　常見鼎一　蘆澤秀夫　中村紀也　櫻井實　後藤昇　石塚嘉一　千葉五郎　田中鐵之助　栗野貞志　田鍋勇司　米田安造　杉山彌三郎　森田智　西高義　御所名房治郎　今村實　鷹羽逹二　木脇義盛　安藤重夫

日本岩吉　河村信介　永山朗雄　小野仁三郎　小塚市五郎　朴勝鎭　李昌鉉　徐陵伊　石萬幸　石二幸　藤本富士雄　田村强輔　鍛冶要藏　蘆澤錄太郎　林田秀三郎　野中又七　酒井貞治　篠内榮次郎　甲賀清次郎　青木實　園田藏　若林卓郎　戸脇初太郎　堤行男　下村喜藏　吉田卯三郎　北條廣吉　秋元實治　小田實　津藤直助　重松又六　星野幸　藤田十造　宮崎常吉　和田荒次郎　渡邊松次郎　林己之助　常光乘靜　石迫源藏　佐野讓作　松永一　羽月助次

藤崎盛喜　岡崎三男　松尾喜藏　今井乙吉　黒田金雄　下山政雄　渡邊一江　大川市太郎　高橋楨藏　安田利夫　上原藤治郎　島田德次　若森勇　三島義雄　鳥島儀一　蘆澤重信　李明石　小野友吉　金本龍一　藤原敏郎　深點龍　申云先　高成照　村中傳　金本升藏　堀内良作　鳥田政太郎　安藤鐵三　福原虎雄　秋葉安喜治　木幡季清　吉田壽藏　伊藤德次郎　福王寺正直　高橋佑吉　暮野積三松　友清勘吉　小林喜助　淺野健　植野周一　金丸武吉　前田増穂

中本正治　尾石正男　李卓遐　全熙泰　金丙俊　松尾喜太　豐尾嚴太郎　榮田喜助　諸伏喜吉　東井引藏　池田仁三　白尾國義　小林喜太郎　吉村宗十郎　野田鶴助　河相喜助　岩元實二　池田保吉　藤田久三郎　玉澤好武　宮田義男　禹德潮　李長治　鄭田要藏　河合治三郎　清水武吉　宮永重俊　國田定吉　高田直　荒中勝三郎　野世正尾　久保院　伊集院　山口誠治　岩元竹一　坂本茂一　松原久雄　梅崎敬雄　山内芳夫　横山要吉　竹内二郎

商人泣かせの商議選擧
當落の瀬戸際に
店をあけて運動に奔走してる間に
書入れ時はお流れ

會議所議員の選擧は愈々來る十二月一日擧行される筈であるが選擧の期日について有權者側に＝殊に商店側に異論がある、と云ふのは商店側では十二月一日から大賣出しをはじめねばならぬので其準備や何彼で十一月下旬は非常に忙しい、所が此頃は選擧戰も正にたけなはと云ふ時で候補者や運動員にとつては最も大切な瀬戸際であるから片時も油斷が出來ない、勢ひ家を留守にして選擧運動に沒頭せねばならぬので自然家業の上に非常な違算を來す、所が是は一年中の總決算をしようと云ふ大切な書入れ時だけに大打擊で鳳毛の利を爭ふ商家として到底忍び得る所でないといふのが其主な理由である

此の說は商店候補者、商店有權者の間に頗る烈しい勢ひを以て迎へられ共鳴者も少くない模樣であるから何れ選擧でも濟んだら一層問題化して來るのであらうと觀測されてゐる、是について某有力者は『實際十二月一日は時期が惡い、商店側で不平を稱へるものも尤もだ、大賣出しは何も年末に限つた事ではないが商家に取つては年末の大賣出しが一番大切なのである、如何に選擧だからと云つて何も商家の利益を犧牲にしてまで行はねばならぬ必要が何處にあらう、是はどうしても選擧の時期を他の適當な時期に變へて頂かねばならぬ幸ひ共鳴者が澤山あるから何れ選擧でも濟んだら當局へ陳情するであらう』と語つた

選擧取消の申請は有效か
問題の岐路の『日曜』は
衆議院選擧法に據るか
有力なる某法律家は語る

廿日施行された京城府議選擧に就いて選擧人久住一二氏外五名から府議選知事宛該選擧は違法の廉があるので取消の申請を廿五日に郵送した事は夕刊所報の通りであるが、ある方面では該文書は二十六日に道廳の手に渡つてゐる、即ち選擧確定の二十一日から起算して六日目である、されば府制施行規則によつて見れば異議の申請は五日以內にすることになつてゐるから、よし無效投票があるとも時效にかゝつてゐるので申請は何等の權威ないものとなつてゐる、で施行された選擧は效力を失ふことがないと云つてゐる、處が申請者側では期限の最終たる二十五日が日曜であるから二十六日迄有效であることは民事訴訟法に規定されてゐるから、特別法の規定のない限り訴訟法によつてやるべきものだと力んでゐる、果して行政まで民事訴訟法によるものか否や某有力なる法律家は語る

『さあそれは問題です、行政と民事訴訟法では樣が違ひやうですが、衆議員選擧法に何等か規定があるだらうと思ふ、府制施行規則に特別の規定のない以上衆議院選擧法にでも據る方が妥當だらうと思ふ、が一兩日中に研究して御話しする』

十圓の復興債券が一萬圓になる
射倖心を唆る國際公司
債券頒布を禁止さる

震災後の人心浮動に乘じ射倖をあふる諸種の魔の手が蠢く浮かんとする形勢があるので警視廳保安部では兼て警戒の眼を見張つてをる折柄こゝ四、五日前から東京諸新聞の殆ど半面を埋め『復興速進の急務絕好の事業。臨時帝都復興債券賣出し』との大廣告を爲し事務所を丸の內ビルヂング八九〇號室に置き總務執行長德光公文以下數名の名を連ね資金三千萬圓を有すと稱する國際公司なるものに疑惑の眼を向け內容調査中の處債券額面十圓に對し一等十本額一萬圓、二等五千圓二十本、三等千圓百本、四等百圓一千本、五等十圓八千八百七十本合計一萬本の割增金を附し償還二十年利子年四步とあり餘りに世人の射倖心をそゝるものとして二十六日保安部は協議の結果其發布禁止處分を爲すことになつたが尙當局は是等山師的の者に對しては嚴罰を行ふ可く其手段を考究中である（東京電報）

『日本及日本人』廢刊

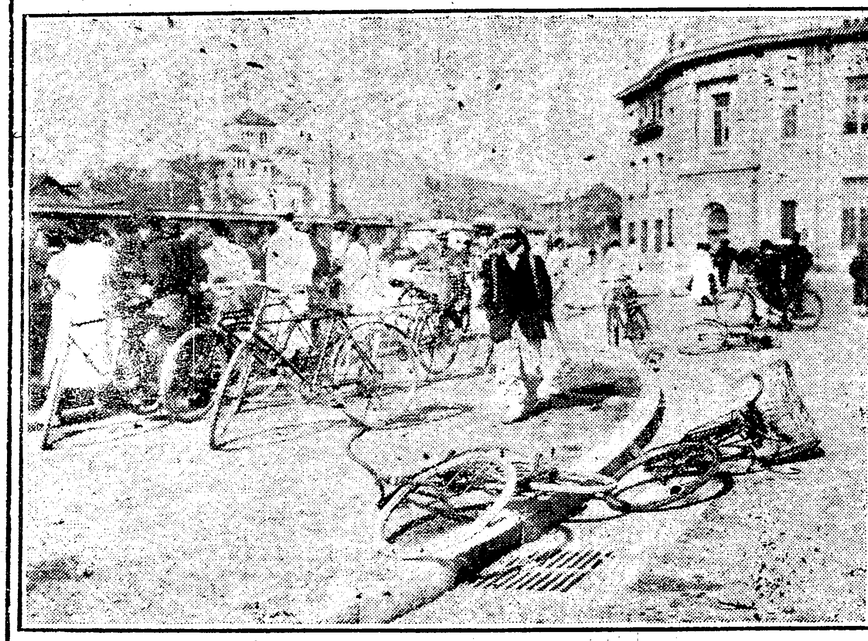
三宅雪嶺博士と經營者との意見の衝突から正教社遂に瓦解した從つて日本及び日本人は廢刊する事となつた（東京電報）

横田候補
疑問は解けた

商議候補の一人日滿生命の横田福三郎氏既報の如く保險業者を地盤として各種の關係を辿つて却々巧妙に運動して居るので無論當選は疑ひないであらうと見られて居る、處が同氏が曾て保險裁判においても本店と支店は民法上全然別個のもので支店は法人でないと抗辯したと云ふ事から民法上人格を認められて居ないものが候補に立つ事が出來るか何うかと疑問を挿むものもあつたが是は某辯護士の話にもある通り全然話が違ふからテンで問題にならぬらしい、のみならず横田氏の話によると右のやうな保險裁判はなかつたと云ふ事だから尙更である

同氏は早大法科の出身で溫厚篤實の紳士であり且手腕識見とも申分のない人であるから苟くも氏を知るほどの人々は商工界の發展の爲め大に今回の出馬を歡迎して居ると云ふ事だ

現に大村會議所副會長などは氏の出馬を耳にして『商工界の爲大兄の如き人格手腕識見兼備の士の御指導を拜することを得るは洵に會心に堪へざる次第に候』と云つて居るのを見ても此の邊の消息が解るであらうと某有力者は語つた



自轉車の大あくび
□□□□□□□□
四溫日和の午後—太平通り所見

きのふの午後太平通りのグリーンの中央に細引で全身をいましめられた鮮人の香具師が、通行人を集めて早口に何かしやべつてゐる、細引の兩端は學校歸りの二名の鮮童に依つて握られ周圍は呑氣さうに長煙管を啣へた周衣の老人や鮮女や制服の學生や與服の支那人が幾重にも取圍んで、好奇の瞳を香具師の身邊にそゝいでゐる、そこへ御用聞きの小店員達が、主家の急用も忘れて、自轉車をそこらに投げすてゝ群集の中に割込んで來る『僕は諸君を集めて藥を賣りつける樣なもんぢやない、ゆつくり僕の奇術を見物して行き給へ、お金はいらぬ、だが此の中に掏摸が三人程交つてゐるから用心し給へ…オイ掏摸だけは早く歸つて呉れ』香具師にそう云はれると今歸れば群衆から掏摸と思はれはせぬかとの淺慮から小店員は尻をむずくさせながら見てゐる、附近には乘すての自轉車が橫に寢込んで大あくびをしてゐる

府廳の給仕
公金を盜む

熊本縣飽託郡生れ當時仁川宮町一七番伊津野東宮事岡本五郎(一七)は仁川府給仕として勤め中去る十月初め頃無斷外出したまゝ行方不明であつたが此程原州警察署に擧げられ取調中であるが岡本は府に給仕中會計より金八十圓と二十餘圓を前後兩三回に亘つて窃取してゐる旨を申し立てゝゐる同所では幼年犯人として目下府に身元照會中である（仁川）

兩殿下の御婚儀調度
御重唐戸を除いて
もうすつかり調つた

攝政宮、良子女王兩殿下の御婚儀の近づくにつれ宮內省は一層の緊張で準備を急いでゐる、大變後の時局をあんぜらるゝ攝政宮の篤い御叡慮にといふ、おぼしめしによつて大饗宴の廢せらるゝことは既報の通りであるが、御婚儀に關する御儀式はあくまでも、規定通り行はるゝはずで殿廟に、ある、京都にたのんである漆器や織物は皆そろつて納入ずみとなつた、名古屋からくる瀨戶物も月末までには

宮內省
に到着するはずである。用度課では『儀式に用ゐるもの以外饗宴、就品などの道具類で東京に頼んであつたものゝ中燒失したものも多少あつたその中小道具類で調製見合はせにしたものをのぞき、みな納入を延期しただけで

立派に
出來上つた、調度品は本年一杯で殘らずそろふ豫定で來春をまつばかりになつてゐる』とたゞ、日本側の三宅利右衞門方に頼んであつた御重ね唐戶だけは、大數のものであるだけ、製造が難しく

材料を
集めるのに手數がかゝり、あるひはその斷製が來年まで延びるかもしれぬといはれてゐる

烏賊の群
江原、慶北の沿岸に回游

在浦項慶尙北道水產試驗場の報告によれば東海岸一帶に江原道界より江口、丑山浦、浦項、九龍浦、甘浦より方魚津沖合に渉る沿岸には十一月初旬頃より烏賊の回游頗る多く迎日灣沖合より江原道注文津沖邊には漁獲盛んに行はれ一夜にして一人の乘入漁師として四百尾以上を漁獲するものありこの現象は數年來殆ど見ざる處で沿岸の漁民は烏賊漁業に經驗なきため其漁利を逸するの虞れあるを以て熟練せる漁業家の來漁を俟ちつゝあり烏賊の價格は一尾四錢見當にして六百尾を漁獲するとせば廿四日の利益を見る勘定である（大邱）

郵船爭議惡化
大谷陸員側代表の歸神で
俄然雲行が一變した

日本郵船の爭議形勢は廿六日夜來神に險惡となり神戶支店では陸員側代表者なる大谷前倫敦支店長が歸神した爲め雲行き俄然一變し同社を團體する神戶支店の同交會員等は朝來秘密に協議してゐたが一方東京本社の同交會幹部からも何等かの電報に接したらしく又海員側では東京高等商船出身者で組織されてゐる郵船々員青年同窓會は在港郵船船長高等海員百八十名を集め如何なる態度を執る可きかに就き協議の結果海上主從主義といふも陸員ばかりで實がないから對抗的に戰ふ可しとの意見が勝を占め『我々目下紛糾せる狀態は國家海運の爲め寒心に堪へず依つて青年同窓會員は其後の推移に注意を拂ひ非常なる覺悟を以て之に對處せんことを期す』と云ふことを決議し神戶支店監督は右決議を携へ上京し本社幹部に對し示威的行動に出でたが形勢は如何に進展するか逆睹を許さない（神戶電報）

在外社員の態度强硬
郵船側は樂觀
內地在勤者は平穩だと

既報の如く日本郵船陸上社員の態度は依然決定しないが只今迄の狀勢を綜合すると連袂辭職する樣な事はないらしいが海外支店の紛擾は非常な影響を來すので郵船積出に勿論紡績聯合會にても非常に憂慮してゐる右に就き上村大阪支店長の談に依れば內地社員は好く事情が解つてゐるから今後紛糾する樣な事はあるまい在外支店員の態度が强硬なのは事實で今後如何に變策が講ぜらるゝか解らないが內地勤務員が店を閉く樣な事はあるまい（神戶電報）

航空隊卒業式

霞ヶ浦航空隊では二十七日午前七時學生並に練習生の卒業式擧行、畏き邊より御差遣の海軍大將伏見宮博恭王殿下より優等生に對し恩賜の賞品を下賜され飛行演習其他を台覽の上同日午後歸京相成つた（東京電報）

香港支店員
一同辭表を提出

【香港二十六日發】香港に於ける日本郵船社員一同は社長に辭表を提出し二十六日から能業狀態に入つた之は本店の意嚮とも連絡あり且つ暗號電報を以て各地と連絡してゐる模樣である

怪しい賣藥商人
格鬪の上捕はる

全北益山郡生れ當時住所不定自稱兩班無職崔主成事郷泊(三七)は二十六日午後四時頃仁川外里派出所前を多數の賣藥品を所持し徘徊してゐるを取押へられたが同人は係官の隙を窺ひ逃走を企てたので追跡し約二十分間大格鬪の末逮捕し取調べた處此奴は昨年七月頃より京仁間を渡り步き梅毒淋病藥と稱して怪しき賣藥で不正利得をなしてゐたことを自白し現金二十四圓餘を所持して居り餘罪ある見込で取調べ中（仁川）

內鮮人の震災美談
單行本にして
總督府より刊行

朝鮮總督府東京出張所では過般の大震災當時に於ける內鮮人相互間における友愛、扶助、義俠等に關する美談佳話を集め內鮮融和の爲め冊子に製本し各方面に配布する目的で目下材料蒐集中であるが朝鮮殖產銀行員中島司氏に編輯を囑託した（東京特電）

旋風渡船を捲揚ぐ
乘客九名(女教員二名)溺死

二十五日午後四時秋田縣山本郡富根村米代川渡船場に於て突然旋風起り渡船轉覆乘客九名溺死し中には女教員二名あり（秋田電報）

在龍山口縣人會

龍山在住山口縣人會では二十七日午後六時より龍山松葉で秋季總會を開催し鐵道陸軍民間の同縣出身者三十五名の出席あり會務報告役員改選等を行ひ非常な盛會を極めた

關釜間の連絡に四船運航する計畫
新造の三隻が缺航勝ちだから
夜行に高麗新羅が就航

遞信省では本年七月一日から內鮮連絡の交通機關に一新紀元を劃すべく、船車の發著に一大改正を加へ關釜連絡船の如き新造の三隻を以て八時間運航を實施するに至つて以來連絡時間も東京奉天間に於て約八時間の短縮を見ることゝなり旅客に一大福音を與ふるに至つたが爾來約半歲に亘る實際運航の成績に徵すると流石の三千六百噸の新造船も技術上に幾多の缺陥ある處から風浪に對抗する力微弱で連絡船の就航以來曾て見ざる缺航を繰返すが如き思はざる現象を呈するに至りなるばかりで無く荷物積能力なき爲め更に荷物專用船として新羅、高麗を定期に多岐丸を臨時に運航せざるべからざる狀態を呈し連絡船の改造問題迄やかましく論議せらるゝの結果を惹起して居る

一方從來の經驗に徵すると前の新羅、高麗の如きは只將來益頻繁を加ふべき交通機關として聊か收容人員に缺くる處あるの觀あるも航海の安全と云ふ點よりするときは殆ど理想的に出來た船で僅かの時間短縮の爲め全然荷物船として使用せらるゝが如きは新造船の現狀に照し大に遺憾とせられて居るのみならず之を夜行船に使用するときに現在の九時間半に對し僅かに半時間の差あるのみで然も現在の如き缺航を緩和するには多大なる力あるのみならず多岐丸を定期船として運航するときは荷物輸送の上に於ても何等缺陥を來すの虞れなく一擧兩得の策として識者間には之れが實施を推奬する向も少からざる時に於て端なくも連絡船の四船運航說が傳へらるゝに至つた

四船運航とは卽ち現在の三隻を交互に夜航船に使用し夜行船に新羅高麗を充當するもので鐵道省としても此際現三隻に大改造を加ふるが如きは震災後の經濟關係等にて尙更許し難き狀態にあるを以て一般的狀況より右四船運航の實行に有力なるものゝ如く旣に十二月初より現在の不備を補はんとする說より愈々斷行に決せるが如くもめ一部に傳へられ居るが滿鐵の釜山奉天間急行列車運轉廢止說など、關聯して近く何等かの改正が實施せらるべき模樣である（釜山）

各宮妃殿下
病院へ御成

二十七日午前十時東伏見宮依仁親王妃周子伏見宮博恭王妃經子東久邇宮妃聰子內親王、竹田宮故恒久王妃昌子內親王各殿下には麻布森岡町高松宮御料地なる米國寄贈の赤十字社臨時病院に成らせられ完備せる設備を御覽あらせられた（東京電報）

琵琶湖の底に
鑛泉湧出か
地震で龜裂を生じて
毒素の爲か無數の死魚漂流

關東大地震後琵琶湖西部高島郡附近において鯉イサヾ等が斃死し湖上に漂流するもの甚だ多く附近漁夫を始め沿岸漁民は非常に奇異の感じをなして居る、その發見の始めは先月上旬で當時から元來近江は火山脈に當つて居るのであるひは湖中に鑛泉でも湧出するに至つたのではなからうかなどとうはさしたがこの狀態が今日になつても止まない、漁夫の話しを聞くとマスでも鯉でも『ハス』などが鯉の如く腐敗して網の目にかゝつて來る、然し死するものは魚族の中でも大きなものばかりで小さなものは一びきもないとの事で死魚の最も多いのは高島郡の地先でも知內川出先から南今津町沖で、海津から大崎の方面に至ると少い時には網のイカリ繩等に喰つ付いて上つて來るものも澤山あるので湖底に餘程澤山な死魚が沈下し居るものと推測される

琵琶湖の水產は年に數十萬圓の養殖費を投じ水產試驗場がその任に當つてゐるから產額も數百萬圓にのぼる重要物產であり殊に西の湖邊の大部分は漁業に依つて生活を營んで居れば此頃不漁に一層の危惧の念を抱むるに至り縣の水產試驗場や測候所で由々敷事件として俄に原因の研究に著手するに至つた彥根測候所長は『十分に研究せぬと早計な發表は出來ぬが湖底に接觸する魚族の斃死するものゝ多いのはあるひは今回の地震で高島郡沖合の何處かに龜裂が出來てそこから毒素を含んだ鑛泉を噴出するに至つたのではないか』と語つてゐると

全南の竹

全鮮に於ける竹の產地であり且副業として竹細工品の製產地である全羅南道の潭陽郡にては此の副業獎勵の爲め同郡府內に潭陽產業組合を施設して製作品の品質向上、產額の增進を圖つて居る、同組合は去る十月京城に開催した朝鮮副業品共進會に精巧なる製品を出して名譽賞を受領した、この名譽ある同組合は大正九年三月組織されたものである、古來同郡地方一帶は竹材の造成に好適地である處から隨つて各種の竹細工品が產出しつゝありしも或時代は此の種の職業者を卑漢と稱して尠からぬ蔑視し又は他地方よりの失業者が轉じ來つて從事した關係上概ね無資無產者にして經濟的觀念の乏しいのを付込んで仲買商人や高利貸の喰物となつて自然衰退の傾向であつた、爰に於て當局にあつても將來有望なる副業の衰微を憂ひ產業開發、農村振興の趣旨に基き種々講究の結果當業者と相圖り共同利益の增進策として組合を組織するになつた、其當初は眞摯な產業組合と稱し僅かに竹籠製造業者のみを以て組織したが其後各種の精巧な竹細工品の發展に伴ひ更に同業者を加入せしめ事業の改善を計り組合事業の範圍擴張實施して今日の如き堅實有望なる副業となつた當組合創設以來漸次組合員の諒解すると共に製產の獎勵、製品の檢查及評價並に加工器具の改良等の施設を爲し販賣組織の改善、原料購買倂せて低利資金の融通等凡ゆる方策を講じた結果爾來三星霜の今日全く奸商及高利貸等の惡手段を排除し組合員の收益を增し遊惰の惡風を脫却して勤勉力行の良風を作興するに至つた、斯の如く順調なる進展に隨み利益增進上當局は組合の仲介の下に殖產銀行より壹萬圓の低利資金の借入を爲し一口五十圓限度として組合員に貸與し原料購入、負債償還に充てしめ、製品は組合の檢查及評價を經て賣場の出入商人に賣渡し組合自ら七掛程度の前金を貸與し組合直接に販賣して其產額は更に交附するが如き共同販賣の良策を執る、原料の如きも販賣購買共に組合共同案を以て爲し廉價等の供給に努むるを以て組合員は益々精勵して製品は自然向上し精巧、美觀、堅固にして汎く賞讃を得て居る、今や組合員は千百名に達し其產額約廿萬圓を算するの盛況を呈し販路の如きは朝鮮全土は勿論遠く滿洲及內地（殊に大阪市場）に及びつゝあり而して當組合の團結力の鞏固なるを示す竹細工の種類、精巧竹器、竹櫛、竹簾、扇子、亂籠、書類入、花籠、ステッキ等竹細工の數百種である、

內地警官へ鮮語教育
大阪府下實施

大阪府では近來著しく鮮人の增加しつゝあるに鑑み鮮人教化の爲め今回警察官十二名に對して鮮語教育をなし之に依り在住鮮人と內地人との融和を計るべく目下準備中であると（大阪電報）

少女電車で負傷

二十七日午後三時過ぎ本町發孔德里行き電車二四號が死顏洞一一二番地先を進行中死顏洞一八番地柳邊順(?)が突然橫合より飛び出て電車に衝突し前額部に治療一週間を要する擦過傷を負ふた

煙草を窃取

當時住所不定の鄭漢龍(二〇)は二十七日午後四時頃南大門驛で太平通り二の五番地朝鮮運輸會社京城出張所人夫某が京城專賣局へ煙草を運搬する際煙草を數束窃取逃走する處を人夫に發見逮捕され本町署へ突き出された

傷害犯人御用

京城府三坂通り十八番地朴公鎭は去る九月八日仁川外里飲食店休業方に於て府內外里二二五番韓龍周(三三)と會飲の末金錢上のことから口論となり果ては大立廻りの末朴は韓の顏面に裂傷を負はせたまゝ逃走して行方を晦ましてゐたが去る廿二日午後五時府內外里派出所前を通行中同派出所巡查に取押へられ目下取調べ中（仁川）

飛んだ火事騒ぎ

二十七日午前九時三十分頃仁川萬國島に火災起れる旨急報したものあるより仁川署では時を移さず消防手と共に係官現場に出張したが火災と見えたのは支那人某が附近の落葉枯草を燒却中のものを發見者が誤報したものと判明した（仁川）

廣告

京日案內
五號活字十五字詰一行一回金五十錢

公債 債券特別高價に買受申候。御通知次第參上 京城黃金町三丁目 佐野喜平次 電話本局六七六番

金融 諸證券 其他書夜共親切叮嚀極めて迅速取扱 京城本町(中央館前) 電話本局一六六七 山上

ほねつぎ 一切の治療御依頼に應ず 京城明治町貳丁目三越裏

古本 高價買入 御報次第即刻參上 是非御試驗を乞ふ 京城本町二丁目 群書堂 電話本三一九五番

買入 商品券寶石詳細は電話本局一二三六番へ御一報次第參上仕候 地方御 京城旭町一ノ二 書籍商店

古本 誠實買入 御報次第參上仕候 本店京城本町二 支店公平洞六五 文光堂書店

譲 京城に…

貸家 元町…

貸電話 御希望の方は左記へ

女中 入用 御希望の方は

たんせきぜんそく

苦しいたんせき
痼疾のぜんそく
はやり風、肺病せき
子供の百日せき
悉く卓効あり

ふと引いた風心地がやがてたんせきぜんそくになることも決して油斷がなりません。つひに肺炎、肋膜炎、肺結核等の餘病に變じて一生不治の病氣の原因をつくります。されば慢性は勿論、少してもたんせきぜんそくの心地ある時は直ちに痰咳、喘息、呼吸器病一切の專門藥龍角散を服用して病根を名殘なくお除きなさるが一番安全の道です。

登錄商標

龍角散

特長
龍角散の主効分は祛痰藥(たんなり)鎭咳藥(せきどめ)興奮藥(きつけ)解熱藥(ねつさまし)健胃藥(いぐすり)など最も貴重なる藥劑より成る故に少量にて奏效著しく食物又は他の藥劑に對して一切差支へ無く尙龍角散は香味爽やかにて服みよく服む度びに精神ハッキリとなる。

龍角散を必ず試むべき人
◉たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
◉ぜんそくにてゼイゼイ息切する人
◉せき頻りに出で夜中眠り兼る人
◉流行感冒より起るたんせきの人
◉肺病にて常に力なきせき出づる人
◉たん臭氣を帶び時々血の交る人
◉音聲のかれ又咽喉のいたむ人
◉百日せき又はしかせきの小兒
◉老人の虛勞症より出づるせき

其他呼吸器疾患のたんせきは如何なる急性慢性も凡そ一二週間續いて服用は其効力速かに顯はる

定價	
二日分	二十錢
三日半分	三十錢
一週間分	五十錢
二週間分	九十錢
五週間分	二圓
八週間分	三圓

本舖 東京市神田區豐島町
(大阪出張所) 大阪市西區京町堀通二丁目
藤井得三郞
振替大阪全貳壹壹番

取次全國各藥店にあり
直接本舖へ御注文は振替及び郵券又は爲替にて當分大阪へ御申込みを乞ふ

災後の戀（二）

上司小劍
挿畫　伊東深水筆

紅蓮（三）

それで、形式の結婚は當分猶豫として、二人の男女は、時折の戀を樂んでゐた。それには花枝の母親が進んで默認し、光多の母親はどこまでも反對だが、しかし若い者が離れてすることを、年寄りが一々後から喫いて步いて監督しても出來ないので、先づ諦めたといふ風で、矢張默認同樣であつた。

『阿母さん、今年の夏は、日光へ行つて來たいと思ひます。山の上の中禪寺ですよ。あすこは涼しくて夏知らずです。暑い日で七十度ぐらゐですからね。阿母さんもおいでになりませんか』と、光多が母親をも誘ひかけるやうに言つたのは、この七月の初め頃であつた。

『いえ、わたしは自宅がいゝんです。夏は暑いものとしてあるから暑くても自宅がいゝ。それに留守番もありませんからね。あなた一人で行つてらつしやいよ』と、母親は思ひなしか、一人といふ言葉に特別力を入れて言つたやうであつた。もう七十といふのに、腰もさう曲つてゐないで、少し肥り過ぎたといふのが、年寄りの健康にはどうかと思はれるが、とこと言つてわるいところはなく、女中も置かないで、母一人子一人の炊事を無邪氣にやつてゐるのである。

『さうですか、それぢや、僕一人で行つて來ます。八月になつたらすぐね。阿母さん一人で淋しいでせうけど』

『いえね、わたしはもう馴れてますから、何ともありません。お父さんの居らつしやる時は、廣いお邸に住んで、女中も四五人使ひましたが。……』と、母親は色白の顏にかけた大きな眼鏡を曇らせながら言つた。もう夏ではあるけれど、日々の水仕業に荒れて、其皺だらけの手は汚かつた。

『まだ阿母さんのおキマリ文句が始まりましたね』と、光多は、話の末に必ず出る母親の愚痴を笑ひながら『女中を置いたらいゝぢやありませんか、阿母さん。それくらゐのことは僕がしますよ。僕も此頃は時報の收税が入りますから、いつまでも阿母さんに小づかひを絞りやしませんよ』と言ひ足した。

『いゝえね、わたしはいつまでもかうやつて一人でやつてゐたいよ。お前に嫁の來るまではね』と、母親は眼をしよぼしよぼさした。

こんな話から、光多はこの夏を日光の山の上に送ることになつたのであるが、もちろん一人といふのは嘘で、花枝も一緒であつた。しかし、花枝は家の都合上、さう長くは滯在が出來ないので、行く時に送りがてら一緒に三四日泊つて、歸りにまた迎へがてら一緒に三四日泊るといふことに話を決めた。『早く子供でも出來たら。……』と、花枝の母親は可愛い娘の爲めに、この戀愛を喜んでゐた。

八月の初め頃、二人で上野の停車場を立つた時は、ずゐぶん暑かつた。花枝は母親の好みで、細かい飛白の明石縮を着せられてゐた。帶もそれに準じた單帶で、どう見ても中流家庭の世話女房としか見えぬ裝ひであつた。頭髮は普通の束髮だが、母親は頻りに丸髷を勸めたけれど、花枝は近所の手前羞かしいと言つて、何事も母親任せのおとなしい娘だが、これぱかりは肯ふことを肯かなかつた。

其の夜は日光の山の下で泊つて、翌日山を登つた。二臺の俥を四人がゝりで車夫が押し上げるのも、初めての花枝には珍しかつた。弘法大師の風穴だとか、女人堂だとか、いろいろの名所を車夫が休息がてら車を停めての說明に聽いて、名高い惡戲の瀧を見下ろす茶店へ着いたのは。もう夕方であつた。

短歌

尾上柴舟選

課題『人』……（二）…

素木　靜郎（洞山）
病院の窓に居よりて黄昏の空の煙に見入りたる人

◇山崎　かよ（鏡城）
この夕風にふるへて街路樹はやせながら立ち人に泣きよる

◇土山眞砂夫（京城）
支那床のかの翻隅の青磁の壺美人草のくれなゐの花

◇岩田鈴阿草（長城）
こゝに來てなやましきこと吾が一人味はふ如き心地する朝

◇岡本　草花（平壤）
などてかく醜きかる人賤しかる人のみ多く生くるこの世ぞ

◇小方　桐生（京城）
小夜更けを友と別れし二三人默々として歸り路る

俳句

內藤鳴雪選

題『月』——（上）

○龍山　翠波
月更けて吾れ一人あり芋畑

○仁川　秋穀
月の橡に語るともなく話りけり

○昌城　金學實
石垣に虫の聲高し秋の月

○寧邊　車相實
腰掛けて語る人あり秋の月

○寧邊　深元彬
あちこちに小鶏群れたり秋の月

○西馬津　横江
月射して軒下り來る蜘蛛太き

○金二浦　藥舟
峠越す人も仰ぐや今日の月

○京城　吉二
母の乳を離れぬ子等や秋の月

○永興　栄月
月見つゝ行く途下駄の光かな

○長城　鈴蘭草
出る月に對して我は大根引く

○京城　春曙
月出たと岸を離るゝ小舟かな

○京城　優女
谷川に群るゝ小魚や月砕く

○開城　風竹
懷かしき故郷の空や草の月

○京城　王峰
月見れば怨は深し隅田川

○瀞踏　海鼠
草屋根に雨過ぎし跡や朝の月

○京城　清
明月や鯡啼き過ぐ群千鳥

赤灯句會　金二浦竹雨居

温突や溫まり鳴る置時計　赤光
温突や床敷くまでの長話
温突に友呼び入る日曜の子　銀月
温突や明方近き軒の雨
温突の稍ひえそめし火口哉　竹雨
アンペラや温突狹いて市幣麥屋
温突や敷布押しやり机かな　蕉村
小さき窓に溫突の人よびに鳧

枯野句會＝京城、宏堂居

梛凍て音や牡蠣を賣る　有年
窓鴉陽に浮べる塵や多座敷　紫牛
舟底へ當る日溫し牡蠣割る　紫光
無果花や塀際につく渡し舟　實柿
大鐘の鑄の青さや多ざるる
銀瓶に枯れゐし菊や多座敷　裸骨
牡蠣船を出て頬照る吹かれゐる
晩秋や櫨を拾へる厨口　崎幅
編み行く毛糸の束や多座敷
多座敷兒の胸を燒く肌著
さし汐や牡蠣船の灯影揺れ止まず　吸紅
若桐の頂きの一葉霜けぶる
隣りまで來て人聞けり多の宵　友古
牡蠣割る女赤顏に座りゐる　蝸醒
地濁に殘す葉一つ落葉掃く　楠畝
芋燒くや太腕動く湯氣の中
死を抱きて弟眠る多座敷　古楠
牡蠣船の灯失せて後に起る風
行燈に銅貨ならして燒芋屋
襖手荒く閉ぢて去る人多座敷
釘かけし著物が落ちぬ夜半の多
まだ來ぬ蒲團に猫背のびしぬ
深々と陽筋浸み入る多座敷　宏堂

木馬吟社（仁川：翡白報）

山茶花や書院に冊る大廊下　翡白
風の夜や鼻詰らせて玉子酒　絹村
竹の根のひたる渚や石叩き
人通り既になき夜や玉子酒　活々
冴ゆる夜や餌に絡む枯れ瓢
水さすや鉢に流れて冬牡丹　文麓
山茶花や寺庭ぬくき秋瓦
電燈に冴ゆる鼓や能舞たい
硝子戸の陽の緣溫し冬牡丹　晨夫
我が影の野道に寒し鉦冴ゆ
山茶花や雨降る垣を潜る鳥
多霧の晴れて煙りの苫屋哉　想仙

文鶴吟社川柳（仁川）

席題『利子』

二點
高利貸勝手に腰をかけ　春郎
遊べる氣な賑居利子で喰ひ　正榮子
捨てられた質札惜しい利子を繰ぎ　同

三點
飲んだ朝牛傷丈の利子が付き　虎之助
友情を呪つて利のつく金を借り　風來坊
日清展慾から割つた下駄が減り　紅短冊
利子の無い金が利子より高くつき　春郎
女房を利子の先手の使者に立て　風來坊

四點
面白い禿頭高利貸にされ　精柳子
ナフタリン細くなる頃利子が切れ　正榮子

五點
淺賀の未練に無利で利子を入れ　精柳子

新刊紹介

朝鮮史講座（第三號）朝鮮の上世、中世、近世、最近世史に分ちたる一般史講義より分類史講義もあり尚は特別講義として民族史財政史等の分類鮮史社會事情、朝鮮金石文等に就き各講師の詳細なる研究の結晶が載せてある（一圓京城長谷川町七六朝鮮史學會）

▲ドモ又の死（有島武郎氏著作集第十六輯）本書收むる處ドモ又の死の外御柱、酸模、奇蹟の咀、獨斷者の會話の四篇で何れも著者會心の作ばかりである（一圓廿錢東京牛込區神樂町二の一叢文閣）

▲港灣（十一月帝都復興號）會長水野錬太郎の建議書後藤內相の港灣協會に寄するを始め講演、論說に渉り何れも帝都復興に關する緊要の記事が載せてある（五十錢東京丸の內日本郵船ビルデイング內港灣協會）

▲社友（十一月節約實行と生活改善號）衣食住を簡素にせよ（安藤又三郎）大震災の跡を見て（黑澤明九郎）其外節約實行と生活改善に關する有益な記事並に家庭日常に須要な色々の記事がある（十五錢京城府龍山鐵道構內社友會）

▲官用簿記詳解（和田昌夫氏述）本書は久しき以前より刊行されてあつたものであるが大正十年に會計法を同十一年に會計規則及び關係法規の改正があつたので內容を更改し改正版として今回發刊されたもので本書所載の問題は既往二十有餘年間に於ける實際の試驗問題を蒐輯したものであるから單に受驗者ばかりでなく現に會計の職務に從事する諸士に在つては有益な參考資料であると信ずる（一圓大阪東區鰻後町六〇大阪共立簿記學校）

▲素砂谷口氏に答ふ頭の虱驅除には『モールス液』を使用せば可なりモールス液は除蟲菊粉（ノミ取粉にてよし）二十匁にアンモニヤ水十七匁アルコール四十匁を加へよく攪拌して鹼をなし一晝夜放置し熱湯二升を入れ又よく攪拌して二晝夜放置し布の袋にて搾るときは黒き液を得これを原液として貯藏す使用するときは五倍に薄めて用ふ、よくきくものなり右の割合にて多くも少くもつくられたし、猶犬の『ノミ』『シラミ』『ダニ』等にも五倍液盆栽の蚜蟲には二十倍液を用ふる蔬の殺蟲等にも効果特に著しい（鮮銀內アルファ生）

▲早稻田出身の富田朝雄君下記へ御住所を御知らせ下さい僕は松葉の和田學部の隣室に居た茶目坊です（櫻井町一ノ一九仁城方伊藤）▲マンドリン鈴木四號譲る（KA生）▲京城本町蔵松堂の朝鮮受驗學會は今存在してゐますか先月送金したが更に送本がありません（江原の讀者）▲衣類の襯物を利用するに色合が別々で困つてます家庭で輕安に始末出來る方法を伺ひます（並木町四七よし田）▲京中は昨年度年の鍛問題で校名を傷づけ今回再び卑劣な行爲で京城のスポーツ界を侮辱した諸君以て如何となす（義憤生）▲京城又は鮮內に和文タイプライター講習所なきや（安東鳴戸生）▲私は兩手に『イボ』が澤山出來て段々ふえて來て困つて居りますが御紙の物理療法で癒りますか何回位を要しますか又顏の『ほくろ』は除去出來ますか（藤田女）△多發生の『イボ』はX光線の照射一二回で癒りますしほくろは一二回の冷灼で除去出來ます（係）

演藝案內

喜樂館　本町一丁目　電話九九七番　晝夜　當る十一月廿七日より特別大公開
ニコ〳〵劇『ロイドの無作法者』長尺　快漢ハロルド・ロイド君主演
●尾上松之助大活劇俠客劇　新派悲劇『片腕喜藏』全五卷　腕は一本刀は二本！度胸で扱いて度胸で斬る昔は野出が苗字が今では變る町奴此腕一本千兩だ！！
●ルス・ローランド孃大活躍　連續活劇『ホワイト・イーグル』　第四回目第七、八篇戰慄と恐怖に埋る今週を見よ
向島超努級特作　山本、葛木、五味、小栗武雄大共演　下町情話『紋清殺し』全六卷　櫻咲く花の都で娘義太夫竹本紋清の艷な姿を中心として悲しき戀に迫らるゝ戀と死と生と生と！愛も熱情も死に面しては徒らに懊惱と焦燥に悶る本篇を多情多恨の世の子女へ捧げます

大正館　松竹特約　毎日晝夜
▲特別番外▼　大喜活劇　ローリン映畫『ロイドの水兵』全四卷　世界一の大快漢ロイド君の大茶目で腹の底から笑つて下さい。笑ふことには税金無用料金特に値上せず
●イタラ會社映畫　ニコ〳〵チヤプリンの追憶全壹卷
當る廿七日より名畫大公開　血の叫び以來　大好評のため連日連夜大入　報恩週間
●松竹キネマ　エレナマコワスカ孃　人情劇『感激は何處』全六卷　▲解說　桂旭天
現代映畫『虚榮』全四卷　▲岡本五郎　▲三村千代子共演　▲解說
▲時代映畫　最近大阪朝日座上演　新聞日記　全三卷　▲川田芳子出演　▲解說　西村樂洋
フォックス會社映畫　▲ホバート・ボスウォース演　大活劇『血に燃る沙漠』全六卷　▲解說
高宮敬一郎　報恩週間に於ける提供映畫の內容として實に當を得たる一般的名畫たる事を失はない老若男女あらゆる階級の愛活諸士にどれ丈の滿悅と感謝の念を與へるかは此の好番組だけに止まらないそれは本週間の大入大入場者に漏れなく『蒲田化粧水』（松竹蒲田撮影所入氣俳優川田諸口栗島等の推賞されたる特好品）一瓶づゝを贈呈することである當事者の一大英斷は忽ち一般の同情と人氣を博するに充分であろう論より證據比の一般的な好映畫の御鑑賞と同時に誠意ある當事者の寄志を御受け下さい

黄金館　松竹キネマ直營　毎日晝夜　當る二十七日晝間より
●實寫　事態長門　全一卷
ジョージ・ゲー・スプアー作品　テーラー・ホルムス主演　喜劇　全二卷
原名（レッドガップのラッゲルス）エメルカ會社製作　人情劇『活躍の天地』全七卷
連續大活劇　スターシリアル映畫　三百馬力の結婚　全二卷
エディ・ポロー氏大猛演　輕快なポロー特有の活躍が火華を散らす『英雄キッド』第三回　全四卷
松竹キネマ作品　現代映畫『親娘の旅路』全五卷　父……岩田祐吉氏　娘……栗島すみ子孃　林千歳　加茂スター岩田氏が過ぎし彼れが顏面の繃帶は？其數の謎は解けたり彼れが犧牲に供したる數枚を藝術のためになり此の因果と成せし純白の雪を頂心に起る哀れな大自然富士の裾野に主任　新映畫　渡邊春波、客員、白藤愛光　解說　金館へ！

中央館　マキノ映畫　毎日晝夜　當る廿七日より特選映畫封切
○實寫　○エディ・ポロー氏猛演　連續冒險『大魔王』四卷　前回は尺數の都合上二卷上映致しましたが愈々今週最終四卷提供します
○マキノキネマ株式會社特作　○市川幡谷　片岡松太郎　三好　活劇『清海入道』全五卷　穴山小助の妹お園と戀人要三郎の二人を誤つた見解から遂に死に至らしめた三好は坊主となつて彼等に詫び大阪の探案を命じられ猿飛の助力を得て奇行百出の大痛快劇　全編肉は踊る
○マキノキネマ現代時作大映畫　○島田嘉七、森靜子、本間直司共演　悲劇『蕾のまゝ』全六卷　葛の家の舞妓千代藥と京の助の美しい戀はいつしか芽生へた運命の神に弄ばるゝ二人の淚多い半生讀憂き事のみ續くのであつた夢はのに流れてゐる鴨の水面に二人の淚は一つとなりどこ迄流れて行くのやら

浪花館　明治町　電話二六〇　當二十四日午後六時より
講談界の名人　小金井蘆洲一行來
▲高浪入郎　小金井洲山　▲寛永三馬術　神田白州　▲紀文大盡　原龍馬　▲江戸情話切られ與三郎　東福
俠客清水次郎長……安政奇聞三ツ組盃……一代の職人山內著長……成功美談藤平子爵……原少佐軍法會議……大震災餘話
長三席讀　三代　小金井蘆洲

通信教授　各種音樂講義錄　規則書進呈す
賜天覽台覽　專賣特許　秋月作尺八　尺八琴講義錄　復音大正琴
通信教授　バイオリン尺八　琴マンドリン　三味線　以上各別
何人もスグ上達する新發明講義錄　くわしき規則書進呈す（郵物法進）
發行所　福岡市中島町七一　大日本家庭音樂會　電話一五四四、二七一九

◇萬病治療の◇　▲新職業!!!　電氣治療法教授
僅か二ケ月間で自宅獨習出來無試驗開業の上は醫師鍼灸家同樣收益多大目下成功者續出叶後益々有望他の類似の物と混ひなし男女何人にも教授す希望者はハガキで申込め規定書進呈す東京牛込區……寺町
事務所は大震火災に無事　東京電氣療法研究所　御見舞を謝

色白くなる
色黒き方赤き方ニキビソバカス日にやけた御方は三錢切手封入御申下さい色白く美しくなる良藥を秘密に御知らせ致します
東京本郷湯島六丁目　久保とも子
▼震災による類燒御見舞を謝す

內科、小兒科　仁川仲町　高木醫院　電話七一九番

鼻耳內服藥　チクノール　蓄膿症……肥厚性鼻炎
等難病を短時日の內服で治し腦神經衰弱に卓効あり
昇
十日分三圓五十錢、廿日分六圓九十錢送料四十五錢新聞名記入申込者に「鼻耳の衛生」書、服用者實驗狀集」無代進呈
製造發賣元　三鱗製藥社　東京西巣鴨宮仲二六六八　振替東京四一二六番
朝鮮代理店　山岸天佑堂　京城本町一丁目　振替京城二〇三番
類似品續出チクノールの名稱御注意

▲李王職御用　模範全乳　▲鐵道病院御用
東亞牧場　場主獸醫肥塚正太　（電話二五番）

▶桃谷化粧品研究所創製◀
美顏ユーマー
◀力ある美容化粧液▶
綺麗な顏
然うです！婦人でも男子でもユーマーを常用する方は本當に綺麗です！皮膚の滋養分また日焼や荒れや小皺の防ぎに之程よいものは無いのですから

肺病には
新鮮なる空氣と此の藥が必要

一　肺病と云ふものは持久戰です。一擧に病原を拔かうとする焦慮、所謂短兵急の戰法は必ず失敗に終ります。
二　肺病患者に特に必要なるは不潔なる空氣を出來る丈け避け、務めて安靜を保ち、滋養食物を執り、煩悶を避け、而して服藥としてホシアンチツベルケンを用ひ給ふべし。
三　之れ以上の肺患治療法はないのであります。
四　潤澤なる資財を擁する富者は高名なる國手の來診を乞ひ或は轉地に或は入院に萬金を惜しまないかも知れませんが、一般人士には殆んど不可能の事であります。
五　ホシアンチツベルケンは東洋第一の我星製藥が最も深き自信の下に賣出せる有名なる肺病藥にして其の効果の如何に顯著なるかは一度び服用し方から聞いて頂きたいのであります。

定價	
一圓五十錢	三圓
五圓五十錢	

ホシアンチツベルケン
資本金二千萬圓　星製藥株式會社　東京大崎

株式會社　山口銀行京城支店
京城府黄金町二丁目　電話本局八五八・八六
資本金五千萬圓　本店大阪市

優等清酒

ワカマツ
一升瓶詰　一分
朝鮮大邱府東門町　若松商會酒造場
電話長二二　振替京城一〇三七番

舶來　人形印ミルク
鷲印ミルク
ネッスルミルク

京城日報

(縮タ刊付せて十錢)

本紙一ヶ月 一圓二十錢 六ヶ月 同 前金 郵券代用一割增
廣告料 五號活字 一行 二圓 特別 ... 四號 ...
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話光長局 振替京城三〇〇番
印刷人 小川三之介
發行兼編輯人 泥谷良次郎

臨時議會は安心できぬ
高橋總裁の贊成は個人的である

【東京電報】復興審議會は結局別項の如き修正案に落着いたが右案には高橋總裁も贊成したのであるから政友會も亦從つて之に贊成する事となり臨時議會は如何なく右修正案を認める事になるか如何かは重要な點である、が二十六日右審議會の經過の報告された時伊東委員長から意見は區々であつたが要するに一致され得べきものだけを纏めて更正案を作つたのである從つて之以外に各自夫々意見を持つてゐるのであるから之の成案が出來て之れに贊成したからとて必ずしも向後の意見を束縛するものでないとの付け加へをした、それから見ると高橋總裁の贊成した事は始めから同總裁の聲明してゐる樣に個人の贊成であり政友會とは全然無關係のものと解すべきであるから審議の決議如何に拘らず臨時議會の形勢は未だ安心すべきものではあるまい

結局解散するか
政友會某幹部臨時議會前途觀

【東京電報】二十六日の復興審議會特別委員會では遊擇子の斡旋で一種の緩和策が講ぜらるゝ模樣であるが政府案の根本的に直しを希望する意味では委員の意見は一致したと云つてよい政府側は其後りをつけ高橋、江木の強硬論者に裏面に離れて伊東伯大石氏等に渉りする緩和手段に出てゐる併し高橋等の意見が斯かる緩和策に御せられて容易に變ずるものとも思はれない結局は各委員の意見を其儘に總會に報告することゝなるべく而して總會に於て閣員側が今更特別委員の多數意見を容れて復興案の樹て直しをするまで讓歩するものとも思はれない故に總會では閣外委員の有力なる希望を一種の覺書のものとして最後の鼻をつけると見るより外ない其結果は當然臨時議會に持越されるのであるが玆に至れば最早政友會との衝突は到底免れまい斯く剛し來ると臨時議會は結局政府は解散の途に出るの外はあるまいと思はれる

新黨組織協議

【東京電報】憲政會では二十六日本部に總務會を開き新黨組織問題につき協議の結果小山幹事長をして庚申派三代議士に左の挨拶を爲す事に決定した

過日三君より御提議の院下岡總務より申上げた通り憲政會は御承知の如き政黨でありまして夫々各機關を經べきは勿論全國多數の黨員を有し其の黨員の意嚮等も慎重に考慮すべき必要あり目下御詮議中でありますが日を期して御挨拶申上げる事は出來兼ねますから左樣御承知を願ます

復舊折衷案要項
二十六日の小委員會で決定

【東京電報】帝都復興審議會小委員會は廿六日午後一時より開會伊東委員長開會を宣し審議に入らんとするや閣內委員は閣外委員に其意見を纏める爲め相談會を開き度しとの希望あり一同之に贊成し閣內員は閣外員に其意見を求める事を委任し一旦退席閣外員にて其意見の纏まるを俟ちて午後三時閣內委員一同復席伊東委員長より決議事項を報告更に審議の結果閣內委員も大體に於て之を承認二十七日の臨時閣議にて決定することゝし午後五時散會

決議事項

一、幹線に就ては東京の線は品川町三の輪町に至り又九段坂下より龜戶町に至る二幹線道路幅員に帝都の修飾を加へ之を承認する外爾餘の路線及幅員の部に於ては財政上より再び道路を適當の縮減を爲さしむること

二、東京の上下水道及び地下埋設物は一時國費を以て急速に復舊を許しむること

三、公園の配置は東京擴張の分とも大體贊成を表す

四、市場の配置に就ては東京擴張の分とも大體贊成を表す

五、市街地宅地整理は兩市共自治體に一任

六、防火設備は必要なる參酌を加へ大體贊成

七、東京の築港京濱間の運河開設は復興事業より切り離し政府の措置に一任

八、市內運河は大體贊成

九、帝都復興計畫事業年度財政方針は完成期限を五ヶ年と改め其の他大體贊成

一〇、帝都復興法の制定に就き曾て本會の諮問を經ずして制定せられ然かも現行の都市計畫法市政等の諸法律と牴觸せるものも認められたるが復興院官制と關連するものなるが故に本會としては之に反對する意見を留保す

希望條件

一、上下水道は國家に於て一時其の經費を負擔して急速に之れを行ふ事

二、復興審議に付いては尙相當研究考慮されたき事

三、火災保險事業に付ては將來之れを官營とするや又は官民共營とするかに付き政府に於て深く考慮を爲すべき事之の案は主として伊東委員長により作られたもので之には閣內の委員も亦同意を表し更に角筆を付けたのであると云ふ尙第四項希望條件の內に商工業融通資金に付き政府は相當の考慮と之に對する方法を講ずる樣にと附けたした

緩和された
閣外委員態度

【東京電報】二十五日の帝都復興審議會特別委員會で餘程閣外委員と政府との關係が緩和されたので

多額の人件費
議會の問題となるべき復興院

【東京電報】帝都復興問題を此際の臨時議會が如何に取扱ふかと云ふ問題に興味深い問題である帝都復興と云ふ根本問題に對しては何人も異議なきところで之に對し反對を唱ふる議員や政黨のある可き筈はないが復興事務取扱に就いては多少異議、院を通じて喧しい議論がある樣だが帝都復興院を特設した最初の趣旨は復興及び復興事務を統一しようと云ふにある後藤子爵の意見は之を一省として復興大臣の下に總ての復興を統一する計畫であつた然るに之に對し鐵道省遞信省が頭つ先きに反對を唱へ專門の技術を必要とする鐵道及電信電話等の復興を遞るに急ごしらへの復興者の手で出來るものかと一蹴されて仕舞つた結果現在の如く僅に都市計畫と地域地區丈けの問題即ち都市計畫法の特別法に過ぎぬ臨時議會の協贊を受ける帝都復興法と物資供給令を施行するに過ぎない小さき特別官廳となつた然るに復興院の完成は斯かる局部的仕事をする官廳としては甞て見ざる大掛りのもので親任總裁の下で二十名の勅任職員百數十名の奏任官を置く事とし其人件費の如きも一ヶ年六十萬圓の多額に達するものである斯かる多額の人件費は果して帝都復興に必要缺く可からざるものであるか何人も疑問とするところで議會の論議もこの點に集中されるものと見られ此の多額の人件費が無事議會を通過するものとは到底豫想されぬ次第である

後藤總裁
遂に辭表撤回

【東京電報】二十六日の帝都復興審議會特別委員會で政府案が殆ど修正されたのを憤慨し後藤復興院總裁は辭表を提出したが山本首相に宥められて思ひ止まつたと云ふ內相伊東、江木、高橋の三氏は政府案に反對し居るも加藤、青木、遊擇の三子は修正意見を以て政府に妥協的に進まんとしてゐる

復興院は
廢止するが當然

【東京電報】復興院特別委員會で復興案が修正された結果復興院事業の縮少に伴ひ復興院の廢止若くは縮少は當然であらうとの觀測を下す者がある

調停のため運動
其日の樺山翰長

【東京電報】樺山書記官長は二十六日は定例閣議日なるにも拘らず首相官邸には出頭せず早朝より江木、加藤、伊東の諸氏をそれぞれ私邸に訪問して帝都復興審議會の善後策について種々調停策を講ずるところがあつた

閣議 (廿六日)

【東京電報】二十六日の定例閣議は午前九時半より首相官邸に開會後藤內相より二十五日の審議會特別委員會の經過を報告したる後午後一時より開會の復興特別委員會に對する政府の對策に就て種々協議を凝し大體の態度を決定して散會したが決定した人事左の如くである

特命全權公使 川上俊彥
波蘭駐箚

【東京電報】二十六日の閣議で左の通り決定した

內閣書記官 別府總太郎
兼任法制局參事官(二等)

東京高等學校長吉武榮之進氏は高等官一等に敘せられ休職岡縣知事同和田沖繩縣知事は依願免官となつた

帝大移轉中止

【東京電報】東京帝國大學は豫てより郊外に移轉すべしとの說が盛に唱へられてゐたが之は中止する事に決定した

辭令 (東京電報)

朝鮮總督府事務官 安藤正章
依願免本官 (二十六日附)

朝鮮帝大委員會は
愈よ二十七日開催された

朝鮮帝國大學創設委員會規程は二十七日附訓令を以て發布されたがそれと同時に左記辭令の如く各委員の任命を見るに至り二十七日は午前十時より直に本府第一會議室に於て委員會を開催したが劈頭總督より左の如き演示がありそれより一同諸般の協議に移つた

辭令 (二十七日付)

總督府學務局長 長野幹
同 財務局長 和田一郎
同 參事官 矢鍋永三郎
同 警務局長 丸山鶴吉
同 土木部長 原靜雄
同 事務官 小田省吾
同 技師 岩井長三郎
同 事務官 林繁藏
總督秘書官 松村松盛
同 中村寅之助
朝鮮帝國大學創設委員會委員を命ず(各通)

東京帝國大學教授 服部宇之吉
總督府醫院長 志賀潔
京城法學專門學校長 吾孫子勝
朝鮮帝國大學創設委員會委員を囑託す(各通)

總督府事務官 萩原彥三
同 視學官 高橋亨
朝鮮帝國大學創設委員會幹事を命ず(各通)

總督訓示

教育の振興を圖り文化の進展を策することは朝鮮の開發並に地方民人の福利を增進する上に於て最も緊要なることを認め夙に教育調査會を開き廣く學識經驗ある人々の意見を聽き朝鮮教育制度を改正し爾來普通教育實業教育は勿論專門教育付ても綏急を考慮し夫れ夫れ準備に關しては萬遺漏なきを期し度を以て玆に各位を煩はして大學創設委員會を組織するに至れる次第なれば各位能く此の趣旨を體し慎重審議を重ね周到なる研究を遂げ朝鮮文化の進展に關し適切なる基礎を置き得る樣折角御盡力あらむことを翼望する次第なり

違法選擧調查
青邱俱樂部活動

過般行はれた京城府協議會選擧に就ては種々違法行爲が行はれたとの噂が專ら傳へられて居る。其因は勿論調査の結果に俟たねばならぬが茍くも將來自治制が布かれんとする朝鮮に於て而も之が試驗時代にある際最も嚴正に行はれねばならぬ府協議員選擧に於て斯かる醜事件が行はれたとすれば朝鮮前途の爲め甚だ寒心に堪へざる處である而も斯かる醜事件を默過するに於いては勢ひ將來に累を貽し自治制施行の機運を促進する上に於いても大なる支障を生ずる事となるのである此の意味に於て總督府出入記者團俱樂部に於ては二十六日臨時總會を開き左の人々を其實行委員に擧げ專ら之が調査及此の對策につき協議打合せを爲し直に同日實行委員會を開催して先づ第一監督官廳たる京畿道知事を訪問する事となつた

實行委員

▲野崎(朝新) ▲久松(同上) ▲佐野(京日々) ▲栗場(朝每) ▲山縣(讀賣) ▲柳島(大朝) ▲濱田(大每) ▲奧田(時事) ▲金(東亞) ▲朴(鮮日) ▲角田(京日) ▲高須賀(同上)

國難に當面して (中)
在鮮三十萬の內地人諸賢に訴ふ

東京にて 熊本利平

更に同じく當時行はれたる支那人謀殺事件に就ては上海の日本人商業會議所は直に本國政府に對し事件の眞相を明かにし、若し誤殺なること判明せば相當の方法(謝罪)を執らんことを要請した。其爲め、激昂せる支那人の感情も幾分緩和されたと聞く。之は、仁勇を標榜し、仁愛と友誼とを以て交はる友邦に對する當然の措置たるばかりでなく、日本人の人格國格の上から見ても當然過ぎるほど當然の態度と心理である。內鮮は、いふまでもなく一家であり、彼我兩民族は兄弟であり姉妹ではないか。或る者はいふ、商業會議所は單に經濟事業の範圍に屬する善後策を論議し之が實行を期すれば足ると。併しながら朝鮮人の心を得ると得ざるとは經濟上にも事業上にも、大影響がある。感情心理の上に何等の融和も親善もないならば、彼我の提攜は望まれぬ。彼我の提攜が望まれぬとすれば、たゞに同昌共榮の望みなきのみならず我れの利益も、勿論增進を企圖することは難い。斯くて、如何に巨萬巨億の資金を投下しても、それは何時破滅すべきかを豫期し難き砂上の樓閣に外ならぬではないか。朝鮮開發の第一義は先づ朝鮮人の心を得るにある。互助相愛、同じく昌んに共に榮えるとにある。補充金と事業公債並に金融の如き、朝鮮においては抑も此れ副條件である。我が全鮮の智能有識の粹を一堂に會したる商業會議所聯合會において、又朝鮮の首都京城において催せられたる市民大會において、一言半句此の重大問題に言及するものなく、たゞ金力と物的の生活にのみ朝鮮の開發を所期し一歩を此の境地以外に踰越することは能はざりしは、我等朝鮮に住する內地人の一員として誠に痛嘆に堪へぬ。

皇室會計規定
特令新設に關する皇室令

【東京電報】關東地方に於ける未曾有の震災に依り經濟界に異常の衝動を與へると共に復興其他必要に基づく諸般の取引行動は從來の法規慣例を其儘に實行し難きを以て今回宮內省に於ては特に皇室令第十九條を發布し當分の內宮內大臣が必要と認むる場合に於て皇室會計令の規定に拘らず特令を設くる事を得る事となつた而して右皇室令に宮內大臣は宮內省令第十七條を以て工事の請負又は販賣に關し震災後に於ける一般取引に順應する爲め種々なる規定を新設せるを以て二十六日の官報を以て公布即日施行する事となつた即ち皇室令の全文は左の如くである

皇室令

朕震災ニ基ツク特別ノ事情ニ依リ皇室會計令中特令ヲ設クルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

攝政名

大正十二年十一月二十四日

宮內大臣副署

一、皇室令第十九條震災に基づく特別の事情に依り必要と認めたる時は宮內大臣は皇室會計令中第二十六條第二十九條第五十條第六十條第六十二條第六十四條第八十六條及第九十三條の規定に拘らず其の定むる所に依り當分の內特令を設くる事を得

附則 本令は公布の日より之を施行す

總督府十三年度豫算は
大した減少ともなるまい

【東京支局特電】和田財務局長は二十二日東京着以來大藏省當局と十三年度豫算に關し交涉中であるが目下に涉る決定は十二月中旬頃となるべく大體の豫算は前年度豫算と大差なく打切りとなりたる事業公債二千萬圓に對しては政府は朝鮮開發の上全然公債に依る事業を打切りの不可なる事情に鑑み特別補充金として一千萬圓交附さるゝこととなり他の歲出中より六百萬圓を捻出し得るを以て結局四百萬圓內外の歲入減となる譯であるが關稅其他の自然增收を見越し朝鮮の豫算は何等影響なきものと見て可なるべしと語つた

朝鮮米豆
十月移出趨勢

十月中に於ける米穀及大豆輸移出數量は米穀輸出四千三百五十六石同移出十五萬三千百九十一石大豆輸出百八石同移出八萬四千二百九石輸移出總額は米穀十五萬七千五百四十七石大豆八萬四千三百十七石にして之れが一月以降の累計は米穀二百七十二萬七千四百五十二石大豆九十三萬五千九百卅七石であるが之を前年同期に比すると大豆に於て九十萬石の減少であるが米穀に於て四十六萬餘石の增加を示した其移出仕向地を見ると(單位石)

	米穀	大豆
大阪	九七、六三九	一七、三四九
神戶	一二、〇一七	一〇、二八八
名古屋	一二、三〇一	二、三九二
橫濱	一、三一一	二、一〇〇
敦賀	—	二、六七九
下關	七、〇〇六	一五、五三三
門司	七、〇〇六	一五、五三三
博多	三、四五〇	七、三九五
其他	二九、四六七	二六、四七三

即ち移出高の約七割は阪神方面に搬出されてゐるが同市場に於ける鮮米及び大豆の聲價は其品質の改良と共に年々昇上を示してゐる

振替貯金取扱高

十月中京城府內各郵便局所に於て取扱ひたる振替貯金は受入口數四千二百六十六口此の金額三百九十八萬二千六十二圓九十六錢にして又拂出口數は四千二百二十四口此の金額四百八十二萬七千九百六十八圓六十三錢五厘であるが之を前年同期に比するときは受入金額八分二厘二毛拂出三分四厘二毛の何れも增加である

公會私會

◇總督邸の晚餐會 齋藤總督は二十七日午後六時半より目下入城中の帝大教授服部宇之吉博士を主賓に朝鮮帝國大學創立委員會委員たる政務總監、長野學務局長、和田財務局長、原土木部長、矢鍋參事官、小田編輯課長、岩井技師、志賀博士、松村、中村兩秘書官、林司計課長、萩原學務課長、高橋視學官を陪賓として官邸に招待晚餐の饗應をした

◇商議評議員會 京城商業會議所にては來る二十九日午後四時より臨時評議員會を開き臨時全鮮商業會議所聯合會東上委員並に全國商業會議所大會出席委員よりの報告を聽取する筈であるが現評議員も愈々後二日を以て任期滿了するので現評議員のお名殘りの評議員會となる譯である

◇朝鮮水產總會 朝鮮水產會では來る十二月八、九、十の三日間京城に於て總會を開催する筈であるが附議事項は十三年度豫算を主として規則中二三項の更改も行はるゝとのことである

◇岡博士歡迎會延期 銀行集會所俱樂部の岡實博士歡迎會は博士來城遲延に付二十九日午後五時よりと一日延期された

人事消息

▲赤井朝鮮軍參謀長 北鮮部隊視察のため西山參謀を隨へ二十八日朝龍山發出張元山羅南會寧を經て十二月十二日歸任の豫定

▲佃一豫氏(元滿鐵理事) 入城中のところ二十七日朝歸東

▲渡邊四十旅團長 南鮮地方視察中の處歸任

▲蒲原久四郎氏(遞信局長) 平壤郵便局分掌監城へ出張を命ぜられた

▲長野直彥氏(本社編輯局長) 東上中のところ二十七日午後六時五十分著列車で歸城

▲田中領事(海龍駐在) 夫人同伴滯城中の處二十七日退城

▲李志新氏(延吉警察署長) 一行六名二十七日入城

ア氏組閣受諾
つたアルベルト博士は新內閣組織を引受けた

【伯林二十五日發電】クノー內閣の藏相であつたアルベルト博士は新內閣組織を引受けた

獨逸前首相外相就任拒絕

【伯林二十六日發電】前首相たりしストレーゼマン氏は新內閣の外相にとの交涉を拒絕した

兩巨頭獅子吼
英自田黨合同祝賀懇親會

【スコットランド、ペースレー二十五日發電】當地に於て自由黨の新合同祝賀懇親會が開かれた其席上に於ける諸演說者は前首相アスキス氏及びロイドジョージ氏が戰時中の內訌以來初めて同一の演壇に依りて提攜せん事を誓ひしアスクイス氏は『其責任と佚つて先頭を指揮し演說等は一切之をロイドジョージ氏に委す』と述べロイドジョージ氏は『現首相ボールドウイン氏は通商の自由を破壞しつゝあり』と斷言し『英國にして之を失はば英國の運命は如何ともなし難し』と云つた

市民對分離派爭鬪

【デュエレン二十六日發電】當市の市民は手榴彈を以て分離派の來襲を擊退したが戰鬪中多數の死傷者を出した

廣東は暫く休戰狀態

【廣東二十五日發電】廣東の戰局は陳軍は軍需缺乏し援軍は財政窮乏して暫くは休戰狀態を續けるであらう財政部長葉恭綽氏は段祺瑞氏、盧永祥氏と連絡の爲め近く奉天及杭州に向け出發の豫定である

張氏は飛行機を買つた

【奉天二十六日發電】張作霖氏は今回佛國某商より飛行機十四臺を買入れる事を契約した該飛行機は既に神戶に到着し近く神戶より奉天に廻送する事になつてゐる佛國商人は奉天に飛行機會社を設立し奉天香港間を飛行する事に張作霖氏の諒解を得たと稱し居るも其實は前記の如く張作霖氏の買ひ入れたものであると云ふ

米駐支公使の雲南行

【北京二十五日發電】米國駐支公使は近く雲南に向つて出發する事に決したが三井對フェデラル無電問題に重大なる關係を有つて居るものと觀られてゐる

日伊海軍提攜力說
歡迎された日本觀察團一行

【羅馬二十四日發電】伊太利外相タウンデレベル大將は目下伊太利觀察中の日本海軍觀察團一行並に駐伊日本大使を招待し二十四日晚餐會を催した宴中大將は一場の歡迎の辭を述べ日本海軍の爲めに乾盃した之に對し日本大使は一行を代表した答辭を述べ日伊兩國海軍は共に同情して提攜せねばならぬと力說した

米國總領事館を東京へ

【華盛頓二十五日發電】國務省の發表に依れば從來橫濱に設置して居た米國總領事館を東京に移し橫濱には副領事を置きて事務を取扱はせる事とした

茶話

和田財務局長は岡田三郎助畫伯の媒介で和光社の新人尾形香明代女史(三)と婚約が出來たソウだ▲全體モット早く華燭の典を擧げる筈であつたが震災の影響を受けて今日にのびたのである▲然し此和田財務局長の慶事は今日が日まで本府は勿論のこと誰も知らなかつた▲知つてゐるものはたゞ和田財務局長一人のみであつたのである▲ところが突然二十六日この美しい花嫁の寫眞と蜜のやうな言葉の有力なる材料が總督府に入つたものだ▲廿七日午後定例局部長會議へ出席の青木專賣局長の眼に入たのだから堪らない▲主査格が有間委員長格で定例局部長會議の席上で報告に及んだそうだ▲議場の決議で祝電を發したかどうかは知らない▲非常に慶かな明年度總督府豫算も先づ大成功和田財務局長には骨折り甲斐のあつた今年は御目出度い歲である

氣象日報 (廿七日)

二十七日朝低氣壓は山東半島及上海附近に發展し高氣壓は本邦の北東部から朝鮮及滿洲に擴張した全鮮一般に曇天で雄岩南には小雨があつた二十八日京城は概ね曇りで小雨雲があるだらう

天氣豫報 (廿七日)

曇 小雨又小雪

廿七日正午 攝氏五一度八 華氏
廿六日最低 攝氏零下 華氏

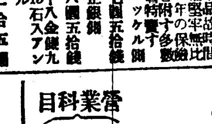
ホント小型腕時計 特價

安イ本品は瑞西國製當時流行の最小10形腕時計にて機械は良品に寶石を鏤めたる完全なる純銀製品故時間正確堅牢無比十ヶ年の保證證書を附す多數の御著用を乞ふ

▲ニッケル側 七圓五拾錢
▲正銀側 特十八金側 九圓五拾錢
正15石入アンクル形 二拾五圓

●前金送料不要引換小包內地三拾錢外五拾錢●郵券代用一割增不向の節は返金す

大阪市南區瓦屋町四番町 時寶商行 電話南七一三六 振替大阪一五四



京城本町一丁目 中村眼鏡店 電話二二七番 振替京城三四六番

綿糸卸商

大阪市東區唐物町三丁目一番地
玉村安之助糸店

營業科目 紡績糸 瓦斯糸 シルケット糸 染糸 漁網糸 ヌイ糸 絹糸 小町糸 レース糸 カタン糸 メーラン ミシン糸

當選御禮

晉州面協議會員
羽田翁三
松浦利三郎
北川戊三郎
光野佐助
杉亨

京城商業會議所評議員候補者
日清生命保險株式會社
朝鮮支社
公認 黃金町二丁目一同
推薦 生命保險同業者一同
各町有權者有志

京城商業會議所評議員候補者
龍山工作株式會社
常務取締役
田川常次郎君
を最適任者と認め推薦致候間御贊同の上御投票被成下度願上候
鳥取縣人會有志
有權者各位

京城商業會議所評議員
公認候補
龍山工作株式會社
右最適任者と認め推薦致候に付御贊助の上御投票被下度願上候
新龍山有權者
新龍山各町有志
京龍鐵工組合
鳥取縣人會
嶋根縣人會有志

京城商業會議所評議員候補者
佐藤半次郎君
を最適任者と認め推薦致候間御贊同の上御投票被成下度願上候
公認
推薦
本町三丁目會
京城金物商組合有志
永樂町一、二丁目有志
若草町有志
三重縣人會
有權者各位

府協議選擧の取消を申請

久住二氏外五名から 時實知事に對して

選擧に執行された府協議員選擧に際し有權者名簿中に死亡者が記載してあつたり缺歸人の氏名が記載してあつたり選擧に就いても種々の疑が立つたので總督府出入記者團では本問題を研究調査することになつたが一方二十五日大和町二丁目久住二氏外五名は連署の上京城府並に京畿道知事に宛左の通り選擧の取消を申請した

京城府協議會員選擧取消申請書

大正十二年十一月二十日執行ノ京城府協議會員選擧ハ選擧規定ニ違反シタル別紙記載ノ無効投票アルニ拘ハラス之レヲ有効投票ニ算入シタルモノニシテ選擧ノ結果ニ異動ヲ生シ候條府制施行規則第二條十六ニ依リ選擧取消相成度此段申請ニ及ヒ候也

大正十二年十一月二十五日京城府大和町一丁目選擧人久住一二外五名

京畿道知事時實秋穗殿

府尹室で鳩首凝議 長時間に亘る

京城府廳では二十七日午前十時甚課長を府尹室に招集し誰人も出入せしめず長時間に亘つて鳩首凝議を重ねた

『唯今調査中』と知事さん逃げる

違法なら無論遣直す が目下の所何も云へぬ

二十七日午後一時半時實知事の意見を聞くべく訪ふと曾我勉氏外三名の人達が知事と會談中である、はあ、例の府協議選擧事件で來てゐるのだなあ、と直感したので遠慮して別室に控へてゐると間もなく歸つて行つた、で早速知事室に飛び込むと知事は『府協議員の選擧取消の申請は出てゐます、意見？左樣、只今も其事で三四名の人達が見えてゐた處ですが、兎に角只今調査中であるから何とも申されぬ若し疑が事實であつて、違法だとすれば規則上仕方がないから選擧をやり直さなくてはならぬであらうが要するに目下調査中です』と語つてゐた

十萬枚の賀狀袋 遞信局から全鮮に配布

新年迄既に一ケ月を餘した、遞信局では昨報の如く年賀郵便特別扱ひ廢止に伴ふ對策の爲めに足許から鳥が立つやうな忙しさを見せてゐるが過般現業課長會議で新に案出された賀狀消化の一方法として集中局及分配局の指定設置は此程愈々決定する事になり京城、開城、平壤、釜山、大邱、海州、龍山、木浦、仁川、水原、淸州、沙里院、鎭南浦、淸津、咸興、大田、全州、鳥致院、裡里、天安、軍關里、新義州、群山、光州、馬山、晉州、全州が集中局となり同局は附近郵便局所の賀狀を集中せしめ區分發送し更に分配局と決定した釜山、大邱、京城、木浦、平壤、新義州等はこれが内地及び滿洲方面の發著分配を整理することになつた而して遞信局に於ては各局所の混雜を避ける爲めに特別扱ひは廢止されたが特に賀狀入りの袋を邦字の分七萬五千鮮字の分二萬五千計十萬枚賀狀用紙邦字十五萬枚鮮字五萬枚その表面に『年賀郵便の特別取扱ひは本年は致しませぬが御出しになるときは此の袋に入れて下さい』と印刷して全鮮に分配する筈で來月四日印刷を終へると共に全鮮各分掌局に所在地人口の按分に依つて京城一萬釜山八千等と分配發送する而して各局所は分掌局より受取つて來月十五六日頃から郵便配達夫をして各戸に配らしめる手筈であると

李王家御祝使 廿六日東京着

李王世子殿下には來る二十九日陸軍大學御卒業につき李王家から御祝使として閔李王職長官を差遣はさる事となつたので同長官は二十六日午後九時三十五分東京驛著直に王世子邸に伺候した御殿下に拜謁の上御祝辭を言上する筈（東京電報）

大本教の參謀高木 臺北で語る

出口王仁三郎の妻すみ子と參謀役の高木鐵男の二人は二十六日入港の備後丸で來臺したが參謀高木は曰く今回は神の御告に依り十日間の豫定で臺北、臺中、臺南、嘉義、屏東の各支部に祀つてある敎祖の御祭をしに來たので布教に來たのではない御遷宮への期は近づきつゝあるやうに直感するが其の期日は詳かでない王仁三郎が阿蘇山に籠つてゐると云ふのは噓で彼は湯治に行つてゐるのである云々（臺北二十六日發電）

北極發見博士 重刑に處せらる

【フオートワース廿六日發電】テキサス州裁判所は北極發見者と稱するフレデリツク、クツク博士が幽靈石炭會社を發企したと云ふ廉で禁錮十四年罰金一萬二千弗の刑に處した

廢娼デー 廓淸會主催の廢娼デーは二十五日東京市内各所で一齊に行はれ贊成者一萬餘名の署名を得た寫眞は當日東洋大學内で宣傳ビラを作製して居る所である

大賣出が始まると萬引が多くなる

商店側でも注意が肝要と 警察當局の註文

歳暮季になると府内各商店では聯合大賣出しを行ひ活氣を呈して來るが例年此期になると混雜に紛れ込む顧客を裝ひ萬引を働く者があるが司法當局では『萬引には先天的なる者と發作的に敢行する者との二種あるが前者は生來盜癖があつて物品の大小、高低、種類を問はず手當り次第に店員の隙に萬引するものであるが主に雜鬧の場所を選んでゐる傾向がある、後者は家庭の狀態に拘らず月經不順、產前産後の生活の變化等身體に異狀のある場合、化粧品類貴金類衣類等を萬引するものである是は資産の有無に拘らず發作的にやるので始末に了へない無論當局では絕えず警戒取締に努めるが商店それ自身も充分注意して欲しい』と語つてゐた

樂器店で萬引 府内光熙町一の二三八番地金福萬（二七）館洞一九七番地金聖實（二一）兩名は共謀して本年六月頃より本町二丁目釘本樂器店で大正琴ヴアイオリン等を萬引したこと[illegible]署に發覺し二十六日檢擧された

慶北沿岸の[illegible]

[illegible]として慶北沿岸[illegible]中であつた殖産局水産課秋山技師は廿四日歸任したが其の漁業狀態に付左の[illegible]

元來鰊組の漁[illegible]が[illegible]地を[illegible]して之に附隨せる[illegible]漁業の一とされたのは勿論四、五の漁獲を擧げつゝあるの狀況を呈して居る而して鰊は全鮮の漁業[illegible]にて漁獲さるゝもので發動機を備へる從來の手繰に關する漁業も[illegible]の多く又從來風力のみによりたる[illegible]二三人乘の[illegible]實に當然の事で誠に[illegible]に[illegible]ねばならぬ。然し新くの[illegible]て今以て[illegible]根強く蔓延しつゝあつ[illegible]

其の日の預入れ二萬圓

京城の貯金デー第一日の成績 宣傳の効があつたと當局は大喜び

全鮮に於ける郵便貯金は預入人員百六十一萬一千三百六十七名此の金額二千四百八千六十六圓二十二錢六厘の多きに達してゐるが遞信局では更に貯金思想普及の爲め二十六日から三日間全鮮各局一齊に貯金デーを開催し京城局では宣傳自動車を飛ばし約八千枚の宣傳ビラを配付したが二十六日中に預け入れた人員及金額は

	人	圓
京城	二、五二九	九、五二一、四七
南大門	四〇〇	一、一三六、六〇
光化門	二、三九七	五、〇二三、三〇
龍山	九八一	四、三三六、三〇
西大門	一、五二二	三、七二七、六〇

で以上五局合計で七千八百二十八名二萬三千六百六十八圓二十九錢に達したが更に府内十八ケ所の郵便所の貯金高二千八百八十七名一萬二百四圓八十二錢を加算するときは人員一萬七百十五名金額三萬三千八百七十三圓十一錢になる右に就いて橋川城局長は『宣傳の反證は意外である例年と比較し一人平均約三圓以上に當り不景氣の中にもこの餘裕あることを思へば力強い譯である』と語つて居た尚引續き二十八日も宣傳を繼續する筈

内鮮勞働會 發會式を擧行

大阪府下西成郡稗島村土木請負業川口賢之助氏は内鮮勞働會と云ふ純勞働組合を設立し市内に十六ケ所の支部を設け無料宿泊勞働紹介等を試みる筈で二十七日其發會式を擧げた（大阪電報）

影から生徒を操る 普成專門の盟休事件

既報——紛擾中の普成專門學校一二年生全部は新校長許憲氏の就任を潔しとせず二十七日も引續き盟休して居る元來同校は天道敎一派の學校で創立當時より高元勳氏が校長となり功勞少くなかつたが孫秉熙の死亡後組織を改めて財團法人となし資產家金基郁氏外數名が基本金を醵出し理事として就任し今日に至つた處、理事中に前記天道敎派と資本家との二派に分れ勢力を爭つて居る内感情の問題より今回高元勳の辭任となり盟休となつたが兩者の理事間で巧に生徒を操つて居る爲圓滿な解決は容易でないと觀測されて居る

病夫を捨て、逆轉手と同棲

慶北聞慶郡聞慶面麻院里生れ當時松女大村カネ（二一）は十九歲の時無斷家出して滿洲奉天大連等を流浪した淫奔女であるが數箇月前夫安東縣で病夫を置き去りにして無斷出奔し京城に來り黃金町四丁目内田運送店自動車運轉手某と馴れ合同棲して居るのを夫が感付本町署に說諭願を提出して來たが係官もこのあばずれ女には閉口して居た模樣である

大穴を開けた事務員 本町署に自首

府内仁義洞八九番地西岡喜太郎（二[illegible]）は本町四丁目谷岡印刷所に事務員として雇はれて居る内帳簿を誤魔化して現金千三百餘圓を橫領費消し内密に穴埋をせんとしたが都合がつかず前非を悔ひて二十七日午前十時頃本町署に自首したと

擔保に借りて轉賣す 橫著な金借り

山口縣玖珂郡通津村當時仁川府濱町[illegible]府田若一（三[illegible]）は仁川府宮町十九番地力野勝を詐欺橫領犯人として二十日仁川署に告訴した被告力野は去る十月十日竹田から輸下駄製品及び店舗二個其他の家具を擔保物件として金五百圓を借受け同二十日突然に擔保物を府内本町三丁目今戸旅館に賣却し現金四百六十圓を取り何處共なく逃走したと云ふのが出訴理由である（仁川）

金剛山電氣の送電は來年六月頃から

江原道の分水嶺にトンネルを貫き北漢江の上流を反對に日本海方面に導き八百尺の落差を以て大水力電氣を起して朝鮮中央部を電化せんと本年中に發電の運びに至らず來年六月まで延期された同發電所完成の上は朝鮮中央部諸動力は一變に電化され朝鮮工業の隆盛を促し延いては目下研究中の京仁線電化問題を促進するであらうと期待されてゐる

兄弟で萬引 仁川府

花町里六番地生れ當時住所不定の李石淳（二〇）李遠淳（二[illegible]）の兄弟は性來の盜癖があり常に不良少年の群に投じて萬引搔つ拂を常習にして居たが本年八月頃京城へ來り本町西大門署に檢擧され取調べを受けて居るが既に自白した被害額は五百圓以上に達して居ると

海事審判

二十七日午前十時より飛行丸船長白斗鎬の定員超過に係る海難事件の審判は海難審判所に於いて行はれた

衞生費以外報告 西

門署では夏期衛生施設に意を用ゐ管内十八の衞生組合を督勵して石油乳劑を撒布し或は下水の浚渫等を行つた處鮮人側でも自ら率先して三千五百餘圓を寄附したので二十六日午後一時より關係者四名を招集して收支決算の報告をしたが如洞の田中稔一郎氏は一同を代表して感謝の辭を述べた

楊平郡に天然痘 患者續々發生

楊平郡江上面松鶴里附近を楊平警察署にて檢病的戸口調査をすると一時に三名の天然痘患者を發見し[illegible]

優勝盃は殖銀 銀行組合の計算競技會

銀行集會所主催第一回京城市中組合銀行の計算競技會は既報の如く二十三日京城公會堂に於て行はれたが最後の各銀行リレー競爭は最初優勝者なく時間の關係上二十四日に延期され午後四時より行はれた優勝カツプは遂に一等殖銀の手に落ち二等漢銀三等山口銀行支店と決し五時半終了した

小切手泥棒

忠南論山郡恩津面林里生れ金先孫（二[illegible]）は數日前府内竹添町一丁目一番地丁宿屋方に同宿中を奇貨に柳所有の朝鮮産業銀行支拂小切手三百三十圓一枚を窃取して同銀行よりウマ〳〵と該金を騙し知らぬ顏をして居る處を二十五日鍾路署に檢擧された

訴へた被告から逆に訴へられた金髮美人

ヘレンの給料請求裁判

府内西大門二の三七露國の金髮美人のヘレンさん事イリナス、ダトン、チエンコは小川辯護士を代理人として鍾路六の九四朴漢秉を相手取つて給料請求の訴へをなしたる事は既報の通りであるが其後第一審でヘレンの勝訴となつて朴に九十三圓を仕拂ふべしとの判決があつたが此度は朴が承知せず控訴したので來月九日辯論開延の筈であるが原告側の申立に依れば自分は本[illegible]

泥棒

二十七日午前三時頃府内南大門通三丁目を擧動不審の鮮人が迂路ついて居るので本町署巡査が誰何取調べて見ると此奴は京畿道漣川郡西南面住大岩里生れ升錫奉（二〇）と本年陰九月中旬江原道平康郡邑内面某鮮人方に忍び込んで衣類數點を窃取逃走したことを自白したと

柳氏講演會

朝鮮在住の學生を以て組織せる文藝結社アカシヤ社の主催で二十八日午後七時半から日之出小學校講堂に於て目下來鮮中の柳宗悅氏の講演會を開催、學生に限らず一般の來聽も歡迎すると

慶明決戰 明治大學優勝

五大學リーグ戰慶明決勝野球戰は二十六日午後二時より三田球場に開始された明治は久しく狙つてゐた覇權は此の一戰で獲得し得るので其意氣凄じく慶應も亦善戰したが結局六對二のスコーアにて明治優勝した明治は多年練磨の結果は遂に報いられて今回最優勝者の月桂冠を贏ち得た（東京電報）

片岡氏令嬢死去 鍾路小學校長片岡喜三郎氏二女寫實子嬢は豫て病氣の處廿六日朝死去廿七日午後四時旭町養國寺に於て葬儀を執行

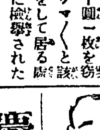
和田局長の新夫人

お輿入の日を指折り數へて 待つ尾形香明代さん

二日目には『和田がく』

洋畫の大御所和光社の新人尾形香明代さんの爲にうれしい日がだんだん近づいて來る、花むこは朝鮮總督府遞信局技術課長工學博士和田一郎氏、月下氷人は香明代さんのお師匠の洋畫家岡田三郎助畫伯でお輿入は來春早々だとは御芽出たい事である、小石川音羽町六の十五の香明代さんをおたづねすると『實は此の秋結婚するつもりでしたけれど震災に邪魔をされて、來春にのびたのです、多分一月の初めでせう』と流石にうれしさうだ『和田とは札幌の高等女學校を出て上京した當時から、よく話術などでお目にかゝつて居ましたから心も體もよく存じて居ます、岡田先生からお話があつて、すぐ懇くやうになりました、エゝますくかきますわ、和田も私をよく了解してゐてくれますから、結婚したからつて、繪筆を捨てよなんて言ひませんわ、私は趣味を殺しては生きられない女ですもの……結婚したら外國へでも連れて行つてもらひますわ』と香明代さんの胸はうれしさにもえてゐる……札幌の生れで、無聲會のスター岡田嘉子さんとは小學時代からの親友だとか『札ぼろの中島公園の秋はどんなでせう、さぞつばきが眞赤に燃えて居るでせう和田も一度つれて行きますわ』と話はいくらそれても、直に花むこさんの上へ戻る、最近かき上げたといふダリアが床の間にほゝ笑んで居た、香明代さんは義兄の會社である大正興業所に、事務員として毎日勤めて居るが、さぞ仕事も手につかぬ事だらう（東京——寫眞は香明代さん）

鳥水亭 すき焼 本町三丁目 兵久家 電本一三八三



京城名物 文化まんぢう 京城本町二丁目 御用は電話本局三〇七七番

◎鼻が高くなる ▲隆鼻器無料貸與 鼻は人生の花で最も大切な物で幸と不幸の分れ道は實に鼻の格好一つである若い男女の内で▲だんご鼻▲わし鼻▲天鼻▲其他鼻の格好の惡い人は從來は註射や整鼻術で苦しき人が本法は痛くなく自宅で人知らぬ間に鼻の高くなる新案特許の整鼻器を希望者に無料で貸與すハガキで申込めば詳細說明書進呈 東京市牛込區寺町 東京整容醫院隆鼻器研究所

果して斯くの如き優秀にして而も安價の防寒具を他に求め得べきや
オバコート メルトン（アルパカ裏） 玉絨（朱子裏） 廿八圓より四十圓
トンビ メルトン ラクダ（朱子裏）
毛布 ラクダ純毛 十圓より十九圓
京城長川町 合資會社 富田屋洋服部 電話本局 一四五〇 七二三 一五二三

せきずい コツマク炎 慢性困難者も大喜び全治者頗多無料詳報 ●播磨明石市●溝川博齊

木材販賣廣告

一、北滿洲牡丹江及海林産江原木角材 長二十六尺より 角一尺三寸上二尺迄

時價			
長春貨車乘	立方呎に付	金七拾五錢	手付金不用
安東縣同	立方呎に付	金八拾五錢	哈爾賓銀行へ
大連同	立方呎に付	金九拾錢	信用狀發行
京城同	立方呎に付	金壹圓	願上候也

右一車以上御註文被下度希上候【一車約千呎以上積】
但相場は時々變動有之候間一應御照會願上候
本店 京城府若草町百六番地 西村合名商會 店主 西村元
出張所（支那吉林省寧安縣寧古塔 同中東線海林驛） 主任 佐藤嘉之 主事 楊茂

大阪泉川タオル製造所一手專賣 タオルと敷布 ハンカチーフ 染手拭 右の外御進用印入タオル等特に大勉強にて御用命に應じます 御申越次第規定與送呈市内は御報次第現品持參 京城黄金町四丁目三〇 卸專門 大久保眞敏商店 電話本局四〇一八番

咲良喜の文化施設
一、宴會の廣間も『スチーム』の設備あり
一、離れ座敷の小間も『スチーム』溫暖心地よきこと此上無し
一、料理は時代文化に順應し美味滋養實質本位
御宴會は特に勉強『スチーム』は毎日焚いて居ります
咲良喜 旭町二丁目 電話本局一八二八番

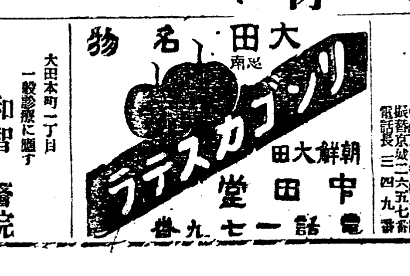
會席御料理 ほへと樓 淸州本町二丁目 電話六四番 一三四番
弊樓事日增し繁榮に赴き候は皆樣方の御愛顧の賜と深く感謝仕候就ては之に感奮して時代に最も適合したる宴席新築中の處全部落成致候につき之を機會に大々的勉强致し皆樣方に御滿足を與へ申すべく候間舊倍の御引立を賜はり度伏して御願申上候

株式名義書替停止 來ル大正十二年十二月一日ヨリ第二回定時株主總會終了ノ日マデ株式名義書替ヲ停止可致候 大正十二年十一月廿七日 中央物産株式會社

直グ御注文ノ方ニハ 美術看板進呈 かるた期節となりました 御仕入は製造元直接がお德 京都市正面通大橋西入 日本一製造元 山内任天堂 販賣希望の方に限り 値段表・販賣書居送呈

内科 小兒科 產婦人科 皮膚病 花柳病 平壤町 金子病院 電話二四六番

大田案内
東亞藥房 理化學工業用藥品 醫療器械衛生材料 ペイント及各塗料 大田春日町一丁目 長電話三五番
鹽崎時計店 大田驛前 時計眼鏡寶石不入用指環貴金屬製作 日本蓄音器商會特約店 長電話二〇番
久納洋服店 京釜線大田本町 長電話二〇番
塚鐵工所 忠南大田春日町 發動機專門 秩父セメント株式會社特約店 長電話一六番
森繁釀造場 忠南大田春日町 醬油 長電話二四番
東庵 大田驛前 東京生そば 仕出し 和洋料理 長電話一〇一番
瀧川銃砲店 大田支店 大田春日町 ラーヂー、ヤン自轉車特約店 長電話一七九二番
箕浦商店 大田本町二丁目 雜貨移入卸問屋 帝國生命保險株式會社代理店 帝國火災保險株式會社代理店 長電話五二番
大田鐵道病院 一般診療に應ず 電話局内 内科十四番 外科十九番 公衆長四十九番
大田電氣株式會社 長電話一四二番 三三七番
斯文堂教育品店 教育用圖書標本・理化學用器械・動物學標本模型・運動遊戲用器具・幻燈器械並映畫・其他各種教材品 生徒用机製作所 各學校諸官廳御用達 朝鮮京釜線大田 電話長三四九番


大田名物 リンゴカステーラ 朝鮮大田 田中堂 電話一七九番
和智醫院 大田本町二丁目 一般診療に應ず 院主 和智醫學士 長電話二二一番

秋山殖產局水產課技師談

鮮內歲末決濟如何

澤村鈴木商店支配人談

鮮內の財界が反動期に入り我生絲貿易の前途に就て兎角の議論があつた際吾人は米國の當時の財界は恰も急行列車がブレーキをかけて一時速力を緩めて徐行しつゝある如きもので其根底と實力に於て何等驚愕すべき何物もないと評して居つたが果せるかな入超しかつた入超も八月限りで爾後財界は好轉して年內には結局三億萬圓の出超に終るであらうと觀られて居る之に反し我貿易は震災の爲め意外の番狂はせを生じ生絲の

輸出で一頓挫を來し

十月末に於て既に入超四億四千七百萬圓に達し今後復興材料の輸入に因つて貿易關係は益々逆潮に陷らんとして居るが政府並に罹災地の復興に伴ふ消費經濟の勃興に由り米國財界の反影と相待つて將來相當大きな波紋を經濟界に起すであらう然し乍ら金融界に日銀を始め財界救濟貸出緩和の聲明も當は人氣の安定策としての表看板で政府も物價政策の手前可成兌換券の膨脹を防いで中間景氣の出現を阻止しようとして居るし各銀行は自行の安全で汲々として貸出は極力放資物の選擇に嚴密でコール市場の如きも長期と端期ものゝ糶が餘りて多く相變らず各方面とも金融は疎通を缺いてゐる模樣である從つて歲晩の內地の財界は相當多忙を極める事であらう尤も朝鮮としては米價が昨年は七月を高値とし年末に接近する程漸落し昨今の相場に於て正米十三圓期米八圓見當の安値であつたが本年は新穀の出廻り期で高値を出現しまだ商人の手で移め前で農家の懷合を肥ず次第であるから移出米三百三十萬石とすれば米丈けにて二千三百萬圓の富を現在增し昨年の同期より擔保價格を夫れだけ加へたる譯故假りに其半額を鮮內の銀行に於て昨年同期より

貸出融通を多くする

ことが出來れば歲末の財界は至極圓滑な取引決濟を經て明春の復興景氣を恰も今夏米國が入超を見た反落期に小麥の大豐作を迎えた際中間銀行をして政府は極力資金融通の策を執らしめた爲め地方農民の懷具合を大に緩和し購買力を增し之を動機に商品の移動始まり爾後大に景氣の挽回を見たる如くに鮮內歲末の取引決濟は平穩無事に經過して一陽來復の新春を迎へることが出來やうと思ふ

蠶絲貿易對策

【東京電報】蠶絲中央會では蠶絲貿易展並に燒失生絲等に關する調査會を連日開催し調査を進めつゝあつたが愈々二十六日成案を得たので來る十二月三日午前十時より委員總會を開く筈であるが案の內容は左の如くである

一、帝國蠶絲信託株式會社を設立すること
二、株式會社橫濱生絲共同市場を設立すること
三、燒失生絲損害處分については製絲家、問屋、輸出商、銀行等の間に分擔額を定め長年期間に辨償の方法を講ず

京城物價低落

鮮銀調査に係る十月中の京城物價は鮮內生產品二三七、五〇輸移入品二〇八、七九總平均指數二二四、一〇にして九月分指數を百として高低を比較すれば生產品二分九厘一毛の低落を示し輸移入品一厘一毛の騰貴結局總平均指數に於いて一分二厘二毛の低落である更に之れを前年本月の指數に對比すれば生產品二分三厘四毛輸移入品一分七厘七毛總平均指數二分三厘の各騰貴であるが十月中騰落狀況を指數の上より見れば左の如くである

▲生產品	十月分指數	九月分指數
玄米	二八四	三一二
精米	二六四	二七三
大麥	二〇三	二一一
小麥	一八八	二一三
小豆	二四四	二三六
大豆	一八六	二一五
明太魚	六〇〇	五九一
鹽	一四三	一四三
木綿	一八八	一八八
鐵原納	三〇五	二九〇
木材	二三二	二三二
薪	二五一	二五一
木炭	二二六	二四八
紙	一九六	一九六
牛皮	一四三	一四九
牛蠟	一四七	一六六
平均指數	二三七、五〇	二四四、六三
▲輸移入品		
精糖	三〇一	二九八
醬油	一九八	一九八
清酒	三二二	三二二
麥酒	一九二	一九二
綿絲	一八二	一七一
和金巾	一八四	一八五
支那紬	一八二	一八二
棉花	一七七	一七〇
石油	二五〇	二五〇
石炭	二三七	二三九
燐寸	一四三	一四三
平均指數	二〇八、七九	二〇八、五七
總平均指數	二二四、一〇	二二七、八〇

東拓上半利益

東拓京城支店の十二年度上半期に於ける各種事業に對する投資は約百五十一萬圓にて今十月末迄の利益金は略五十二萬餘圓であると

三好和商店の整理注目

三好和商店の整理は其後着々步を進めて居るが整理遂行の爲め同商店を株式組織とするとの說もあり又整理委員より債權銀行に提出した整理條件に多少得手勝手の所があるので銀行側では却て反感を有する向もあるらしく從つて整理問題の前途に就ては現在の處未だ目星が付いて居らぬらしい、尤もこの問題の解決は銀行側の態度如何にある模樣で整理委員は日夜誠意其問題に腐心中との事だが時節柄其前途に關しては一般から注目されてゐるやうだ

淺野セメント增資

淺野セメント會社は震災に依りセメントの需要大いに激增し來たので深川工場の復舊と同時に各工場を擴張したが川崎門司其他の工場は何れも明年中に倍額の生產擴張を爲す爲現在の資本金三千三百萬圓に更に二千萬圓を增資する事になつた今回の增資に就て會社の意嚮は新株に對する第二回の拂込は是を見合せ而して臨時增資株に就ては之が優先權を與ふる由

鮮銀券發行週報

十一月十八日より十一月二十四日に至る朝鮮銀行券發行週報に依れば銀行券發行平均高八千四百五萬四千四百八十九圓內正貨準備發行高五百七十一萬五千二十八圓正貨準備發行平均高三千二百三十四萬一千九圓保證準備發行平均高五千五百七十一萬三千四百八十圓にして週末銀行券發行高は九千四百一萬一千九百五十圓なりと

此の鯖漁業

海外相場

二十七日著電次の如し

倫敦銀塊　三十三片八分ノ一
米棉　七十五點高
英米爲替　四弗三十八仙八分ノ一（二仙高）
スチール　九十六弗丁度三（八分三高）
アナゴンタ　三十七弗八分ノ五（八分ノ一安）

商品市況

大根（先高見越）本年は全鮮不作の報を入れて例年の如く出廻りも遂しない模樣のため市場出廻りも薄く實需筋は先高見越に日頃來賣行旺盛となり市中市場毎日殆んど一掃せらるゝ有樣であるか相場も續騰の氣配を持し千大根二十貫五圓五六十錢處を唱へ居るが六圓位までは昂騰するものと觀られて居る爲めに需要筋は例年の半盤しかも手に入らず從つて白菜の賣行良好を告げ本年の漬物界は至つて寂しく推移して居る

林檎梨（强硬）本品界は餘り豐富でなかつたため上物の出廻り例年より遲れ漸く上物は出廻る樣になつた時期は正月を眼前に控へて居るため比較的相場强硬を維持して林檎國光弗々入荷あり四貫匁入五圓梨は大入氣で越後物三貫五百匁入三圓四十錢地物羅州物三圓六十錢と何れも高値を示して動く模樣はない

蜜柑（先安）紀州地方は本年不作と震災地の取引澁滯にて閑散裡に持ちこたへて居ると云ふて居るが事實は之に反し却つて例年より豐作の報を入れて居る品は除り上等とは云へないが今の處伊豫物の多く入荷して未だ本味を有せず從つて伊豫物石油箱入上等五圓八十錢紀州物中等四圓五十錢見當であるが行先需要最盛期を控へながら出廻活況なりと財界の不況と世間一般不人氣のため先安見越に買控へて居る

雜記帳

▲米豆の出盛りの季節に入つたので地方の資金需要が激增し鮮銀券の發行高は漸增を辿つてゐる▲この調子で行つたら來月匆々一億圓臺を拔くだらうとの觀測だが最近木浦の棉花移出が旺盛なので發行增加はこの方面への資金移動にも基いてゐるらしい▲最近定期取引所の芽が出て來たので各取引所は活氣付いてゐるが米棉關係による綿絲の昇騰は一體何處迄行くんだらう▲斯う云ふ趨勢から見て定期は當高見越と云ふ觀測が有力となつてゐる▲商品界の不況から鮮內も歲末接近と共に多少破綻者が出るだらうと云ふ者がある▲銀行の警戒は昨年以上に嚴重らしい

株式（廿七日）

商狀漸く一息
前場は反落　後場京取安

昨後場の引跡は大阪大新の下押しと共に一と息模樣に打止めた氣先き今前場は大阪大新八十五圓六十錢と變らぬ移りに跡四圓臺の下押しを入れて氣鈍く大新は八十五圓八十錢と一圓六十錢安に寄り付いた跡六圓ドタを高値に殘して漸落步調を辿り遂に四圓九十錢と下放れしも引際大阪の五圓臺小戾しを入れて五圓五十錢と打止め結局一圓九十錢方反落仁取は出來ず仁新は三十五圓三十錢安取は十六圓八十錢と下押しし京取は當三十六圓九十錢と五十錢安に寄付しも跡双方警戒して出來ず先物は三十七圓十錢と九十錢安に寄り付いた跡六圓五十錢迄突込みしも大引七圓ドタと返し結局一圓方下押しを告げ其他鮮新十八圓六十錢鮮銀四十五圓十錢朝信七圓ドタにて小口手合せがあり大體に於て稍軟調を呈し活氣薄に大引した

▲後場は大阪休會にて入電なきため自然人氣引立たず多くは警戒見送りて場面閑散を呈したるが結局大新は八十五圓ドタと五十錢安に打止め仁取は百〇一圓ドタ仁新三十四圓九十錢、安取三十六圓六十錢と一齊に下押し京取は買方主力筋の見送りに當六圓三十錢と寄り五圓六十錢と打止め一圓三十錢方續落したるも先限は六圓ドタの安値があり六圓六十錢と小堅く打止め大體の人氣は單に見送ると云ふ丈で依然底堅き商狀を呈して大引した

人氣變らず

昨大阪市場の猛進に一齊高を演じた當市場は既に小口の利喰と前日に新規の買物に至極商盛を呈した揚句丈に今朝の大阪安も警戒され易く買はぬ迄も見送らるゝ結果となり相場は反落步調に轉じたが人氣の上には何等の變調もなく主力株たる京取の如き僅かに當五十錢先一圓方の下押しを告げたに過ぎないで依然底堅い振合を示して居るが一面から見ると京取市場としては頃日來の商勢に人氣は可成强張つては來たがさて買はんとしての材料は之れと見るべきものがなく相場の目標たる大新が既に九十圓近くまで昂騰した今日であり東新も亦九十圓臺に復活した際でもあり如何に復興氣分滿々たる東株市場としても此上を更に買上げると云ふことは一寸考慮を要すべき點であり從つて此際に於ける京取買ひも亦相當に警戒を要するとの說もあるが要するに時節柄市場の人氣として引續き買方優勢の地位にあるだけ今後の商情を樂觀する氣分は尙橫溢しつゝある狀態である

人氣は押目待

大新は今朝八十五圓六十錢の低落に跡四圓臺の下放れを入れて新田筋より大口賣物を注ぎ遂に四圓九十錢迄突込みしも引際大阪の五圓臺小戾しを入れ五圓五十錢と打止め一圓九十錢方の反落を告げたが一部の賣注ぎ以外には目立つた賣物もなく此際賣進むよりも寧ろ見送りて押目に買進むのが得策であるとの人氣に傾き相場は安いが人氣は依然小强りを呈して居ると稱されて居た東に角大阪市場は頃日來東京高の刺戟と綿絲の好勢に買氣旺盛となり賣方引續いての煎れ退きと新規買物の集中に一齊活躍の場面を展開するに至つたのであるから目先としては賣り方の煎れ一巡と共に此際大新の八十七八圓鐘新の二百八十四五圓所は所謂相場の呼吸として一反落は當然の成行で玄人筋には既に氣構へられて居た所である而して此の相場が何處まで押すかは大勢上寧ろ重要視されないで人氣は尙押目待ちの形勢であるこれと云ふのも四圍の情勢から人氣が長期を目標とする傾向を呈して來たのと共に今後マダ數段の活躍は期して待つべきものがあらうとの念が一般を支配するに至つた爲めで從つて尙今後に於ける一と和場を期待するの人氣は依然として根强きものがあり押したる所は好個の買場所であると見らるゝの形勢であつた

現株中値出來値（二十七日）

銘柄		前場當限	前場先限	後場當限	後場先限
京取	寄	三六・九〇	三七・一〇	三六・三〇	三六・五〇
	引	…	三七・〇〇	三五・六〇	三六・六〇
仁取	寄	一〇一・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	三五・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
鮮銀	寄	四五・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	一八・六〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
殖銀	寄	四五・一〇	…	…	…
	引	…	四五・一〇	…	…
同新	寄	一一・三〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
實銀	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
商銀	寄	四一・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
漢銀	寄	三七・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
韓銀	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
東拓	寄	三〇・〇〇	…	…	…
	引	…	三〇・〇〇	…	…

銘柄		前場當限	前場先限	後場當限	後場先限
同新	寄	…	…	…	…
鮮土	寄	[illegible]	…	…	…
朝紡	寄	…	…	…	…
滿毛	寄	[illegible]	…	…	…
京電	寄	…	…	…	…
同新	寄	一四・五〇	…	…	…
電興	寄	[illegible]	…	…	…
釜產	寄	一八・五〇	…	…	…
朝郵	寄	三〇・五〇	…	…	…
朝鐵	寄	…	…	…	…
京南	寄	九・〇〇	…	八・七〇	…
金剛	寄	[illegible]	…	…	…
滿鐵	寄	一〇五・〇〇	…	…	…
同新	寄	[illegible]	…	…	…
[illegible]	寄	[illegible]	…	九・三〇	…
同新	寄	…	…	…	…
朝信	寄	[illegible]	…	…	…

京城株式現物取引市場仲買人
定岡仲買店
京城府黃金町二丁目一九九
電話本局 長八二五番 三〇八番
市場專用 三二四番

大新押目程度

既に反落步調に轉じた大新に對する買氣は尙益々旺盛の振合がある殊に昨今の如く商盛を示し居れる關係から人氣は自然之れに集中さるゝ事になり更に値頃の低い關係から手を染め易い結果となり道回の猛騰を演じたのであるが既に今朝の如く反落步調に轉じたので自然警戒的に見送らるゝ振合もあり氣鈍き商狀を呈して居るが此の押目の程度が那邊であるか先づ八十二三圓所が恰好であると觀られ此邊ともならば又復買氣を促進するに至るであらうと大阪市場では觀測されて居ると

大阪市場休會

大阪市場は受渡準備の爲め長期短期共に後場は休會した

出來高

▲長期千七百七十枚累計三十三萬七千二百七十一枚▲短期三千四百九十枚累計二十七萬九千三百十枚

算定

仁取百一圓、仁新三十五圓、安取十七圓、大新八十五圓

日步

仁取四十錢、仁新十五錢、朝紡五錢、拓新十錢、滿取逆十錢、安取十錢、大新逆五十五錢

諸株喰合尻（二十七日前場現在）

▲京取當三、五八〇、提供一、三四〇　賣方有田百、金龍百四十、新田千三百二十、定岡三百二十、井口百、白樂百六十
▲同先一、五九〇提供二八〇　賣方、新田四百四十井口四百四十白樂二百七十　買方洪柱百十吉見三百二十金龍三百九十田中百六十定岡百七十閔三百八十
▲大新四八六〇過不足なし　賣り方新田三千八百二十金秀二百七十、白樂三百六十、市川二百六十　買方白井百六十、洪柱百十、吉見五百六十、田中九百五十、成清五百三十、定岡千十枚、中村二百六十、井口三百三十、閔九百五十
▲安取三、三六〇代引一、六四〇
▲仁取四五〇代引二六〇
▲仁新二、八四〇代引三一〇

前場手振

▲大新新田マバラ賣り、井口、白井、金龍マバラ買七百枚▲京取當吉見、田中、賣り、井口、新田六十枚▲同先新洪柱、マバラ買三百枚▲鮮銀新有田賣り、成清買百十枚

前場步み

〇一〇〇北五九〇　八五八〇　六〇
〇八〇　六〇〇　五〇　五九
〇十〇〇　五〇〇　四〇　三
〇三〇　五〇〇（大引）　四九〇　五二

後場手振

▲大新新田、吉見井口、賣り、定岡、田中、市川、成清買三百五十枚▲京取當吉見、井口、市川賣り、定岡、新田洪柱田中、中村買五十八枚▲同先洪柱、成清、定岡、井口賣り、白井、田中、南、マバラ買三百三十枚

大阪長期取引

銘柄	二十七日前場寄付	二十六日後場大引
大株	一〇四・七〇	一〇四・三〇
同新	八六・一〇	八五・六〇
郵船	八六・八〇	八七・九〇
同新	二九・二〇	二九・〇〇
商船	四四・一〇	四四・三〇
同新	一五・五〇	…
鐘紡	三〇五・九〇	三〇六・〇〇
同新	二七四・九〇	二七七・一〇
東紡	…	一一七・一〇
日糖	…	一一〇・八〇

銘柄	二十七日前場大引	二十七日後場寄付
大株	一〇四・九〇	…
同新	八五・六〇	…
郵船	八六・六〇	…
同新	二九・一〇	…
商船	四四・一〇	…
同新	一六・六〇	…
鐘紡	三〇七・〇〇	…
同新	二七四・九〇	…
東紡	一一六・五〇	…
日糖	一〇八・七〇	…

大阪短期取引

銘柄	○二十七日前場寄付	大引
大新	八五・六〇	八五・五〇
鐘新	二八六・〇〇	二八七・〇〇
天取	…	…

銘柄	○二十七日後場寄付	大引
大新	…	…
鐘新	…	…
天取	…	…

安東株式

安取	○二十六日後場寄付	大引	○二十七日前場寄付	大引
當	…	…	一六・二〇	…
先	…	…	一六・四〇	…

鎭平銀

	○二十六日後場寄付	大引	○二十七日前場寄付	大引
當限	…	…	一・二三五	一・二三八
先限	…	…	…	…

日銀帳尻（二十六日）

發行高　一、三〇六、九一五、九〇〇
正貨準備　一、〇六〇、一五一、〇〇〇
限外發行　…
貸出高　五一七、七九五、〇〇〇

鮮銀帳尻（二十六日）

發行高　三三、五七五、六九一、九一
正貨準備　三三、五七五、六九一、九一
限外發行　一一、四八八、六三七、〇九

京阪金利（二十六日）

	東京	大阪
無條件	一八〇	二三〇
翌日物	一九五	二〇〇
月越物	…	二四〇
六十日物	二六〇	二五五
普通割引步合	二七〇	二五〇

短期取引

銘柄	寄付	大引	高値	安値
朝信	…	七・〇〇	…	…
穀信	…	…	…	…
滿取	…	…	…	…
株取	…	…	…	…
安信	…	…	…	…
安取	…	…	…	…
大新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取 前	[illegible]	…	…	…
仁取 後	…	…	…	…
同新 前	…	…	…	…
同新 後	…	…	…	…
朝紡 前	…	…	…	…
朝紡 後	…	…	…	…
拓新 前	…	…	…	…
拓新 後	…	…	…	…
滿取 前	…	…	…	…
滿取 後	…	…	…	…
安取 前	一六・六〇	一六・六〇	…	…
安取 後	…	…	…	…

米況（廿七日）

仁川期米
前場反落

昨後場阪地の伸惱みに打止めたが今朝阪地寄附三十六圓十九錢と二十八丁高を入れて再び買氣を刺戟し當中出來ざりしも先二十九圓八十錢と二十九丁高に寄付
▲第二節　當中出來ず先八十錢と始めし機先大阪二節三十五圓八十錢の不勢に人氣一變三十五錢と脆ろく挫けて引
▲第三節　當出來ず中二十九圓二十錢先三十錢に始め二十四錢と下還ひたるも押目は强氣の買直しと小口賣方の利喰いに三十三錢と跳返して引
▲第四節　當中出來ず先三十二錢に始め四十錢と締りしも買氣薄く二十五錢と押し三十一錢と持合いに引
▲第五節　當中出來ず先二十九錢より十四錢と崩れしも押目は買方の引物多く三十五錢と跳返し三十錢と引
▲第六節　當中出來ず大阪九節五十八錢の移りに先二十三錢より小口買方の嫌氣投げに界場二流筋の吶賣を加はへ遂に九圓の關門を割り八圓八十錢と押し七錢
▲第七節　當中出來ず先七十五錢と更に不濟に落込みて引

急遽軟化す

內地殘存米の豐富と政府買上米打切り等の軟材も比較的反響薄にて依然押目買の人氣步まずして買方主力は高値を巧みに利喰いしつゝ押目を透かさず拾ふて行く處に今一つ褪い相場が潛むで居る樣でもあつたが今朝は阪地の寄高を移したるに拘はらず跡政府持米の拂下げ說に急に軟化し始めた氣勢に傾き大引は遂に五圓四十錢に落込み七十一丁の反落を演ずるに至つた此邊果して眞の天井打ちか否やは即斷を許さないが千丁上の揚句なると季節が季節なる丈けに何となく形勢一變の感じがないでもない殊に猛騰の株界も漸く頭打ちの光景を呈して來たし各地買附けの正米も持日の推移に連れて漸次澁滯せる模樣でもあり月末掉尾の活躍として或は軟派の跳梁を見るやも測り難い

人氣一變の兆

相場の律から云ふと安値から千丁以上捧立ちに直つた阪地の相場として此の邊三分の一の三百丁內外の押目を作るのが順序であるが何と云ふ手當米に買附けた鮮米は出廻薄にて定期賣方の解合を見込んで行くと云ふ情態であるから買方の鼻息は益々荒くなる一方で强氣一派が順風に帆を揚げて進む間は少々位いの軟材料が出ても大した深押しがあるか否やは疑問である然し買方の理想通り四十圓など云ふ相場が實現する樣な事になれば却つて國民の生活を不安ならしむる恐れがあるので何時政府が上値の調節を行ふ事にならぬとも限らない買方としても之れ以上調子に乘る事は警戒を要するのみならず品薄を告げて定期高に牽制されて居た正米も一昨日來の天候恢復にて一寸行惱みの姿となり期米も今朝は反落を演じて人氣一變の兆候を現はして來た樣である

政府持米拂下

今朝阪地よりの入電に依ると政府は近く持米の拂下げを爲す模樣であると

弱氣の資彈仕込

㋕の買玉に對抗して買向つて居る㋑を限據とせる弱氣一派は格別目立つた行動は執らないが一萬餘石の賣玉を擁せる一面正米及籾の割安物を買進み一朝事に接せば資彈を浴せんと頗る强硬の態度を執つて居る

丸力克く買

㋕を中心とせる强氣一派は或鮮人筋聯合の下に二千四百石より賣出勵し利乘せに買進むで居るとの噂であるが同手筋は依然押目買の手を弛めず其の建玉三萬餘石の巨石に達し市場の注目を惹いて居る

賣買差引殘

賣方		買方	
㋑	三一〇〇	㋕	六五〇〇
[illegible]	二八〇〇	[illegible]	三五〇〇
[illegible]	二五〇〇	金登	二三〇〇
[illegible]	一八〇〇	[illegible]	三〇〇〇
[illegible]	一八〇〇	[illegible]	二〇〇〇
丸大	一一〇〇	[illegible]	二〇〇〇
		常	一〇〇〇

	廿七日前場	廿七日後場
寄付	二九・八〇	二八・五九
止値	二八・七五	二八・〇〇
高値	二九・八〇	二八・八二
安値	二八・七五	二七・七二
	○前場公定値	後場公定値
一節	二九・八〇	二八・五九
二節	二九・五〇	二八・七〇
三節	二九・二九	二八・七九
四節	二九・三三	二八・六五
五節	二九・二八	二八・一〇
六節	二九・〇五	二八・〇〇
七節	二八・七五	
限月値段 當限	…	
中限	二九・二〇	
先限	二九・〇七	
取組高 當限	五千七百石	
中限	三萬七千四百石	
先限	三萬七千四百石	
出來高	十二萬千九百石	
累計	四三一四一〇〇石	

後場更に崩る

▲第一節　當中出來ず先二十八圓五十九錢と十六丁安に寄付
▲第二節　當限八圓八十錢中八圓八十錢の寄止め先八圓六十錢より五十九錢と押して引
▲第三節　當中出來ず先七十五錢より八十二錢と返し七十五錢引
▲第四節　當中出來ず先六十六錢より七十錢と締り六十九錢引
▲第五節　當中出來ず先六十九錢より大阪の跡安を入れ投げと追鞘に見る〳〵崩れ立つて七圓**七十二錢と激落し**九十五錢と戻して引
▲第六節　當中出來ず先八圓丁度と戻しに引

（米界餘聞）

安値から千丁以上捧立ちに直つた反動として迂かり買へないと云ふ自重警戒の念が放れないので皮肉に堅いのか其れとも未だ本下けの時期に達しないのかどちらにしても堅い相場である▲株が高い綿糸が高いお米はドン〳〵上るし之で國民の懷ろさへ裕福であつたなら買方も占めたものだが殘念な事には無錢遊興と等しく空景氣に過ぎないので何時政府が上値の調節をして來るかも知れない▲殊に本年の如く內地が凶作でお米の高い時は假令出來秋でも中農以下は餘り恩惠に浴しないのみか却て其れが爲めに地主對小作者の紛擾が激烈となる嫌がある▲現に內地では相變らず各所に小作爭議が始つて居るが偖て此の納りがどうつくかどの結りは定期の買方へ投げて來て無い物買を取締られぬ樣御用心▲と書いて居る裡に阪地は節々の安移りで後場は遂に五圓の關門を割るに至つた▲原因は過般來の軟材無視と政府の拂下米說でどうやら形勢は眞に一變して來たらしい

京城穀物

正米現物

合格品は相變らず出廻り薄にて手持筋は賣腰を弛めず四等合格二十九圓搦みを主張しつゝあるが籾の出廻り豐富なる上期米の反落移りを入れて天候恢復後の賣物激增を恐れを抱き買入は警戒唱へにて二十八圓五十錢以上に買入なく殊に地揚玄米は賣物相當に多しと雖も乾燥不良の爲め之れ又買氣乘らざるもの〻如く精米組合買市場にては二十五圓九十錢より上物二十六圓五十錢にて七十叺の手合ひ行はれ前日に比し四五十錢方の下押しを告げ精白は三十二圓五十錢處の唱へなるも原料安を受け事實三十二圓二三十錢處迄賣應じつゝあり

延

各地期米の高寄りに今朝は一時氣迷ひの姿なりしが跡安移りと正米軟化模樣に形勢一變の傾向となり前日に比し五六十丁の下押しを告げた十二月末限二八▲一月中限二九、一二、九〇〇　八　七五、六二

大豆

天候恢復と時期の推移に伴ふ出廻り期待のある上に期正米の軟調を受けて買人は一齊防禦の態度となり今朝は更に一二十錢安の京元線現物十五圓六七十の賣聲に對して買人は十五圓五十錢以下の唱へで先物も延いて氣迷ひの姿となり本月渡し十五圓五六十錢の賣唱へなるも買人との間に三四十錢の値開ありて賣買殆ど行はれず閑散無活氣である

仁川正米

今午前中は阪地定期の高寄りを受けて丸キ四等二十九圓九十錢見當の唱へなりしも跡定期の反落を入れて買氣阻喪し三四十錢安の二十九圓二十錢處の唱へとなりしも買人見送りの姿にて籾も通れて二十厘安を告げ神力種八錢在來種七錢六厘大豆も荷主は品薄を楯に龍山物十六圓七十錢長湍十六圓五十錢白川十六圓三十錢見當を唱ふるも內地よりの注文薄にて取引殆ど皆無の姿である

釜山正米

現物三十圓十錢十一月末限二十九圓八十錢一日中限三十圓十錢より三十圓丁度出來高一萬石

群山正米

現物三十一圓十二月末限二十九圓四十五錢一月中限二十九圓五十九錢より〇五錢出來高五千九百石

大邱正米

現物二十八圓七十錢一月中限二十九圓八十五錢より五十錢出來高二萬五千五百石

東京期米

	○廿七日前場	廿七日後場
先寄	三七・六九	三七・一八
二節	・二九	・一一
三節止	・三三	・一四
四節	・三〇	・三九
五節	・三九	…
六節	…	…

大阪期米

	○廿七日前場	廿七日後場
當寄	三六・四〇	三五・七〇
止め	三五・七五	三五・〇一
中寄	三六・一九	三五・二六
止め	三五・一一	三四・九九
先寄	三六・一九	三五・四〇
二節	五・八〇	・四一
三節	・八四	・四二
四節	・七八	・三九
五節	・七六	四・九五
六節	・七九	・九六
七節	・八三	…
八節	・七二	…
九節	・五九	…
十節	・四八	…

兵庫期米

	○廿七日前場	廿七日後場
寄付	三四・五一	三三・八一
止め	三三・七九	三三・五五

下關期米

	○廿七日前場寄付	止め	廿七日後場寄付	止め
當限	…	…	…	…
中限	…	…	…	…
先限	三三・六	…	…	…

桑名期米

	○廿七日前場	廿七日後場
寄付	三七・〇一	三六・七五
止め	三七・〇〇	三五・九九

大阪三品

	○廿七日前場寄付	前場大引	○廿七日後場寄付	後場大引
十一月限	柄會・	…	…	…
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

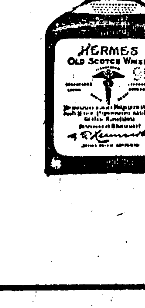
謹啓毎々多大なる御引立を蒙り難有紙上御厚禮申上候陳者本年式製長靴は昨年式の欠點を補ひ且黑裏縫目なしにて又左圖の如く二重底として飴ゴムを使用有之候間體裁も優美高尙耐久力は堅牢にて實用的理想の製造たるが故何卒多少共御注文の程伏して奉希上候

外地一足七十錢　値段外に送料實費申受　二足九十錢　三足一圓五錢
甲號特製長（裏縫目なし）　自十文至十二文代　四圓八拾錢　自八文半至九文代　參圓五拾錢
乙號特製長　自十文至十二文代　參圓八十錢　自八文半至九文代　貳圓六拾錢
●見本御入用の御方は一足壹圓の割合にて前金相添へ最寄局名御指定被下御申越次第代金引換小包にて急送可致候
各種運動靴　總ゴム靴
神戶市兵庫小河通九丁目八八
合資會社 日本護謨營業所
振替大阪（六〇二九七）電話本局（四一九五）

御家庭用 色拔 晒劑
デクロ 金貳拾五錢 送料四錢
色拔法―右一反分を湯にとかし染布を浸し約十分間煮て水洗すれば一切の染布は純白に白ぬきし染替に適します
晒法―（七十五尺晒量）小量を湯にとかし約十分間煮て水洗します又は小量を湯にとかし五六時間浸し置水洗します、白足袋敷布、エプロン、タヲル、手拭、ハンカチ其の他一切の綿毛麻類の汚布は一切純白に晒します（布は絕對に損せぬ強選製劑）
京城花園町九七
發賣元 東華洋行
電話本局三三九九二 振替京城一二四〇五

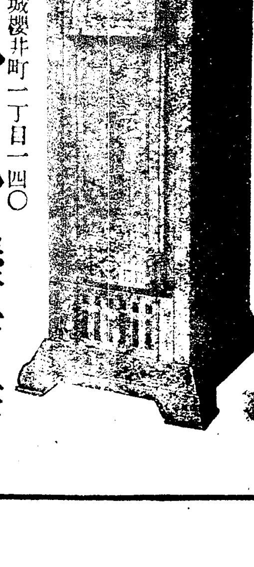
洋鐵鋼鐵道船舶材料其他工業諸器械附屬品商
釜山本町
角野商店
（電話二三三番 振替京城一三三九）

ヘルメス
ウヰスキー
ポケット
いれも
れ



特許 炊事兼用 川上式 ストーブ 耐火モルター入

川上式ペーチカ（各種アリ）



型錄進呈
製造發賣元
京城櫻井町一丁目一四〇
スミレ屋商店
御註文ハ電話・本局三七九九 ミナココ番へ

通俗太閤記

松林伯知講演　加藤由太郎速記

三百七回

秀『されば徴發せし忠次を召して、徹に松山越えは御命じ参るべし』とあつたから、此處で急に御使者が徳川家に立つたのでございます、とは知らぬ忠次内心恐るゝ信長の御前に立出でました時に、信長何思ひけん忠次の手を取つて自分の傍らに据えた、サア忠次面喰つて了つた、何だか少とも譯が分らない此處が信長の巧い處で、性來狐疑心が深いのと云ふが兎も角も美濃の一角から起つて一時に天下の覇權を握つた不凡な者ばかりでは仲々成れない、然るにあれ程叱つたのを自分が一つ譯かつたと悟ると、賢然夫を改めて叱つたことも何も忘れて了ふと

京城郵便局左側（サクラバー北隣）ルートゥ　三品齒科醫院　電話本局一五〇七番

云ふ大きな處があります信『忠次本日は如何ぞ不滿足にてありしならん、叱り付けたるは餘の儀にあらず其方の申せし謀略誠に以て面白き策なれば、那の場にて同意をなし褒めそやして若し敵にもや知れんと思ひし故に叱り付けたるなりハヤ用意をなして鳶巣に向ふべし信長が目代として木下藤吉郎、金森五郎八、佐藤六左衛門、青木新七郎、加藤市左衛門の四軍勢を遣はすべし』と仰せらる、忠次は且つ驚き且つ喜んで忠『夫れなら何も

仁川手町二丁目　能治齒科醫院　電話三五〇番

譯節あんなに小言を云はなくつても好さそうなもの、何だか狐に魅まれて居るやうだ』と直樣お受けをいたして陣中に立歸り、忽ちの内に右の趣きを申上げ、松平主殿助伊忠に人數を定め、松平主殿助伊忠親子、本多豐後守廣孝親子、松平左近將監康親、菅谷新八郎、奥平九八郎、松平玄蕃允、酒宗西郷孫九郎家員以下都合四千五百餘人篠突如き大雨を犯して嶮難の九十九折を進み、松山越えより吉川村菅沼山、祖父山を

は腑には落ちないが名將の聞こえ高き秀吉の一言だ、無氣にも退けることが出來ませぬから、其通り人數を割かちてさて鳶の巣へ忠次が向はんとした時に秀『アイヤ酒井氏、徳川殿は是まで度々甲州勢と戰ひを開き玉ふと雖も甲州勢を深く思召されてか戰を大切になし玉ふを以て、彼等は三州勢と云へば或ひは與し易しと見て居るやも計り難し、況して勝頼の傍若無人なる其侮りも一層甚だしからん由つて此度は此の山上より火を掛けて鬨き立てゝ敵を麓に落し手痛く攻めらるべし、某また他に謀略方寸にあり』忠『仰せ心得てござる』と其心して忠次は打立ちます、秀吉は加藤虎之助、蜂須賀小六、堀尾茂助、福島市松に兵一千人を與へ鳶の巣山の麓にこれを伏勢となし置き、最早充分手配り出來たりと見て取つたる秀吉忠次双方一發の狼煙を合圖にスワ掛れと下知すれば松平主殿頭親子、松平玄蕃允、金森五郎八、青木新七郎、加藤市左衛門佐藤六左衛門の面々に於ては面も振らずドッとばかりに攻め掛る、然るに鳶の巣山の城

忍びゝに攀登りたる時に木下藤吉郎酒井左衛門尉に向つて秀『さて御身の味方は二千餘人を率いて長篠の方に備へたる武田勢に向はせ玉ふべし、武田信玄の流れを汲みし軍法に秀でたる勝將なれば外に押への軍勢を置かぬことはよもあるまじ』といふのは浪人組の名和無理之助を始め敵が若し鳶の巣を襲はゞ後より押し掛けて賊散らさんと一段他に備へしを見止めて居るから斯くは云つたのでございます、酒井には此事が解せない忠『これはしたり然らば鳶の巣を攻むる人數に不足を生ぜん、藤『否とよ、鳶の巣は武田兵庫頭といふ未だ乳離れのせぬ若年者なれば、これを攻め落すこと繁若を以て累卵を押すよりも尚心易く、早速お取計らひあつて然るべし』忠次

中に於ては只長篠の方をのみ打守り、若し長篠の本營にて變動の樣子見たる時は軌つて出でんと用意おさく怠らざりしが、圖らずも鳶の巣に敵の押し掛らんとは夢にも知らなかつたのだ。

將棋新手合（一）

於東京淺草區新堀町二　溝呂木將棋所

△三段　坪井武雄（東京）
平手先▲三段　前田孝次郎（東京）

圖は五三銀迄の局面　△持駒　前田氏ナシ

9	8	7	6	5	4	3	2	1
香	桂	銀	金	王	金		桂	香
	飛							
歩	歩	歩	歩	銀		角	歩	歩
				歩	歩	歩		
							歩	
		歩		歩				
歩	歩		歩		歩	歩		歩
	角			金	銀		飛	
香	桂	銀	金	玉			桂	香

◇坪井氏ノ手　▼前田氏ノ手
△七六歩▲三四歩△二六歩▲四四歩△二五歩▲三三角△四八銀▲四二銀（イ）△五六歩▲五四歩△五八金▲五三銀△五七銀（ロ）▲四二飛△一六歩▲六二玉△六八玉▲七二玉△七八玉▲五二金（以下次號）

溝呂木七段講評
▲（イ）四二銀の上りは少々無理なり三二銀と指すが順なり
△（ロ）五七銀上りは大に懸し癖に六八玉と上る處なり

X光線の治病効果

Xが光線感覺も無く眼にも見ない光線は病巣へ適確に潜入せしむると忽ち其獨特の作用を起して色々の病菌や病的細胞等を破壞して治病上偉効を表して來ます然し若し其線の波長が病巣の深さに相當せぬ場合にはX線は病巣以外に吸收されて全く無効と成るものですから技術の熟練に依て始めて偉效が表はれるので有ます

◇最も良い適應症は　るいれき。わきが。頑ね。肋膜炎。腹膜炎。にきび。水蟲。頑固な皮膚病。癌腫。肉腫。此等で御困りの方は我社の物理療法へ來られん事をお勸め致し升

京城日報社　代理部内　電話光化門四〇〇　六三

暦

十一月廿九日（陰暦十月二十一日）▲九紫▲暗劍南方▲木曜▲丙午▲赤口▲危▲角宿

▼九紫▲迂濶に手を出して失敗し易い日愼みを第一艮と西と巽が吉
▼一白▲身のほどを辨へて進まないと思はぬ失敗を招く東と坤が吉
▼二黒▲何事もすらくとはかどる婚姻開店大取引有利巽と坤が吉
▼三碧▲臨分多くすべて好都合に運ぶ但旅行見合せ乾と壬と癸が吉
▼四緑▲漸く調子づく日大きな計畫に着手して大吉乾と艮と西が吉
▼五黄▲進んでも退いても相當の利益を收め得る日西と巽と東が吉
▼六白▲物事の喰違ひ易い日新計畫は見合せて利西と巽と乾が吉
▼七赤▲勞多く利少き日動けば動くほど凶神詣で吉巽と坤が吉
▼八白▲元氣横溢大に敵を挫く日進んで吉但し商事注意東と西が吉

關釜連絡船

釜山發　午前十一時　午後九時三十分
廿八日　朝、景福丸　夜、德壽丸
廿九日　朝、昌慶丸　夜、景福丸
三十日　朝、德壽丸　夜、昌慶丸

仁川本町一丁目　朝鮮銀行仁川支店　電話（三）一二番

仁川本町四丁目　朝鮮殖産銀行仁川支店　電話（六）二四・九〇番

仁川本町二丁目　株式會社安田銀行仁川支店　電話（五）〇八・二〇番

仁川本町二丁目　十八銀行仁川支店　電話（九）一八・一八番

仁川本町三丁目　朝鮮商業銀行仁川支店　電話（四）九八番

仁川海岸町　朝鮮實業銀行仁川支店　電話（三）三二番

（内科）（外科）岩田病院（入院隨意）
附屬　沃度注射院
東京牧野沃度研究所顧問　正五位勳三等功四級　岩田末彥
京城長谷川町　電話一六二〇

鞄―靴―洋服

大田監獄調製學生服販賣開始
學生靴　特價販賣す御入用の方は御一報次第市内は店員拜趣可致遠方の御方には型錄送付可仕候
學生鞄　一ボックス總川靴賣出し一足金二圓八十錢均一　地方は足袋文數御通知下され度見計ひ御送附可申上候
京釜線大田春日町一
製造販賣　朝鮮革具合資會社　長電話一七二番　振替京城九八七〇番

品質本位　蜂印香竄葡萄酒

活動の一杯

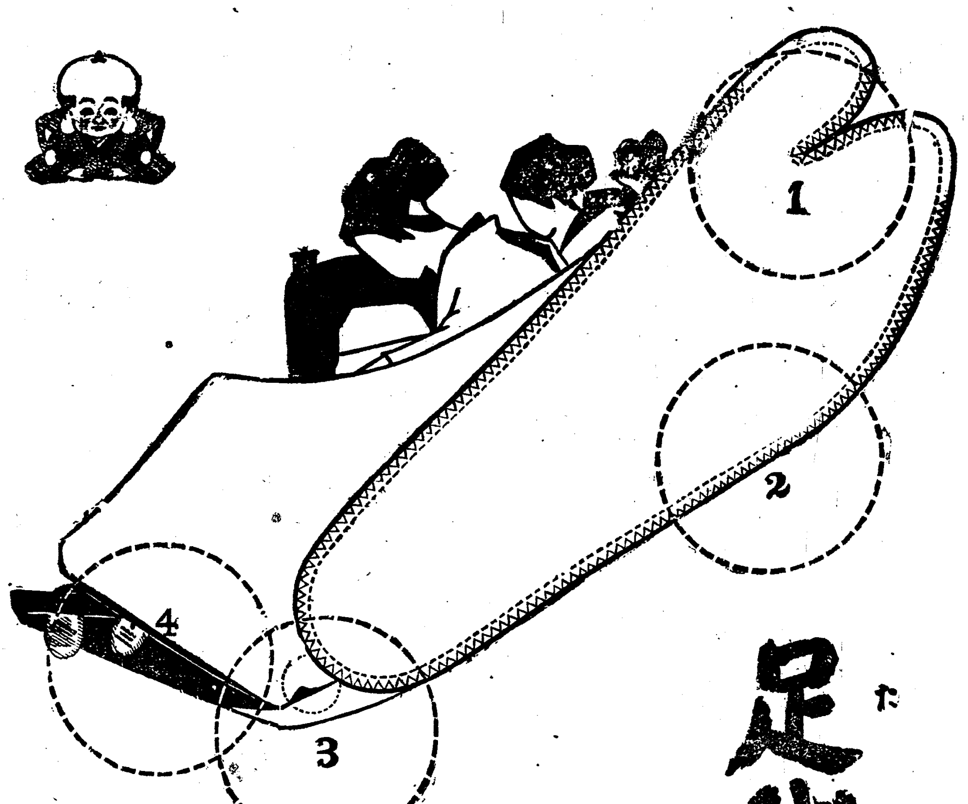
能く元氣と健康とを恢復して一家團欒の幸福をつくる蜂葡萄酒！
興國の爲め　興産の爲め不斷の活動に一層の能率増進を計るべく　必ず毎食前に此一杯を……

美味―最も芳醇にして萬人の嗜好に適し
滋養―最も豐富にして氣力と體力を増す

株式會社　近藤利兵衛商店

2-107

産婦人科　小兒科　女醫遠山醫院
京城永樂町二丁目交番所前　長電話本局一六三四番



足袋は福助

爪先から踵まで

1　指の叉がほちけぬやうに二重にかゞつてあります。
2　爪先から踵まで丈夫なやう二重に縫ふてあります。
3　脱ぐ時穿く時の便利のためとそしてうしろから見て優美なやうに踵の丸止めをしてをきました。
4　坐つても足が痛くならぬやう結び瘤を取りました。

美人　クラブ白粉　クラブ頰紅　クラブ練白粉　クラブ洗粉　クラブクリーム　カテイ石鹸　お化粧の順序

衛生的文化生活の必需品

クラブ白粉

專門の學者もクラブ白粉の皮膚に對する衛生的效力と純眞の美を與ふる其の化粧的效果とを推賞して居られます

の清新な健康的な化粧美が現代婦人界の好尚を支配してゐます

屈服したルールの鑛業家

支那無電合同計畫
英より新提案を提示した

有する無線電信の海外通信施設を米大陸と歐洲大陸とに二分し三井の双橋無電臺は歐洲大陸との通信に當りフエデラルの上海無電臺は米國大陸との通信に使用する經營案を提示して

現在の處發展を平調で事務も繼續り執りつゝあるが其內部を
全部の營業は內外支店に先立ち早くも今月末限り整理し東京本社の監
[illegible]
…が通じられ營業は時間の問題となつてゐた而も其結果は頗る
何時擴出しても差支へない樣に準備が出來てゐるのです原因は御承知する迄もなく五年も十年も
…ん清新の氣を內部に入れて此の行詰つた會社を積極的進取方針に出でさせたい爲めですが併し
…一メンが結束した事は世間にも一寸例がないでせう…で進みたいもので此點は支

鮮銀より一時融通を受く

…の分九十萬圓とあり鮮銀は朝鮮の分は十一月末決算であるが是は償還…もある年內地市場に於て募債成立の見込であると

大阪市新水道部長

【大阪電報】溝井大阪市水道部長

京城日報

(朝夕刊合せて十頁)

本紙定價　每朝夕刊一ケ月金壹圓▲參ケ月…▲六ケ月同…▲郵稅共前金…▲郵券代用…
廣告料　五號十五字詰一行…▲五號同特別…▲七字詰同…▲四號拾字詰同…
發行兼編輯人　泥谷良次郎
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　電話光長…番、長…番　振替京城三〇〇〇番

朝鮮最古の木造建築（七）

關野貞氏語る

丁度之れが夫れと同じやうになつて來ましたので其舊物に書いてある記事から見ますれば、どうしても至正年間に焼けて、洪武四十年に再興された事ひないのでありますけれども、併し其建築の形式から言へば祖師堂の年代が、高麗の末期であるときまれば、どう考へても夫れと同時代のものではない、もう一つ古いものであると思はれるのです。さうすると此の記錄が間違ひになつて來るのでありますが之れはどう云ふ風に解釋すれば宜しいか、私の考へでは洪武九年から之れを書いた萬曆四十年までの間が、二百三十六年を距つて居るのでありまして、此の祖師堂の記錄は、再興した時の記錄であつて、其時より確なものはない。然るに無量壽殿の記錄は洪武九年とあるけれども、二百三十年も後に書いたものでありますから、必ずしも誤りがないとは言へないのであります。夫れで私の考へでは考へが間違つて來まして、至正年間に倭寇の爲めに浮石寺は燒かれたとしても、法隆寺が一屋も殘さずに大火に罹つた際に金堂、五重塔が遺つたと考へられると同じやうに、此の祖師堂を新に作る場合に本堂の修繕もしたが爲めに間違つて、二百三十年も經過する間に矢張倭寇の爲めに燒かれて再興の時に同時に建てられたものと考へたらしいのです。さうして斯う云ふやうな記錄を遺したものと思ひます。

斯う云ふ風に考へますれば、此の無量壽殿は少くも祖師堂よりも百年乃至百五十年位前に出來たものと考へられるのであります。どうしてさう考へられるかと申しますれば、高麗時代の建築は朝鮮にはありませぬから、之れを比較研究すべき材料がないので朝鮮では判りませぬけれども、又當時の支那の宋元時代の建築も多少ありますが、夫れとは直接關係がありませぬけれども、大體日本の鎌倉時代の中期の建築を考へて見まして双方比較研究をすれば其實の宋、元、鎌倉、高麗各時代の建築は大體系統が同じやうな點があり符合する所があるのであります。建築でも、彫刻でも、其他工藝品でも東洋にかける同じ時代のものは多少似た調子を有つて居るのでありますさう云ふ點から考へまして、無量壽殿は日本に比較すると飛鳥時代の終つた時代、どうしても鎌倉時代の中頃まで遡らなければならぬと思ふのであります。どうしても末期のものとは比較は出來ない。支那では宋、元の時代に比較しましても、宋の終り若くば元の初めまでもつて行つて宜しいやうに考へられるのです。

藝術の變遷と俳句（一）

河東碧梧桐氏講演

斯くの如き季題觀念を尊重して居ると一つの制限の爲めに、米國や濠洲では句は出來ぬ事となり、更に九州や北海道の如く非常に時候に相違ある所では遂に季題觀念がグラついて來る。これを嚴正に云へば季題は日本內地の近畿一部のみに限られ東山の麓にでも竹の庵を組んで十德でも着なければ俳句は作れぬと云ふ窮屈なものになるのである。斯くの如く手を切り足を切らねば俳句は出來ぬと云ふ事になれば、遂には俳句なるものはそんなものも世の中にはあるのかナーと云ふ調子になり骨董的に成り終はるのである。然し我々の生活は其樣な呑氣なものではなくモツと煩雜な、モツと切羽詰つた、現實と爭鬪との生活である。それが自己を表現するのである。それが自己を表現する場合に以上の樣な降らぬ制限にさへぎられて果して滿足が出來るであらうか故に自己表現の上で自己を助ける意味の季題觀念こそ我々が詩を選ぶときに許さるべきもので、日本の季題觀念と云ふ感じさが鋭敏にあるとき我々は句は自由であると思ふ。然し所謂我國の季題觀念とは違ふことは勿論である。內地から朝鮮、朝鮮から滿洲、滿洲から哈爾賓と行くと人間が何れも活々して居る。これは例外に居る人はそうならねば自分が生きて行かれないであらうと思ふ。從つて私のつまらぬ話を何故受入れてくれるかと云ふに、即ち第一線に立つ人々であるからである。自分の全生活を自分の仕事に打込んで居る人々であるからである。この活々した生活は即ち詩である。朝鮮に居住する人々も併合以來既に十幾年を經過したがそれでも、內地の人よりも社會問題に思想問題に幾多の刺戟があると思ふので諸君もまた第一線に立つ活々しさがあると思ふ。從つて私の此の短い言葉が諸君に僅かでも何かのヒントを與へ得れば私は甚だ幸福である。

藝術は全生活を打込んだ自己表現であると云つても、我々は事實に於て全生活、全生命を打込むと云ふ事は甚だ六つかしい事であつて詩を作つても十中の八九までは詩でない。然しながら我々はあくまでも全生活を打込まんとする精神と努力と苦行とはあるのである。彼の有名なバチカンの宮殿にあるミケロアンゼロの壁畫は世界に二つ無き一つであると云はれて居るミケロの彫刻は隨分立派な力作が多く遺されて居る事は既に世間周知の事であるが、此一つの壁畫だけでミケロを偲ぶには充分である。これは確にローマの古美術中の大なる誇りである。私は洋行中其前に立つて見たがミケロ其人の人格に感歎されて其力の恐ろしさに全く驚倒する外はない。史上に傳へられた處によると當時ミケロは自分は繪描きではないからと堅く斷つたとの事であるが、それを强ひて頼まれて繪を執つたとの事で從つて此作品は一代一生の彼れの全生命を打込んだものである。これが爲め其處に犯し切れぬ生命の躍動を發見し得るのである。然し今も申し上げた通り自分の全生命を打込むと云ふ事は却々六つかしい事で一世の中一度でもよいからそうした藝術品を得たい、これに就ては自分も常に絶えず精進して居るのであるが却々に全人格を打込んだ快心な藝術品には得られるものではない。而もそれはただ一つでもいゝと思ふ。朝鮮の人は本土から離れて居る上に鮮人と云ふ民族にも相接して居る、從つて風俗、習慣、起居から思想まで隨分複雜を極めて居ると思ふ。そして其複雜さにも惱まされて居ると思ふが、それは決して不幸ではなく人間としての生活に對しては寧ろ幸福だと思ふ。斯うした立場にある以上諸君は總てに於て自分の全生命を打込むと云ふ努力を以て精進されんことを私は本日の講演に於て只管希望する次第である。（完）

川柳十句集（一）

諦らめの子　横山大納言

吾が家の競賣になる日が迫り
悉く伯父反對の意見あり
酒の座にちと云ひすぎる妹婿
里歸り妹の目にも氣を兼ねる
姑の機嫌を今日もとりそこね
諦めを持つ子と住む淋しがり
獨大患の歸る夜警待つて聽き
變人にされ長屋での學者なり
之ぎりの晴着に母はいとしがり
胴間に親にが死ぬ無事に飽き

新年文藝を募る

短歌　賞　歌題「曉」　尾上柴舟先生選
▲天位選者肉筆色紙▲地位同上▲人位同上

俳句　賞　句題「棵」　內藤鳴雪先生選
▲天位選者肉筆色紙▲地位同上▲人位同上

川柳　賞　柳題「玉」　井上劍花坊先生選
▲天位選者肉筆色紙▲地位同上▲人位同上

情歌　賞　歌題「髪」　本社編輯局選
▲天位五圓▲地位三圓▲人位二圓

締切　十二月十日

注意　一人一題三句以內▲用紙は葉書▲住所姓名雅號明記の上「京城日報社編輯局新年文藝係」宛

スフヰンクスの下に立ちて（八）

守屋榮夫

博物館

世界に有名なカイロの博物館をのぞいてみる。これも閉鎖時刻に近かつたので大急ぎに各室をかけ廻つただけであつた。その間に氣がついたことは、この博物館が殆ど墓地であることであつた。換言すればミイラ中心であつた。ミイラの各種の標本が所せまき迄に並べられてあつた。何がしの王、その王妃、王子、王女のミイラ、それが燻りで燻らした樣な色になり、カサ／＼干乾びた無氣味なものとして吾人の前にさらけ出されて居た。只これ等の人々の男女の性を區別するものは髮の殘つてるものや、顎骨の恰好位のものであつた。何故かうした汚いものを死後に遺すことを埃及の人は喜んだのであらうか！亡ぶべき肉を亡ぼさずして殘した所でこれ以上のことが出來ないことをなぜ早く覺らなかつたであらうか。併し人間に於ける生の執着は强い、わけても愛の執著は强い。今迄あつた偉い、可愛い、大事なものを全部一時に喪ふことの心細さに堪へないで、せめては其肉體、吾最も等に深い關係のあつた目に見るものを保存し、其復活を待つて、やるせない悲哀の慰藉をこれに見出さうと努めるのであらう。此生と愛との執著心については——吾等は永く佛教の感化をうけ聊か陶冶されて居ると思ふが——尚溫かい心を以て埃及の故人に同情する餘裕があるやうに思はれた。ミイラを中心とした美術、彫刻、繪畫、土器、寶石についても幾多の好資料をカイロの博物館は提供するであらう。併し予等の如き門外漢には皆目此の方面のことがわからないから、これ以上は書けないことを遺憾とする。

カリフの塔

最後に吾等の自動車が見舞つたのは回々教の寺院——カリフの塔であつた。これは總人口一千二百萬中一千百萬人の回々教徒を有する埃及王の首府にあるものだけあつて、流石ジョホールあたりに見たものとは比較にならぬほど規模の壯大なものであつた。殊に寺院の塔が高く天に沖して居るのが偉觀であつた。折から新月が淡く空にかゝつて居つた仰いで見ると回々教國の新月旗も思ひ出されて興味が深かつた。此寺院は偷攝張工事を起し、之に隣接せる丘陵を平坦にして、其上に尚新しき寺院を立つる計畫であるといふ。又寺院の下に、王室の墓地などがあり、金殿づくめの華やかな墓が見られたが、成金氣分と俗惡な趣味だけで感心する譯には行かなかつた

實業之日本

奮起せよ同胞諸君

大震災に因りて我々同胞は百億の富を失ひました。今や我々は悲んで居る時ではありません。奮ひ起て之が恢復に全心全力を傾けなければならぬ。百難万苦が何の其の、擧國一致して一等國の日本に盛返さなければ日本男兒の意地が許しませぬ。御互に大に働きませう!!

◆訓練なき國民性——增田社長
◆悲運の底から旗揚するには——山下龜三郎
◆燒跡から生まるゝ第二の大倉淺野——仲小路廉
◆裸一貫息災万貫——坪野平太郎
◆日本を活かす道——大倉喜八郎
◆余が體驗した家政の大地震……子爵石黑忠悳
◆失業の增加と紹介所の活動……記者

東京市の今後の工業地帶
東京の工業地としては本所深川の水運ある地帶が選まれて居たが、今度の大地震で土地は低下し且又地盤が弱いので今後の工業地として見込かるゝやうになりました。同時に、東京の南部たる品川の方面が有望となり現に復興會では本所深川の工業地放棄説さへ唱へられて居ります。本所深川の再興か又は品川方面の新選かは東京市民の問題でなく全國工業家の注目すべき問題です

羅災會社の今期配當の豫想
▽東京瓦斯…▽東京電燈…▽淺野セメント…▽日清紡績…▽王子製紙…▽富士製紙…▽大日本ビール…▽東洋モス…▽東京モス…▽富士瓦斯紡績…等何れも株式界の主力是等は相當に被害があるが而も此株を主要の財產として所有して居る人も多く其配當の多寡は影響する所多大であります我社は特綱に其社況を調査して今期配當の見込を立てました

◆租税の減免を受ける手續
震災の爲め租税を輕減し又免除せらるゝ法令が出ましたが其手續はどうしたらよいのか此一文を見れば萬事が直に判ります

◆耐震日本家屋構造……佐藤工學博士
日本人は矢張り日本趣味を棄てるわけには行かぬ然らば日本家屋を建てるにはどうしたら地震に耐へて安全かを研究なさい

◆淺野總一郎奮鬪傳（百難を經た此翁に發憤せよ）
◆震災の及ぼす農村の困窮救濟策……横井農學博士
◆日銀總裁市來乙彥氏……記者
◆儲かりさうな會社調
◆活氣溌剌復興筆頭者
◆若き人々の最大使命
◆丸の內新築昌記……記者
◆郊外新情景記……記者
◆燒跡新築昌記……記者
◆横濱復興會の人々……記者

是からの衛生
◆心配から起る頭の病氣……（佐多醫學博士）
◆風邪に罹らぬ注意……（額田醫學士）
◆バラック住ひに起る病氣……（增田醫學博士）

（十一月十五日發）價卅錢　郵稅一錢　半年四圓十錢　一年八圓十錢　振替仙臺一〇二五〇
此際爲替が十五日迄不着の方は御通知を乞ふ
東京京橋　實業之日本社

實業之日本　懸賞募集
▼逆境から奮起勇進した實例
成可く今回の震災に遭ひ奮鬪運命を開拓した知名の人、無名の人何れにても可し、廿字詰行以內、〆切十二月七日　新年號に發表、採用には卅圓以內の賞金を呈す。實業之日本編輯部宛。奮起勇進實例と朱書

煖房水道衛生工事は　須賀商會京城支店　電話本局三千八百三十五番

ペン毛筆の字が上手に書ける
新案特許既願　運筆器　出現
本器は字の上手と下手を多年學理と實際に付苦心研究完成したる發明器にしてドンナな下手な人でもペン字毛筆字がドンナ書体でも其日から思ふ存分上手にスラスラと美しく不思議に書ける運筆器である
今や銀行會社商店員其他總ゆる人より自熱的大歡迎を受け讚嘆の如し論より證據スグ御使用なさい◎本器は大小二種あり小は婦人少年用とす此廣實物廣告のため先着壹千個限り前金は送料共七十錢に破格の割引す代金引換は
ハガキで申込次第送料實費で送るスグ注文せよ
大阪市北區曾根崎中一丁目一三九　浪速理化學研究所

法人登記公告
●德隅金融組合（變更）監事任期滿了ノ處大正拾貳年拾壹月拾八日臨時總會ニ於テ申洪均ハ重任シ左記ノ者就任セリ
黃州郡龜洛面德隅里壹〇貳五番地　監事　徐相麟
黃州郡檣面小梅里壹八八番地　監事　李仁觀
右大正拾貳年拾壹月貳拾六日登記
平壤地方法院　黃州出張所

第四回　新學期
大日本國民中學會
國民教育の欠陥は更に恐るべし
中學校に行かずして完全に中學全科を獨習せんとする者は本會發行の中學講義錄に就いて學べ本會の講義錄は創立廿一年の經驗を有し懇切無比最新最良真に理想的中學講義錄なり
見本申込次第進呈　第一號既刊無料にて進呈す
震災は誠に恐るべし　大東京は復興を急ぎつゝあり　大日本國民中學會は既に復興せり
東京神田駿河台　電話神田〇〇二　〇〇三　〇〇四
大日本國民中學會
名古屋四二八〇
東京振替局焼失につき左記番号にて御送金あれたし

京都市下長者町油小路西入　株式會社文献書院　振替大阪六三〇九二
小學五六年用　受驗と學習　奈良女高師訓導數氏分担執筆
一冊卅錢・六冊一圓八十錢

京都市下長者町油小路西入文献書院內　中等學術協會　振替大阪六八八〇一
前書の姉妹雜誌
物理化學研究　三高教授理學士牛田正身先生監修
英文研究　文學博士島文次郎先生監修
十二月號近日發行　一冊廿錢・六冊一圓廿錢

京大教授　文學博士　藤井乙男先生監修
國語漢文研究
三高教授　理學士　森滿先生監修
數學研究
每月一日發行・一冊各廿錢・六冊一圓廿錢・十二冊二圓參拾錢

◇中學上級生の學術雜誌◇

作業服
堅牢　廉價　優美
店員モ職工モ農夫モ働クニハ此服ニ限リマス
カタログ進呈
京城南大門通　ユニオン商會　電話本局二五六三　振替京城八六三九番

▲貯金のすゝめ
東京貯金新聞
●本誌の使命は毎年數千圓の貯金獎勵金を提供して七千萬同胞に貯金趣味の宣傳と貯金實行の案內機關貯金者の推奨を爲すにあり
見本無代進呈ハガキで遠慮なく申込め●正月號には名響地方記者募集の廣告あり一讀千金の價値あり
定價一部五錢（郵稅共）一ケ年六十錢
東京市牛込區河田町十一　振替大阪六八八六
貯金新聞社
正月號近刊

十一月號　四拾錢（郵稅二錢）　東京小石川　博文館
女學世界
前代未聞　怪力無双の女　岡崎章
人の巡りに居る幽靈　水野葉舟
◇紅筆の跡　須磨浦人
◇心なき女性　蒼野翔子
◇廢れた薔薇園　岡田光一郎
長篇小説　惑星の如く　白石實三
探偵小説　謎の小刀　ウヰルキ・コリンス
◇桐の花咲く青……　吉川みどり
◇ベナレスの菩提樹
◇活動寫眞を觀る知識
○黑い短靴　長木桂子
○新皿屋敷　小倉草十
◎野稲を見た話　早川孝太郎
◎ダンテと鍛冶　水野葉舟
女學生詩集と花束　小林愛雄ほか
女學生近眼物語
朝鮮の婦人　安達波子
○小宰相の局
○裾野から小田原へ
○燒跡を辿つて船橋へ
女學校物語　向日葵の夢　飛鳥波二
英國女學生小説　青い蠟燭　野邊地天馬
漫畫
女學全科獨習

十一月號　四拾錢（郵稅二錢）　東京小石川　博文館
家庭雜誌
○如何にして生活の改善を實現すべきか　田川大吉郎
○此機會に主婦の生活を一新したい　河口愛子
○傷いた子供の心を如何に導くべきか　吉原愛三郎
◆婦人は何故に震災に多く斃れたか　吉田章信
◆震災後に流行する病氣の注意……　佐々木秀一
◆貯金の有難味を震災で嚙み締める……
●震災後の衣食住はかく改善したい
●前途の光明を期して立つ震災後の生活
●震災が生んだ婦人の新職業
◇教員の娘が女優から良人迄
◇新婚の婦人が注意すべき性的疾患
◇手內職で子供を博士と學士に
◇震災後の主婦と買物……　原田光子
◇兜町の島に咲く水藻の花
◇震災後の經濟的な働き方　光村美知子
五大連載讀物
長篇小説　金色女夜叉　林上吉
長篇小説　白日の惡夢
名作物語　エン・アイル
長篇小説　白鸚鵡夫人
小説　潮の音

京城商業會議所評議員候補者
日清生命保險株式會社　朝鮮支社
公認　黃金町二丁目　生命保險同業者一同
推薦　各町有權者有志